

学生確保の見通し等を記載した書類

目次

I 学生確保の見通し

1. 学生確保の見通し	1
1) 定員充足の見込み	1
(1) 学科再編と受験生確保の可能性	1
(2) 教員養成系大学の志願者の全般的状況	5
(3) 近畿地域における高校生数	6
(4) 近畿地区教員養成系大学の入試状況	8
(5) 教員採用数の推移	9
2) 定員充足の根拠となる客観的なデータの概要	16
(1) アンケート調査等から見た入学者の確保	
①第三者機関による高校生入学意向調査(2018年度)	16
②第三者機関による高校生入学意向調査(2019年度)	20
③指定校進路指導部に対するアンケート結果	25
(2) 千代田学園大阪暁光高校との連携	26
3) 中長期的な18歳人口の全国的、地域的動向等	27
(1) 全国的動向	27
(2) 大阪府の動向	29
2. 学生納付金の設定の考え方	31
3. 学生確保に向けた具体的な取組状況	31

II. 人材需要の動向等社会の要請

1. 教員養成の重要性	34
1) 中教審の提言	34
2) 未来社会における教育の意義	35
2. 高野山大学文学部教育学科の人材育成目標	36
1) 教育現場で真に活躍できる教員の養成	36
2) 地域社会のニーズに応えられる人材の育成	38
3) スクールカウンセラー等の心理ケアについて	40

I 学生確保の見通し及び申請者としての取り組み状況

1. 学生確保の見通し

1) 定員充足の見込み

(1) 学科再編と受験生確保の可能性

今回の教育学科設置計画は、現在の高野山大学文学部人間学科を改組して教育学科に再編するものである。人間学科は、これまで入学生確保に苦勞しており、学園の再生計画においても課題となってきた。高野山大学が高野山上にあり通学が困難であることに加え、教養を旨とした教育内容の魅力を伝えることが十分にできず、卒業後の進路についても明確でなかったことが、入学生確保を困難にした要因である。

大学の現状

次表は、学園の全体状況を示す表である。

(表一) 高野山学園入学者の推移

設置に係る基本計画及び当該学校法人の概要を記載した書類														
法人名	学校法人 高野山学園		事務所所在地	和歌山県伊都郡高野町大字高野山385番地										
新設校の内容	学校名	高野山大学	学部・学科名等	文学部・教育学科	修業年限	4年	入学定員	50人	編入学定員	年次 一人	収容定員	200人	備考	新設校に振替 文学部人間学科入学定員20人
	開設年度	令和3年度	申請区分	学部の学科の増設	新設校の住所	大阪府河内長野市小山田町1685								
既設校の内容	学校名	学部・学科・課程名等	開設年度	入学定員	編入学定員	収容定員	入学者の入学定員に対する割合	平成31年度入学者数	平成30年度入学者数	平成29年度入学者数	平成28年度入学者数	平成27年度入学者数		
	高野山大学	文学部			年次 一人									
		密教学科	平成25年度	30人	—	120人	0.75	22	21	22	26	19		
		人間学科	平成27年度	20人	—	80人	0.26	2	9	8	2	5		
		別科	平成26年度	30人	—	60人	0.06	2	2	7	14	17		
		大学院												
		文学研究科修士課程	昭和26年度	21人	—	42人	0.19	4	4	10	4	5		
		文学研究科博士後期課程	昭和44年度	6人	—	18人	0.33	3	0	3	0	0		
		文学研究科修士課程（通信）	平成16年度	20人	—	40人	1.87	26	29	25	30	27		
	高野山高等学校	全日制課程普通科	昭和26年	120人	—	360人	0.27	30	32	38	36			
	全日制課程宗教科	平成14年	30人	—	90人	0.24	11	6	5	6				
	通信教育課程普通科	平成27年	300人	—	900人	0.00	8	2	1	3				
高野山幼稚園		昭和42年	60人	—	—	—								

表から分かるように、大学、高校ともに学生募集に苦しんでいる。2019年現在の在籍数は、大学密教学科 111 人（収容定員充足率 93%）、人間学科 47 人（収容定員充足率 59%）である。

文学部の過去5年間の入学定員者数、収容定員率等の変化を以下の表に示す。

(表一2) 高野山大学文学部入学者・在籍者の推移

員) (入学定 学科	項目	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
密 教 学 科 (30)	入学者数	19	26	22	21	22
	入学定員充足率	0.63	0.87	0.73	0.7	0.73
	在籍学生数	117	103	93	106	111
	収容定員	180	160	140	120	120
	収容定員充足率	0.65	0.64	0.66	0.88	0.93
人 間 学 科 (20)	入学者数	5	2	8	9	2
	入学定員充足率	0.25	0.10	0.40	0.45	0.10
	在籍学生数	5	7	35	57	47
	収容定員	20	40	60	80	80
	収容定員充足率	0.25	0.18	0.58	0.71	0.59

* 難波サテライト編入

密教学科の入学定員充足率は、この数年 70%から 80%で推移しており、定員充足にはいたらないが危機的状況ではない。特に 2018 年、2019 年には、大阪府難波のサテライト教室に社会人の編入学生を募集することで収容定員の確保ができるようになり、90%の安定的な確保が可能になった。

しかしながら、その内実は厳しい。密教学科は、密教学の学びとともに、宗門大学として後継者養成を期待されており、修行する大学としての役割がある。高校生や一般社会人にとっても「修行する大学」「お坊さんの大学」というイメージがあるが、では寺院関係者の入学がどれほどであるのかとみれば、密教学科では、2015 年 9 人（対入学者比 47.4%）、2016

年 17 人（同 65.4%）、2017 年 11 人（同 50.0%）、2018 年 12 人（同 57.1%）、2019 年 11 人（同 50.0%）と、ほぼ 10 人程度であり、入学者の 5 割程度を推移している。また大学院も含む全学の状況についても、寺院関係者は 18 人程度で推移しており、全体の 3 割程度である。

こうした事態の要因として、密教学科改革会議において、大学のカリキュラムの問題が指摘されている。カリキュラム内容が後継者育成にふさわしいものになっているのか、教相（教理の深い学び）の部分とはもかく、事相（宗教作法）についての学びに不十分な点があったのではないかと分析されており、「修行ができる大学」としてアピールできるようにカリキュラム改革が進んでいる。密教学科のあるべき方向を明確化し、宗団との協力関係を強化して、優れた寺院後継者を育成できるということを伝えることで、寺院関係者からの入学を促進したいと検討している。

もっとも、高野山真言宗の僧侶になるためには必ずしも高野山大学に入学する必要はなく、1 年で修了できる専修学院をはじめ、別のルートで僧侶になりうるものが後継者の入学不足の別の要因でもある。したがってカリキュラム改革においては、教理の理解において深く、事相においても良く修行された、他とは抜きんでた優れた僧侶になりうることを広く伝えることが必要である。

また、寺院後継者や僧侶希望者以外の、仏教・密教を学びたいと思う者にたいして、広く国際的視野から学習が可能なコースを設置することも検討されている。国内の希望者はもちろん、海外からの留学生に対応できるコースの構想である。

人間学科改組の経緯

一方、人間学科は、入学定員充足率が 20%から多くて 45%であり、5 年間で平均 26%と苦しい状態である。2017 年度から難波サテライト教室への社会人編入を開始することで収容定員不足の改善が進んだが、それでも 2019 年度現在 59%であり、思うように改善できていない。

僧侶育成と異なる学びの人間学科で多様な学生の確保を目指したが、大学が高野山上にあり通学が困難であることに加え、教養を旨とした教育内容の魅力を伝えることが十分にできなかった。他大学と異なる特色を打ち出すことができず、卒業後の進路についても明確でなかったことなどが、入学生確保を困難にした要因だと考えられる。入学した学生への指導は丁寧に行い、学生募集の工夫についても様々な対策を行ったが、新入生確保にはいたっておらず、今

後の改善の見込みも極めて厳しい。したがって、学園の再生計画において最も大きな課題となってきた。

こうした中 2017 年 1 月に、同じ高野山真言宗系列の千代田学園（大阪府河内長野市）との連携協定が結ばれたことから、千代田学園から大阪千代田短期大学のキャンパスを活用する提案がなされた。同短期大学には幼児教育学科が設置されていることから、高野山大学に初等教育の学部・学科を設置する要望があり、検討を開始した。人間学科を千代田学園キャンパスに下ろすことも検討したが、双方の了解をえられず、あたらしく教育学科を設置する方向で検討することとなった。その際、経営的事情から人間学科の学生募集の改善が進まない場合、改組して教育学科とすることが法人本部から提案され、了承された。

すでに見たように、新入生の確保はできておらず、2018 年度も、海外留学生が主であり、国内からの進学者の増加には繋がらなかった。留学生の確保は継続的なものではなく、結局、2019 年度入学者は 2 名となった。人間学科は募集停止し、教育学科に改組することとした。

受験生確保の可能性

今回、教育学科の設置場所が大阪府河内長野市となり学生の通学条件がまったく異なること、目的が明確であり、卒業後の進路がはっきりしていること、同系大学と比較してもカリキュラム内容が斬新であり、魅力を訴えられる力があることなど、入学生を確保できる条件は格段に改善した。

他大学にはない本学のプログラムの特徴は、地域体験学習を 1 年次から必修科目として実施することである。その内容は、農業体験や、林業・木工、ものづくり、里山保全、馬術、まちづくり、文化活動など多彩な活動を、様々な地域団体と連携して行う。

教員養成系大学では、学校現場に 1 年次から参加する例は多くなったが、ほとんどがインターンシップで選択科目として行うものであり、農業や林業、地域自治会、里山 NPO など、教育現場以外の団体で、必修の授業科目としてこうした体験を行う例は聞かない。近隣の O 大学、M 大学、S 大学など、大阪には教員養成系の有力大学があるが、いずれも、インターンシップ的な取り組みである。

通学条件について述べれば、高野山キャンパスの場合、通学圏は南海高野線沿線に限られ、しかも和歌山県北部の橋本市までとなり、大阪府や和歌山市などからの通学は事実上困難である。入学対象となるこの地域の高校生（H30 年度高校 1 年生）の生徒数は、1600 人弱の規模である（後掲 p.7 表-6「和歌山県紀北地域高校生徒数」参照）。

一方、河内長野キャンパスは、南海高野線で大阪難波から30分、大阪天王寺からは近鉄長野線で45分の場所にあり、大阪市内から大阪南部にかけて十分に通学圏内である。また、和歌山県北部地域、奈良県や、これまで難しかった和歌山市からも、南海本線やJR阪和線の最寄り駅からの本学通学バスを利用して通学可能となる。

これらの通学圏の高校生の生徒数は、和歌山市及び紀北地方を加えて6万1221人と6万人を超える生徒数となり（後掲 p.7 表-7「大阪南部高校生徒数」参照）、紀北地方にとどまる従来の38倍をこえる受験生を見込むことができる。

加えて、寺院後継者に教職員免許取得の希望が強くあり、教育学科の場合は、全国の高野山真言宗寺院後継者の受験を見込むことができる。実際、高野山真言宗の多くの宗務支所（全国高野山真言宗末寺の地域ごとの団体）から、教育学科設置の要望書が届いている（資料1「高野山大学教育学科設置についての要望書」、高野山真言宗務支所からの設置要望書）。

カリキュラム内容に関しては、その特徴について多くの賛同をいただいております、大阪南河内地域を中心とする各教育委員会への説明においても、それぞれの教育長から高い評価をいただくと共に、上述の設置要望書もいただいている（資料2「高野山大学教育学科の新設に関する要望書」各地方自治体教育委員会からの要望書）。

また、学校現場管理職へのアンケート結果においても、多大な支持をいただくことができた。大阪南部地域を中心として、100校余の校長に、(1)本学教育学科の卒業生は社会に必要なか、(2)卒業生を採用したいか、と尋ねたところ、それぞれ90%を超える肯定的回答を得た。また、企業調査においても、同様の質問に対して8割から9割の企業が、社会に必要であり採用したいと回答していただいている。これらのアンケート結果の詳細は、「定員充足の根拠となる客観的なデータ概要」の項で詳しく述べる。

こうしたことから、改組による受験生確保の可能性は大きく改善すると言ってよいだろう。これは、高校生へのアンケート結果（後述 p.17以降）でも裏付けられている。

（2）教員養成系大学の志願者の全般的状況

平成30年度の学校基本調査の関係学科別構成比を見ると、「教育」の比率は、平成25年度の7.2%から平成29年度の7.4%、30年度7.3%とほぼ一定割合で進んできており、教育系学科が堅調に推移していることがうかがえる。

(表－3) 学校基本調査(平成30年度) 関係学科構成比「教育」の変遷

25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
7.2%	7.3%	7.4%	7.4%	7.4%	7.3%

また、私立大学教員養成系志願者数も、全国、近畿共に過去3か年でほとんど変わっていない。進研アドのデータによれば、近畿地区では実質倍率が4倍を超えており、教員養成系学部学科の需要が十分にあることがわかる。(進研アド提供データ、2018)

(表－4) 私立大学教員養成系入試結果(全国)

年度	募集人員	志願者数	合格者数	実質倍率
平成28	7684	85305	23841	3.2
平成29	7578	85540	23478	3.3
平成30	7729	85634	22884	3.4

(進研アド提供データ、2018)

(表－5) 私立大学教員養成系入試結果(近畿)

年度	募集人員	志願者数	合格者数	実質倍率
平成28	1,435	17,441	4,047	4.1
平成29	1,409	17,940	4,190	4.1
平成30	1,475	17,981	4,119	4.2

(進研アド提供データ、2018)

(3) 近隣地域における高校生数

受験生の主力となる大阪南部、和歌山紀北地域の高校生数は合わせて6万人を超える。教育学科開設予定の令和3年度(2021)入学対象となる高校生(2018年度高校1年生)は、和歌山市や紀北地域で5,467人(表-6)、大阪市を含む大阪南部では55,754人であり(表

ー7)、両者を合わせると61,221人と6万人を超える高校生数となる(資料としても添付資料3「大阪南部および和歌山紀北高校生数」)。大学への進学率を5割とし、学校基本調査(表ー1)の教育系進学者の割合7.3%を単純に当てはめると、2,234人(61,221×0.5×0.073)となり、(表ー5)の募集人員1475人の1.5倍程度の値となる。(表ー5)をみると、実際の志望者数は1万7千人から1万8千人ほどであり、近畿地区以外からの受験者や、複数回受験者の数がカウントされていることなどを考慮しても、十分にニーズがありそれを賄う受験生が存在することがわかる。

(表ー6) 和歌山県紀北地域 高校生生徒数

07 和歌山市・紀北地域 高等学校生徒数(全日制・定時制)(H30)															
区分	学年別生徒数														
	計			全日制(本科)											
				計			1学年			2学年			3学年		
計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	
県計	17,127	8,733	8,394	16,561	8,383	8,178	5,467	2,798	2,669	5,578	2,784	2,794	5,516	2,801	2,715
和歌山市	12,127	6,020	6,107	11,700	5,749	5,951	3,896	1,935	1,961	3,887	1,891	1,996	3,917	1,923	1,994
橋本市	1,726	1,115	611	1,609	1,051	558	498	320	178	573	378	195	538	353	185
紀の川市	1,280	686	594	1,258	671	587	396	205	191	444	238	206	418	228	190
岩出市	951	428	523	951	428	523	313	164	149	318	123	195	320	141	179
紀美野町	81	25	56	81	25	56	25	4	21	25	8	17	31	13	18
かつらぎ町	847	368	479	847	368	479	301	140	161	289	114	175	257	114	143
高野町	115	91	24	115	91	24	38	30	8	42	32	10	35	29	6

和歌山県 学校基本調査(H30)より

(表ー7) 大阪南部 高校生生徒数

[038] 学年別生徒数 大阪府南部地域高校生数(H30)

市町村	総数											
	総数			1学年			2学年			3学年		
	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女
平成30年	166,416	83,549	82,867	55,754	28,278	27,476	55,600	28,091	27,509	54,421	26,872	27,549
大阪市	78,909	39,528	39,381	26,418	13,338	13,080	26,434	13,392	13,042	25,753	12,611	13,142
堺市	20,819	10,298	10,521	7,050	3,548	3,502	6,935	3,377	3,558	6,791	3,341	3,450
岸和田市	4,678	2,329	2,349	1,563	771	792	1,618	800	818	1,495	757	738
泉大津市	945	451	494	280	132	148	318	157	161	347	162	185
貝塚市	1,703	695	1,008	565	225	340	559	243	316	579	227	352
尾道市	4,025	1,936	2,089	1,324	619	705	1,348	689	659	1,353	628	725
泉佐野市	2,766	1,587	1,179	923	560	363	954	529	425	882	498	384
富田林市	3,680	1,813	1,867	1,188	597	591	1,227	597	630	1,265	619	646
寝屋川市	4,434	2,058	2,376	1,508	729	779	1,481	685	796	1,387	613	774
河内長野市	3,439	1,432	2,007	1,150	516	634	1,091	448	643	1,075	457	618
松原市	4,681	2,583	2,098	1,515	817	698	1,565	879	686	1,601	887	714
大東市	5,724	2,742	2,982	1,981	955	1,026	1,895	913	982	1,848	874	974
和泉市	2,326	1,023	1,303	755	338	417	799	354	445	762	322	440
柏原市	2,313	1,514	799	743	476	267	725	478	247	845	560	285
羽曳野市	754	370	384	228	110	118	232	110	122	294	150	144
高石市	3,276	1,611	1,665	1,089	537	552	1,107	559	548	1,080	515	565
藤井寺市	2,406	1,446	960	860	515	345	790	480	310	745	444	301
東大阪市	13,403	6,924	6,479	4,515	2,386	2,129	4,472	2,344	2,128	4,333	2,164	2,169
南泉市	696	259	437	242	103	139	232	73	159	222	83	139
交野市	2,004	958	1,046	673	322	351	670	318	352	661	318	343
大阪狭山市	910	449	461	280	128	152	317	160	157	313	161	152
大阪南市	671	298	373	244	111	133	217	100	117	210	87	123
熊取町	712	494	218	254	179	75	222	150	72	236	165	71
岬町	541	333	208	204	128	76	175	107	68	162	98	64
太子町	601	418	183	202	138	64	217	149	68	182	131	51
河内南町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千早赤阪村	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

大阪府学校基本調査(H30)より

(4) 近畿地区教員養成系大学の入試状況

過去3年間（2017年～19年）の近畿の教員養成系大学の受験者数を大学別に見ると、多くの受験生を集めているいくつかの大学と、受験生確保に苦勞しているその他の大学とに分かれているのが特徴である。成功している大学の受験生数は、入学定員の8倍から10倍以上にのぼり、それらの大学の内、大阪府下の大学（大和大、大阪成蹊大、四天王寺大、大阪大谷大、桃山学院教育大）の受験生は、述べ数であるが7千人を超える数となっている。これに奈良県の畿央大学や兵庫県の武庫川女子大、関西学院大を加えると、1万7千人余の受験生となる。

地元近隣地域の主要教員養成系私立大学の小学校教員・幼稚園教員養成課程を持つ学部・学科の募集定員・受験者は下記（表一8）の通りである。

（表一8） 近畿教員養成系大学入試動向（2017-19） （各大学HPより作成）

大学	募集定員	受験者		受験者		受験者	
		2019	倍率	2018年	倍率	2017年	倍率
畿央大学	195	3866	19.8	4420	22.7	3584	18.4
四天王寺	240	1995	8.3	2153	9.0	2745	11.4
大阪大谷	230	931	4.0	1025	4.5	1094	4.8
大和	190	1654	8.7	1907	10.0	1898	10.0
大阪成蹊	180	1196	6.6	1024	5.7	784	4.4
桃山学院教育大学	175	1747	10.0	1611	9.2	224	1.3
大阪人間科学	95	51	0.5	82	0.9	741	7.8
関西福祉科学	100	131	1.3	134	1.3	129	1.3
常磐会学園	118	107	0.9	115	1.0	139	1.2
武庫川女子大	225	3479	15.5	2531	11.2	2803	12.5
大阪総合保育	110	793	7.2	690	6.3	575	5.2
大阪体育	125	763	6.1	785	6.3	884	7.1
相愛	80	100	1.3	88	1.1	83	1.0
園田	95	87	0.9	86	0.9	120	1.3
関西学院	350	2494	7.1	2446	7.0	2819	8.1
奈良学園	150	436	2.9	336	2.2	272	1.8
帝塚山	100	598	6.0	302	3.0	315	3.2
総計	2758	20428	6.3	19735	7.2	19209	7.0

上記17大学の募集定員2758人に対して、受験者は2017年度19209人、2018年度19735人、2019年度は20428人と毎年増加しており、2017年度から1219人増加した。倍率は概ね6倍から7倍であり、今年度も多くの不合格者を出している。

桃山学院教育大学は、2017年度にプール学院から経営移譲して爆発的に受験者を伸ばした。積極的な広報活動と魅力的な教育内容を打ち出すことで、見事に成功したといわねばならない。

教員養成系大学において、受験生や高校進路指導教員が選択基準とするのが、教員採用試験の実績である。近畿の主要大学はいずれも採用試験の実績を誇り、その成果が受験生獲得につながっている。たとえば近畿圏でトップクラスの受験生獲得をしている畿央大学は、教育学部の設置は2006年である。まだ15年という歴史の浅い学部であるが、教員採用試験の実績において大きな成果をあげて注目されたことが現在の教育学部の隆盛に繋がっている。大阪の有力校である四天王寺大学も、教育学部教育学科設置は2008年であり、やはり10年程度の歴史であるが、「教員採用試験合格者数西日本トップクラス」（四天王寺大学案内2019版）を誇っている。

これらの大学は、学生の支援体制や教育プログラムにも注意を払っており、少人数教育や現場体験、アクティブラーニングを積極的に取り入れ、教育現場をよく知る実務家教員を採用していることも特徴である。

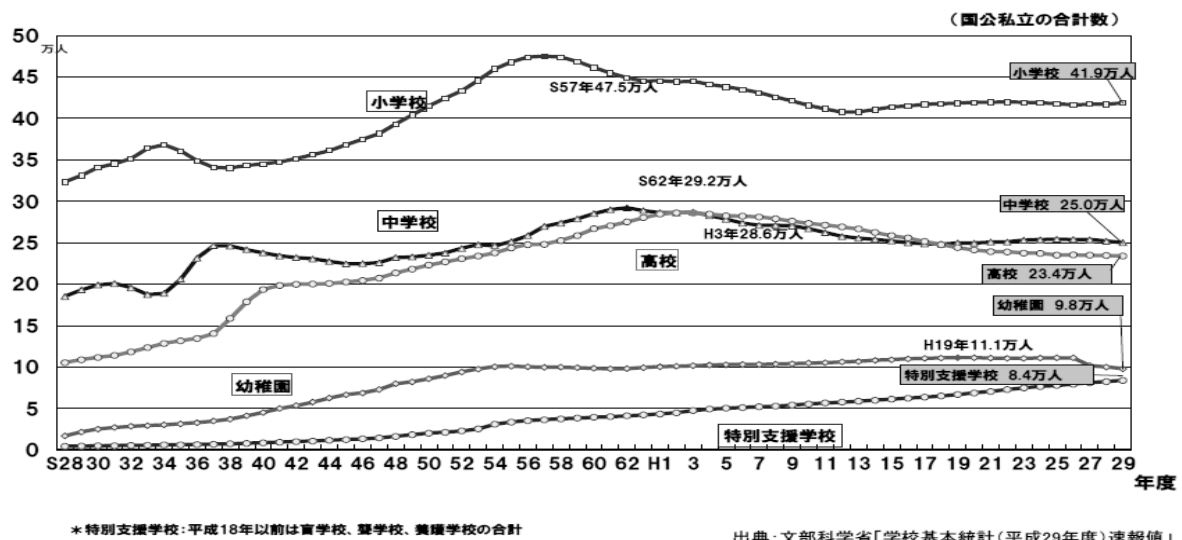
こうしたことから考えると、学生募集の可能性に影響を与える採用試験対策をふくむ入学後の十分なサポートが大切であり、教員志望の気持ちを高め、資質能力を育成できる教育プログラムの充実が必要である。本学の教育学科は、こうした有力大学に伍して教員養成の実績を上げるためにも、丁寧な学生サポートはもちろんのこと、他大学に負けない魅力的で本格的な養成カリキュラムを用意したいと考えている（詳細は設置趣旨「教育課程編成の特徴」を参照）。

（5） 教員採用数の推移

i) 全般的傾向

上述したように、教員養成系の大学では教員採用試験の合格率は受験生の重要な大学選択条件である。したがって、教員採用事情は教育学科設置計画においても無視できない重要な条件である。

文部科学省学校基本統計（H29）による全国の教員数の推移を見ると、小学校児童生徒の急激な減少にもかかわらず、小学校教員数は約42万人の水準を保っている（図-1）。

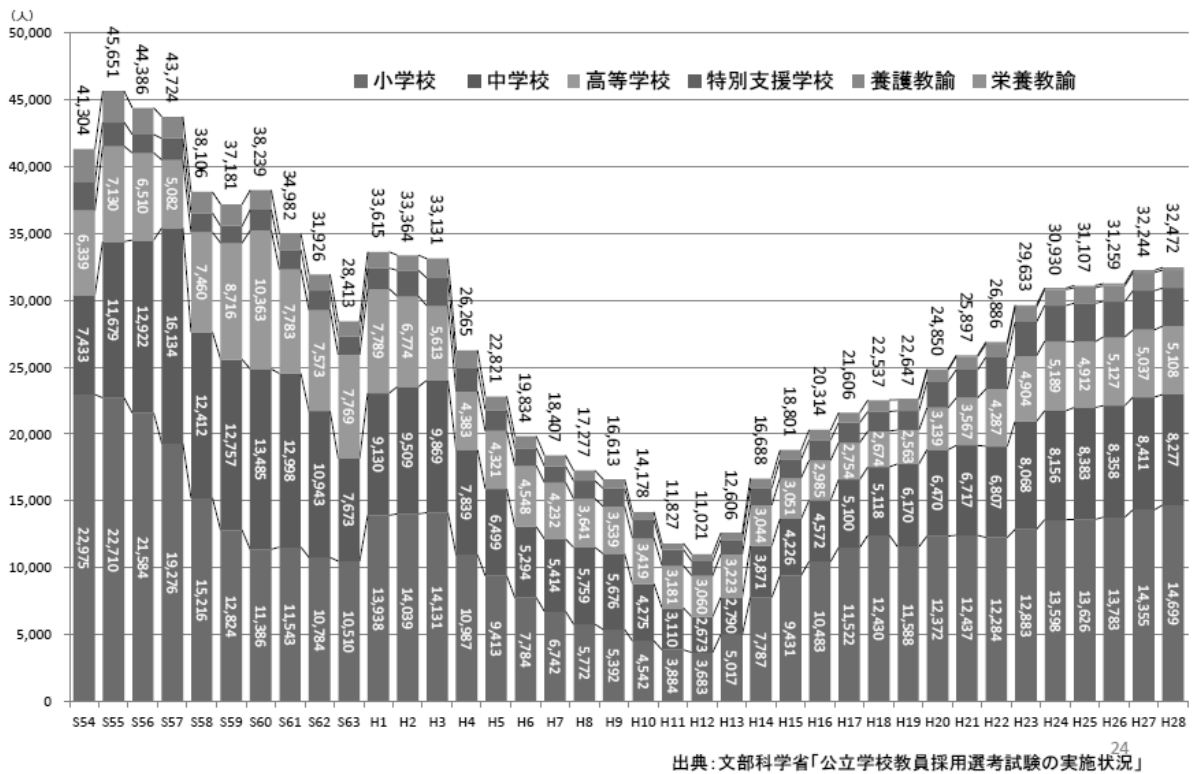


(図一) 教員数推移 (全国)

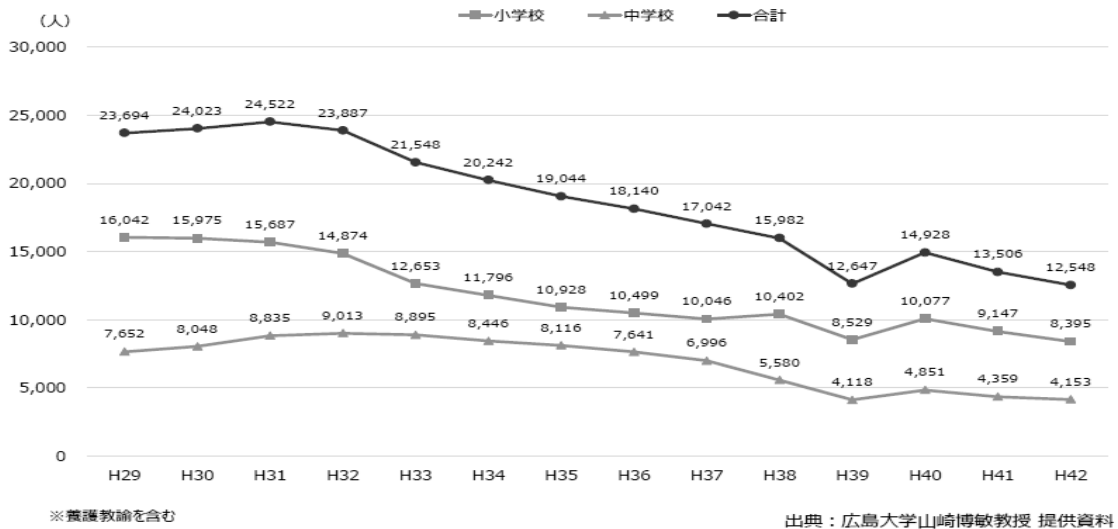
また、教員採用数の推移も微増の傾向を示している (図一2)。もっとも、公立学校教員需要予測 (図一3) では、H32年度頃から漸減していくと予想されていて、今後の採用事情は厳しい状況になると考えなければならない。

ただ、中教審「教職員定数に係る緊急提言」(H27.10.28)において教職員数の充実確保が指摘されたことや、小中学校教員の週当たり勤務時間が、民間の他業種と比較して長時間であること、国際的にみても勤務時間が最も長い国であることなどが教員の「勤務実態調査 (H28)」で明らかになったことなどから、教職員数の充実確保は喫緊の課題となってきた。実際、共同通信 (2018.7.1)によると、全国26都道府県と9政令指定都市で少なくとも600人の教員不足が明らかになっており、教員確保は「綱渡り状態」(京都新聞、2018.7.2)だとも報道されている。

平成29年には教員の勤務環境の改善に関する中教審「学校における働き方改革に係る緊急提言」(H29.8.29)が出されて、“教員が授業や授業準備に集中し、教員が健康でいきいきとやりがいをもって勤務でき、教育の質を高められる環境を構築することが必要である”と述べられており、近い将来に教員数の改善がはかられることをぜひとも期待したい。



(図一 2) 公立学校教員採用数の推移



(図一 3) 公立小中学校教員需要予測 (全国)

ii) 近畿地区における小学校教員数、採用数の状況

小学校の教員数は、大阪府、奈良県、和歌山県でもほぼ一定で推移しているが、新規採用数については、全体のトーンは減少気味である。特に大阪府は、この間の採用数減少が続いていて厳しい事情にあり、今後の動向を注目しておかねばならない。もっとも、奈良県、和歌山県はほぼ一定の採用数を維持しており、大阪市や大阪府豊能地区では、平成30年度の採用数は増加している（表-9～14）。

(表-9) 大阪府教員採用数の推移

	採用予定数	受験者	合格者	倍率
H26	950	2555	895	2.9
H27	830	2357	731	3.2
H28	770	2320	724	3.2
H29	710	2304	654	3.5
H30	650	2130	592	3.6

(表-10) 大阪市教員採用数推移

	採用予定数	受験者	合格者	倍率
H26	280	1036	304	3.4
H27	400	1103	557	2.0
H28	400	1106	389	2.8
H29	200	999	219	4.6
H30	300	1024	341	3.0

(表-11) 大阪豊能地区採用数推移

	採用予定数 (うち豊能地区)	受験者	合格者	倍率
H26	950 (約120)	2555	895	2.9
H27	約80	397	82	4.6
H28	約80	373	85	4.4
H29	約100	404	92	4.4
H30	約120	443	119	3.7

(表-12) 堺市教員採用推移

	採用予定数	受験者	合格者	倍率
H26	286	1216	319	3.8
H27	319	1133	327	3.5
H28	272	1180	304	3.9
H29	226	1176	231	5.1
H30	201	995	181	5.5

(表-13) 奈良県小学校教員採用推移

	採用予定数	受験者	合格者	倍率
H26	205	888	205	4.3
H27	200	831	200	4.2
H28	185	836	185	4.5
H29	170	806	170	4.7
H30	170	724	170	4.3

(表-14) 和歌山県小学校教員採用推移

	採用予定数	受験者	合格者	倍率
H26	165	534	165	3.2
H27	165	499	166	3
H28	180	475	180	2.6
H29	200	476	200	2.4
H30	160	467	160	2.9

こうした状況から考えれば、近畿地区の6年後の小学校教員採用状況は、楽観はできないものの、労働条件の改善と相まって極端に大きく減少することはないと考えてよいだろう。

iii) 幼稚園教諭の状況

幼稚園の教員数は、「学校基本調査（平成30年）」のデータによると減少の傾向にある。下記（表-15）の通り、平成20年度に11万人を超えていた教員数が平成30年度には9万5千人ほどになっている。しかし推移をよく見ると、平成26年度まで11.1万人程度ではぼ一定であったが27年度から、減少し始めたことがわかる。

(表-15) 幼稚園教員数の推移 全国

表4 幼稚園の教員数(本務者)

(単位:人)

区 分	教員数 (本務者)	うち 女性教員	本務教員に
			占める女性 教員の比率 (%)
平成20年度	111,223	104,040	93.5
25	111,111	103,738	93.4
26	111,059	103,648	93.3
27	101,497	94,769	93.4
28	99,957	93,450	93.5
29	97,840	91,444	93.5
30	95,593	89,342	93.5

文科省「学校基本調査 平成30年度」

一方、認定こども園の教員数の推移(表-16)をみると、平成27年度から増え続け、H27年度3万7千人余から30年度には9万人を超える急成長をとげている。幼稚園教員数の減少の原因の一つに、幼稚園から認定こども園に移行しつつある状況が反映されているように見える。幼保連携型の認定こども園は今後も伸びていくと思われることや、保育所等の待機児童の解消が叫ばれていることもあり、幼稚園教諭および保育士資格の取得者の必要性は増大こそすれ、減少することはないであろう。

(表-16) 認定こども園教員数の推移 (文科省「学校基本調査 平成30年度」)

表8 幼保連携型認定こども園の教員数(本務者)

(単位:人)

区 分	教員数 (本務者)	うち 女性教員	本務教員に
			占める女性 教員の比率 (%)
平成26年度
27	37,461	35,337	94.3
28	57,118	53,992	94.5
29	75,615	71,600	94.7
30	92,444	87,553	94.7

なお、高野山真言宗の末寺には、幼稚園や保育所を経営している寺院が多数あり、保育所、幼稚園、認定こども園を併せて 67 園、教員数は 1507 人に達している（表－17）。これらの園では、高野山大学で学んだ学生を教員として採用したいという希望を持っており、今回の教育学科設置についても、同保育連盟から設置要望書が届いている。同時に「公益財団法人日本仏教保育連盟」からも設置要望書が届いており、高野山大学文学部教育学科への期待は大きい。なお、これらの各組織等からの設置要望書については、「設置の趣旨及び必要性」書類の「(添付資料1)「高野山大学教育学科新設についての要望書」にまとめて掲載しているので参照願いたい。

(表－17) 高野山真言宗保育連盟幼稚園数、教員数

	園数(園)	教員数(人)
認定こども園	15	480
幼稚園	27	474
保育園	24	553
合計	67	1507

(高野山真言宗保育連盟『結成 60 周年記念誌 (H29.8)』より作成)

iv) 近隣地域における幼稚園等の状況

河内長野市を中心とする近隣地域の幼稚園の状況をみると、河内長野市では全 11 幼稚園が私立幼稚園であり、他の地域は、富田林市、大阪狭山市、河南町、堺市で 24 園が公立として設置されている。私立幼稚園は、大阪府下で 412 園あり（大阪府私立幼稚園連盟「幼稚園ナビ」2019.2）、その半数以上が2月時点でも求人中である。この時期では、幼児教育関連のほとんどの大学・短大の幼稚園就職希望者は、90%以上の就職が内定しているのが常である。例年、100%の就職率を誇る大学も少なくない。こうしたことから判断すると、多くの幼稚園では教諭不足が続いており、教育学科の卒業生が就職に困る状況ではないことが分かる。

以上のことから、本学教育学科卒業生が、幼稚園に就職できる可能性は大変高いといってよいだろう。

2) 定員充足の根拠となる客観的なデータの概要

近隣大学の受験動向など、定員充足の根拠についてはデータを紹介して説明してきた。
ここでは、指定校進路指導部や近畿地区高校生への入学意向調査の結果について説明する。

(1) アンケート調査等から見た入学者の確保

入学者確保について検討するため、進路担当教員や受験生に対して調査を実施した。
以下、①2018年度（進路指導部）、②2018年度（高校生）、③2019年度（高校生）にそれぞれ実施した結果について順に記す。

① 第三者機関による入学意向調査（2018年度実施）の結果

2018年度には、教育学科への入学意向を推定すべく、株式会社進研アドに委託し、高等学校2年生を対象としたアンケート調査を実施した（添付資料4 高野山大学「教育学科」（仮称）設置に対するニーズ調査）。

調査期間： 2018年11月～12月

調査対象： 通学圏内及び本学に入学実績のある近畿圏の高等学校 32校（3606人）

有効回収数： 25校（2,001件）（有効回収率 55.5%）

調査結果の概要

i) 高野山大学「文学部 教育学科」の特色に対する魅力度（※）

※魅力度＝「とても魅力を感じる」「ある程度魅力を感じる」と回答した人の合計値

アンケートでは、入学意向の質問とともに、教育学科の特色を5点あげて、それについても「とても魅力を感じる」「ある程度魅力を感じる」「あまり魅力を感じない」「まったく魅力を感じない」「無回答」の選択肢で尋ねている。

「教育学科の特色」

A. 学内での講義は主に午前中、午後は学外で農業体験、木工体験、馬術体験などに参加し、徹底的な体験学習を重ねることで、教員としての指導力につながる行動力や困難に立ち向かう力を身につけます。

B. 1年次から教育現場に触れ、教育実習を繰り返し行うことで、大学で学ぶ教育理論と、実際の教育現場での課題の両方を理解でき、高い教育実践力を身につけられます。

C. 英語に関する Web 教材の導入や高野山観光ボランティア実習、海外留学などを通して、これからの教育現場に必要な国際的な視野と実践的な英語力を修得できます。

D. 小学校教諭だけでなく、幼稚園教諭や社会福祉主事（任用）、博物館学芸員などの資格取得も可能です。

E. 「心の教育」を充実させ、クラス運営や心理ケアに関する基礎的な理解を得られるようカリキュラムを設定しています。

調査結果： 魅力度は、すべての項目において5割を超える。

・最も魅力度が高いのは、「B. 1年次から教育現場に触れ、教育実習を繰り返し行うことで、大学で学ぶ教育理論と、実際の教育現場での課題の両方を理解でき、高い教育実践力を身につけられます。」(63.8%) であり、「とても魅力を感じる」と回答した人の割合も 20.2% で最も高い。

次に魅力度が高いのは、「D. 小学校教諭だけでなく、幼稚園教諭や社会福祉主事（任用）、博物館学芸員などの資格取得も可能です。」(61.5%)、さらに「E. 「心の教育」を充実させ、クラス運営や心理ケアに関する基礎的な理解を得られるようカリキュラムを設定しています。」(60.9%) と続く。

ii) 受験意向・入学意向

高野山大学・教育学科を

「受験したい」	171人	(8.5%	2001人中)
上記171人中で「入学したい」	145人	(84.5%	171人中) (4.8% 2001人中)

・高野山大学「文学部 教育学科」を「受験したいと思う」と答えた人は、8.5% (171人) である。171人のうち、「入学したいと思う」と回答した人は、84.8% (145人)、全体 (2001人) の4.8%である。

これらの回答を、属性別にまとめると

① 高校所在地別

・高野山大学「文学部 教育学科」の設置予定地である「大阪府」の高校在籍者からの入学意向は7.9% (1,052人中、83人) と、予定している入学定員数を上回る入学意向者がみられた。

② 高校卒業後の希望進路別

・「四年制大学に進学」を考えている回答者の入学意向は9.7% (947人中、92人)。

そのうち、高野山大学を受験・入学する可能性が高い「私立大学に進学」を考えている回答者に限定した場合でも、入学意向は10.0% (647人中、65人) と、予定している入学定員数を上回る入学意向者がみられた。

③ 興味のある学問系統別

・高野山大学「文学部 教育学科」の学問内容と関連する「教員養成・教育学」に興味がある回答者からの入学意向は22.7% (207人中、47人)。また、「保育学・幼児教育学」に興味がある回答者からの入学意向は16.5% (243人中、40人) みられ、両者を合わせた「教員養成・教育学、保育学・幼児教育学」に興味がある回答者からの入学意向は18.0% (394人中、71人) と、予定している入学定員数を上回る入学意向者がみられた。

・その他、「社会福祉学」に興味がある回答者からの入学意向も16.8% (101人中、17人) みられる。

④高野山大学「文学部 教育学科」の特色に対する魅力度とのクロス集計結果

特色に対する魅力度回答結果と入学意向とのクロス集計結果をみると

・高野山大学「文学部 教育学科」の特色に魅力を感じている回答者の入学意向は、いずれの特色でも10%程度みられ、高野山大学「文学部 教育学科」の特色に魅力を感じた人からの入学意向が高い傾向がうかがえる。

以上、入学意向調査結果の概要を簡単に記した。詳しい結果やデータは(添付資料4)を参照されたい。

回収された生徒数 2001 人は、先に述べた大阪南部、和歌山紀北地域の高校生数約 6 万 2 千人と比べておよそ 30 分の 1 であることから、実際の受験生はアンケートでの 145 名を上回る数にのぼることは容易に推定できる。

大学進学率が 50% だとして、有効回収データ中の 8.5% が受験意向を示し、4.8% が入学意向を示したことを機械的に適用すると、6 万 2 千人の 50% (31,000 人) の 8.5% にあたる 2635 人が受験意向を持ち、1488 人が入学意向を持つというデータとなる。

もちろん、アンケート対象校はもともと高野山大学に進学実績がある高校が中心であることを考慮すると、これを一般化することは控えなければならないし、2600 人余という受験者を期待することは現実的ではない。しかしながら、こうしたデータが出たこと自体、我々を勇気づけるものである。

なぜこうした良好なデータが出たのか、クロス集計から分かることの一つは、本学カリキュラムの特色に対する魅力度が高いということである。上述のように、アンケートに際して本学のカリキュラムの特徴を 5 点に集約して示したが、「受験したい」且つ「入学したい」と答えた 145 人は、この 5 つの特色すべてに「とても魅力を感じる」と答えている割合が他に比べて 10 ポイント以上高い。これは、たとえ実績がなくても教育内容に魅力があれば、進学先として選択してくれる可能性があることを強く示すものと理解できる。

もちろん大阪南部には、教員養成の有力大学が揃っており激戦区である。しかしすでに述べたように (p.8)、教員養成系大学への進学希望者は、それら有力校の入学定員の 7 倍以上にのぼっており、たくさんの不合格者を出している。こうした状況が急変するというデータはみられないことから、定員確保の可能性が高いことは間違いないと思われる。

なお同時に、小学校管理職および一般企業に対してもニーズ調査を行っている。(資料 4)

■ 小学校管理職（校長、教頭等）へのニーズ調査

配布数 135 件配布、回収数 107 件、有効回答数 107 件(有効回収率 79.3%)

- ・本学教育学科は社会に必要なか

Yes	103	(96.3%)	No	0	N.A.	4
-----	-----	---------	----	---	------	---

- ・卒業生が勤務してほしいか

Yes	98	(91.8%)	No	0	N.A.	9
-----	----	---------	----	---	------	---

■ 一般企業 採用意向調査

配布数 183 件、 回収数 96 件、有効回収数 96 件 (有効回収率 52.5%)

・本学教育学科は社会に必要なか

Yes 84 (87.5%) No 4 N.A. 6

・採用意向(「採用したいと思う」と回答した会社数)

採用想定人数を明記して採用したいと回答 32 社 (33.3%)

採用想定人数は不明だが採用したいと回答 44 社 (45.8%)

採用したいと回答した会社 合計 76 社 (79.1%)

いずれも、大変評判の良いデータであり、卒業時の出口についても大いに期待できる。特に小学校管理職の方々へのアンケート結果において、本学教育学科卒業生が「社会に必要な」との問いに対して、96%もの方が Yes、「勤務してほしいか」との問いにも、91.8%の方が Yes と回答してくれたことは、今回の教育学科の構想が、教育現場のニーズに合致していることを裏付ける有力なデータだと思われる。また 79%もの一般企業から、「採用したい」との回答を得たことは、従来の高野山大学では考えられなかったデータである。たとえリップサービスがあるとしても、卒業生への期待が大きいことを示すものであり、期待に応えられる教育を行わなければならないと肝に命じている。

② 第三者機関による入学意向調査(2019年度実施)の結果

2019年度は、株式会社アンド・デイに依頼して、入学意向調査を実施した。以下にその概要を述べる。なお、調査結果の詳細は、「資料-5、文学部教育学科に関するアンケート(高校生)調査結果報告書」を参照されたい。

調査結果の概要

調査対象校 大阪府・和歌山県・奈良県・京都府の公立・私立高校 2 年生

38 校 5254 件

調査期間 2019 年 11 月 18 日～12 月 27 日

有効回答数 34 校 3279 件 (有効回答率 62.4%)

大阪府 1830 件、和歌山県 1183 件、奈良県 174 件、京都府 92 件

アンケートでは、(1) 希望進路分野、(2) 高野山大学教育学科の学びの特徴の魅力度、(3) 高野山大学教育学科受験の可能性、(4) 高野山大学教育学科入学の可能性について尋ねている。(1)の希望進路分野については、高校卒業後に考えている進路(大学、短期大学、専門学校就職等)や、興味のある学問分野、進学先決定時の重要事項などを尋ねている。

■希望進路

大学進学を希望している者は、全体の68%(2230人)であり、第一希望として大学を進路先に行っている者は、全体の61.1%、短期大学4.1%、専門学校15.2%、就職10.1%、その他と未決定6.4%であった。

大学進学希望者(2230人)の中で、教育・保育分野を希望する者は582人(26.1%)であり、かなりの割合になっている。

また、進学先を決定する際に重視する項目として、

「学びたい学部・学科・コースがあること」がもっとも多く全体の67%を占めている。「就職に有利であること」を選択したものが次に多く50.1%となっていて、近年の学生の典型的な様子が現れている。その他、「校風・雰囲気良さ」「学生生活が楽しめる」「資格取得に有利」「交通の便が良い」「学費が高くない」などが続いている。

従来の高野山大学が学生募集に苦勞する理由の一端をこのアンケート結果から垣間見ることが出来る。

次に、高野山大学教育学科への受験や入学の可能性に関する結果の概略を記す。

■高野山大学文学部教育学科を受験したいか

(1) 受験したい	50人	1.5%	
(2) 受験校の候補に入る	307人	9.4%	
	計	357人	10.9% ※受験意向あり
(3) 受験したいと思わない	2843人	86.7%	
(4) 無回答	79人	2.4%	
	合計	3279人	100%

「受験したい」と「受験校の候補」の合計357人(10.9%)が、本学教育学科に対して受験意向があると考えられる。この357人について、入学の意向を尋ねた結果が以下である。

■高野山大学文学部教育学科に入学したいか

(1) 入学したい	50人	14.0%	1.5%
(2) 併願校の可否によっては入学したい	232人	65.0%	7.1%
計	282人	79.0%	8.6%

※入学意向あり

(3) 入学先としては考えない	67人	18.8%	2.0%
(4) 無回答	8人	2.2%	0.2%
合計	357人	100%	

上記右端の結果は、全回答者 3279 人における結果である。その中で、就職や進路未定の者を除き、大学・短大・専門学校への進学を希望している者（以下、進学希望者とする）は 2799 名であり、その人々の結果を以下に示す。

■大学等への進学者希望者における受験意向

		(イ)	(ロ)
(1) 受験したい	42	1.5%	1.3%
(2) 受験校の候補に入る	279	10.0%	8.5%
計	321	11.5%	9.8%

※受験意向あり

(3) 受験したいと思わない	2445	87.4%	74.6%
(4) 無回答	33	1.2%	1.0%
合計	2799	100%	

(イ) 進学希望者 2799 人中の割合

(ロ) 全回答者 3279 人中の割合

■上記の受験希望者（321人）における入学意向。右端は進学希望者（2799人）中の割合

(1) 入学したい	42	13.1%	1.5%
(2) 併願校の可否によっては入学したい	210	65.4%	7.5%
計	252	78.5%	9.0%

(3) 入学先としては考えない	62	19.3%	2.2%
(4) 無回答	7	2.2%	0.3%
計	321	100%	

進学希望者は全体の 94%を占めているので、回答の傾向はほぼ変わらない。したがって、上記の受験意向や入学意向は、問題がない回答だということができるが、意向調査の結果としてみる場合、厳しく進学希望者 2799 人におけるデータを使用することとしたい。

■意向調査の結論

・進学希望者 (2799 人)のうち、「受験したい」「受験校の候補に入る」を合わせた「受験検討意向あり」は、321 人 (11.5%)である。これは全体の 9.8%にあたる。

・「受験検討意向あり」のうち、「入学したい」「併願校の可否によっては入学したい」を合わせた「入学意向あり」は、252 人であり、「受験検討意向あり」321 人中の 78.5%、進学希望者の 9.0%、全体の 7.7%にあたる。

・保育・教育関連に進学したい者に絞った場合、「受験検討意向あり」は 154 名となり、全体の 4.7%にあたる。(詳しくは、添付資料参照)

■前年度との比較

2018 年度 受験したい 171 人 (8.8%)、 入学したい 145 人 (4.8%)

2019 年度 受験したい 321 人 (9.8%)、 入学したい 252 人 (7.7%)

前年度と比べて、受験したい者・入学したい者の数は増加しており、全体に対する割合も増加している。2018 年度の結果から分析したと同様に、2019 年度の結果を大阪南部、和歌山紀北地域の高校生数約 6 万 2 千人に拡張して受験可能数を推計する。6 万 2 千人の半数が大学進学であり、その 9%が本学の受験希望者とする、 $62000 \times 0.5 \times 0.09 = 2790$ 人となり、高い受験可能性を示唆するデータとなる。

アンケート依頼校は、本学に親和性の高い高校が多いことを考慮に入れると、実際の受験生が 3000 人近くに上ると考えることは現実的でないが、入学定員 50 人を確保する可能性は十分にあると想定して問題ないであろう。

■「教育学科の特色」に関する魅力度（※）

※魅力度＝「とても魅力を感じる」「ある程度魅力を感じる」と回答した人の合計値

特色を示す項目は昨年と同様であり、魅力を感じるかどうかを選択肢で回答してもらった。項目は以下の通りである。

A. 農業体験、木工体験、馬術体験など様々な体験学習を重ねることで、教員としての指導力につながる行動力や困難に立ち向かう力を身につけます。

B. 1 年次から教育現場に触れ、教育実習を繰り返し行うことで、大学で学ぶ教育理論と、実際の教育現場での課題の両方を理解でき、高い教育実践力を身につけられます。63.8

C. 英語に関する Web 教材の導入や高野山観光ボランティア実習、海外留学などを通して、これからの教育現場に必要な国際的な視野と実践的な英語力を修得できます。

D. 小学校教諭だけでなく、幼稚園教諭や社会福祉主事（任用）、博物館学芸員などの資格取得も可能です。

E. 「心の教育」を充実させ、クラス運営や心理ケアに関する基礎的な理解を得られるようカリキュラムを設定しています。

各項目に対して、①「とても魅力的」、②「ある程度魅力的」、③「あまり魅力的でない」、④「まったく魅力的でない」の中から選択してもらった。①と②を合わせたものを魅力度とすると、結果は以下の通りである。

(A)	①20.5%	②41.4%	③21.2%	④12.9%	魅力度	61.9%
(B)	①30.3%	②41.3%	③14.4%	④9.9%	同	71.7%
(C)	①29.3%	②41.6%	③15.7%	④9.3%	同	70.9%
(D)	①28.1%	②37.3%	③18.1%	④12.4%	同	65.4%
(E)	①25.3%	②43.2%	③17.7%	④9.7%	同	68.5%

最も魅力的に思われたのは、(B)「1年次から教育現場に触れ、・・・高い教育実践力を身につけられます」であり、次に(C)「英語に関するWEB教材の導入・・・国際的な視野と実践的な英語力を修得」、(E)「心の教育を充実・・・クラス運営や心理ケアに関する理解」と続く。(B)の「1年次から教育現場に触れる」項目は、「とても魅力的」という回答が30.3%と3割を超えており、教員志望の高校生にとっては重要な要素であることがわかる。

魅力度は、全ての項目で6割を超えており、本学の教育の特徴が肯定的に受け止められていると理解できる。

一方、体験的な学びについて、昨年に続いて他の項目よりも低いことが気にかかる。体験の内容について分かりやすいメッセージを伝えることができれば、理解を得られるようになると期待しているが、様々な角度からより深く分析する必要があると考えている

③ 指定校進路指導部担当教員に対するアンケート結果 (2018.1)

教育学科設置を計画するにあたって、本学の指定校66校に対して教育学科設置に関する訪問調査を行った(2018.1.23-2.5)。

教育学科設置を検討するにあたって、本学の指定校66校の進路指導部担当教員に対して訪問調査を行った(2018.1.23-2.5)。調査は、本学総務課入試企画担当職員が訪問し、(表-18)に示した項目について担当教員から回答いただいた。本学が実施したものであるため、第三者によるものにくらべて客観性は低いが、アンケート内容自体は妥当なものであり、一定の客観性を有すると考えられるので、補足資料として提示する。

以下は、アンケート結果である。

(表-18) 教育学科設置計画に係る調査 (指定校66校分)

1	教育学科への志望者はいるか	校数	%
	はい	64	97%
	いいえ	2	3%
2	高野山大学が教育学科を設置した場合、進学を検討するか		
	はい	43	65%
	いいえ	23	35%

3	教育学科選択時に重視することは何か		
	・教員採用試験の実績	39	37%
	・教育プログラムの内容	28	26%
	・キャンパス	6	6%
	・偏差値の高い大学	5	4%
	・教授陣	4	4%
	・その他	24	23%

※実施時期 2018年1月から2月

(表-18)に見られるように、従来からほとんどの高校で教育学科に志望する学生は存在しており(97% 64校)、高野山大学が教育学科を設置した場合に教育学科への進学を検討するという回答が65%(43校)にのぼっている。その際に、志望動機として、教員採用試験の実績に続いて、教育プログラムの内容が重要だとの回答が3割近く(26%、28校)を占めていて、たとえ新設の教育学科であっても、良いプログラムを用意すれば学生の獲得が十分に可能であることを示している。

(2) 千代田学園大阪暁光高校との連携

高野山大学は、千代田学園と連携協定を結んでいる。千代田学園は大阪暁光高校を持っており、大阪暁光高校には、平成29年から教育探究コースが設置されている。同コースには1期生(現3年生)23名、2期生(現2年生)24名、3期生(現1年生)25名が在学する。

教育探究コースは、高野山大学の教育学科に進学することを目標の一つとするコースであるため、それなりの進学希望者を見込むことができる。また、暁光高校普通科には、他に幼児教育コースと進学総合コースが設置されており、幼児教育のコースでは、3年生63名、2年生57名、1年生57名、進学総合コースでは、3年生200人、2年生152人、1年生170人の生徒が在学している。これらのコースでも、本学教育学科に進学を希望する生徒が存在する可能性は十分に高い。

千代田学園の「第2期学園振興中期計画」(2018.5)には、“高野山大学の教育学科を、本高校の「教育探究コース」の進学先として位置づけ、7年一貫教育で教職等への進路保障”を目指し、“さらに、本高校「幼児教育コース」から短期大学に進学し5年一貫で幼児教育

を学ぶ学生たちが、短大課程の修了後に、高野山大学の教育学科に編入学し、小学校や特別支援の教員免許も取得できる”ようにしたいと計画されている（資料6 千代田学園第2期学園振興中期計画、2018.5、p.9）。

千代田学園との連携は、新入学生ばかりでなく編入学生まで含んだ可能性に満ちたものである。

以上、大阪南部・和歌山県紀北地域の高校生数や、教員養成系大学の入学定員と受験生数などから、実質受験倍率が4倍を超えており、近隣地区の教員養成系への進学希望者を収容するには定員が不足していること、教員採用事情が簡単ではなくても、一定の教員の必要性は持続し、採用可能性が十分にあること、千代田学園との連携による入学志望者、高校生に対するアンケート結果などのデータから、定員確保の可能性はかなりのレベルで高いと見てよいということを説明してきた。

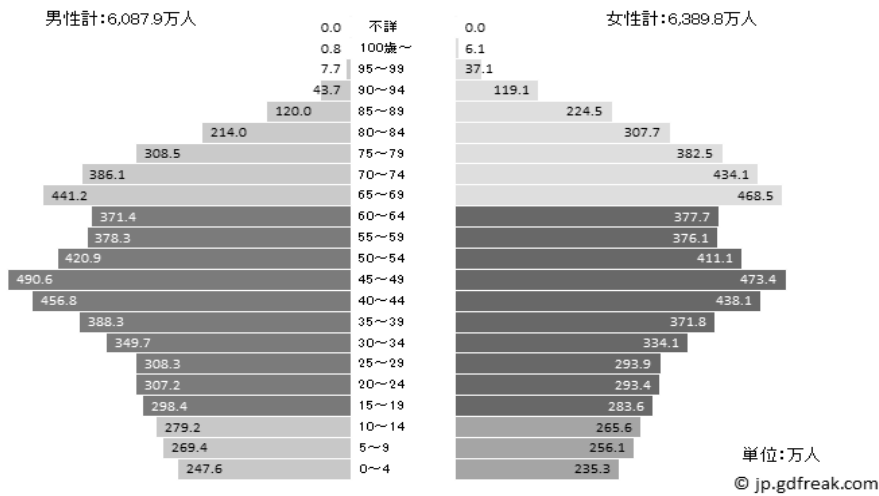
加えて、高野山真言宗関連学園（大阪清風高校、清風南海高校、宣真学園女子高校、奈良智弁学園高校、奈良智弁カレッジ高校、高野山高校、横浜清風高校）や全国からの受験者などを考慮すると、受験生50名を確保することは十分可能であるといえる。

3) 中長期的な18歳人口の全国的、地域的動向等

(1) 全国的動向

現在のわが国の人口構成は下記の図に端的に示されているように、40歳台と60～70歳台の人口が大きく、若年層が小さい比率である。現状のままでは、徐々に人口減が進む様子が分かる。ちなみに、20～24歳の人口が約600万人、15～19歳が580万人である。

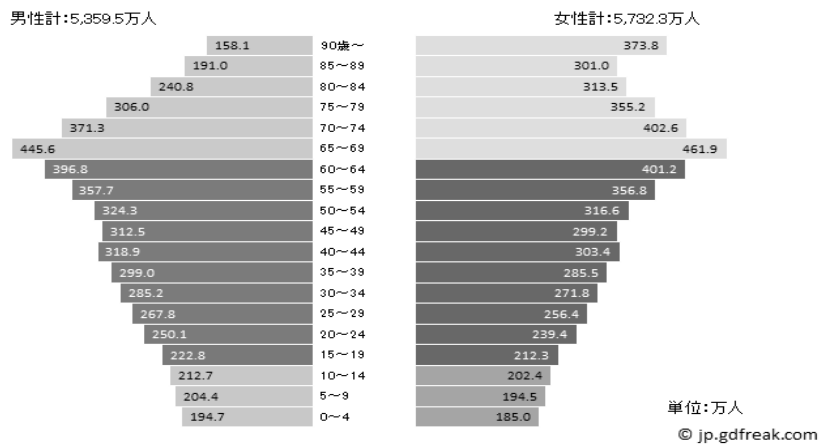
日本の2019年1月1日の人口構成(住民基本台帳ベース,総人口)



(図一四) 2019年人口構成

次の図は2040年の人口構成予測である。20年後のわが国では、20~24歳の人口が約490万人、15~19歳では430万人余となっている。上で見た人口と比較すると、20~24歳で110万人、15~19歳で150万人の減少となる。20年間で100万人以上の受験生層の減少となる様子が如実に現れている。

2040年日本の人口構成(予測)



(図一五) 2040年人口構成

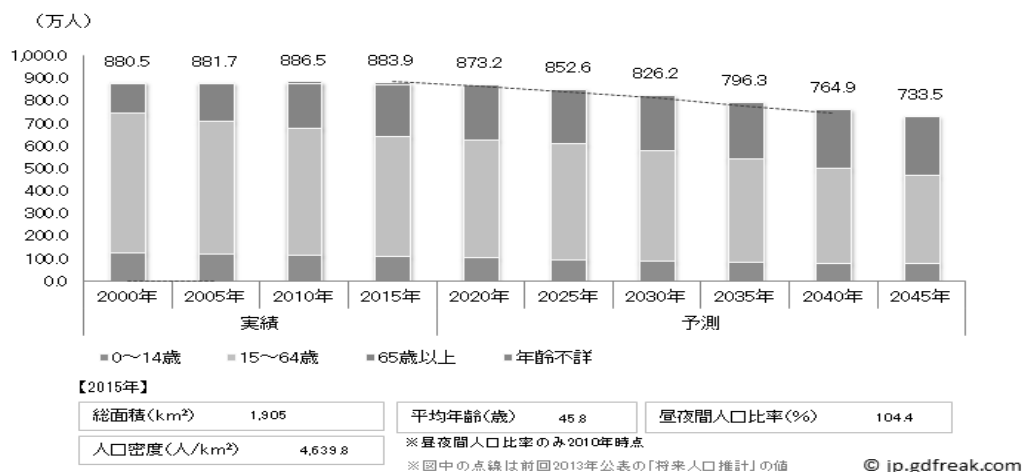
今後の大学進学者について、こうした全国的な状況を見無視することはできないが、一方で教員養成については、少数の学生に対して丁寧な指導を行いその充実をはかるチャンスでもある。国や地方自治体は、教育の充実のためにぜひ施策の改善をお願いしたい。

(2) 大阪府の動向

高野山大学教育学科が位置する大阪府等の状況についてはどうか。

以下は大阪府の人口推移を示したグラフである。2030年に826万人の人口が2040年には765万人ほどに減少している。

大阪府の人口推移



(図一6) 大阪府の人口推移

さらに、大阪府のデータに基づき、高野山大学教育学科への通学圏である大阪南部を抜き出して、5歳間隔の年代別に整理したものが次の表である。

(表一19) 大阪府年齢階層別・地域別人口 (H30)

大阪府統計年鑑(H30) 年齢階層別・地域別人口

市区町村名	総数	0～4歳	5～9	10～14	15～19	20～24
大阪府	8,856,444					
大阪市地域	2,702,432	104,660	100,922	98,781	111,592	149,434
中河内地域	829,699	30,043	33,156	35,969	42,434	44,256
南河内地域	611,969	21,062	24,286	26,962	32,698	32,541
泉北地域	1,177,251	47,106	53,280	56,588	61,325	59,770
泉南地域	572,445	21,546	24,947	28,016	32,212	31,541
合計	5,893,796	224,417	236,591	246,316	280,261	317,542

この表を基にして、今後の人口推移予測を作成したものが次の表である。現在の28万人が15年後には22万人に減少すると予測される。

(表一 20) 大阪南部地域別人口予測

	H30 (2018)	H35 (2023)	H40 (2028)	H45 (2033)
市区町村名				
大阪市地域	111592	98781	100922	104660
中河内地域	42434	35969	33156	30043
南河内地域	32698	26962	24286	21062
泉北地域	61325	56588	53280	47106
泉南地域	32212	28016	24947	21546
合計	280261	246316	236591	224417

これらのデータから、大学進学率 50%、教育学関連への進学率 7%がそのままだと仮定した場合、将来の進学者数は以下のように推測できる。

(表一 21) 大阪南部教育関連学科進学者予測

平成 45 年(2033 年)ころ 15-19 歳人口	224417 人
教育関係進学者予測数 = 人口 * 0.5 * 0.07 = 7854.6	約 7855 人
<hr/>	
平成 30 年(2018 年)ころ 15-19 歳人口	280261 人
教育関係進学者予測数 = 人口 * 0.5 * 0.07 = 9809.1	9809 人

要するに、現在の大阪南部での教育学科関連学科への進学希望者数が約 1 万人とすると、15 年後の 2033 年頃は約 7800 人に減少することを示唆しているわけである。現在の実際の受験者数は約 2 万人 (p.8 表一 8 「近畿教員養成系大学入試動向」) であるので、大阪南部の受験生人口からの機械的な割り出し数の 2 倍程度となっている。複数受験やその他の地域からの受験生等における積み上げで生ずるデータだと考えられる。したがって、2033 年頃でも実際には 1 万人を超える受験者がありうる。

大学の設置状況がそのままだと仮定した場合、関西の私立大学の教育学科関連の入学定員は 2700 人ほど (p.8 表一 8 「近畿教員養成系大学入試動向」参照) であるので、7800 人なら、2.9 倍程度の受験生が存在することになる。上述のように、実際は複数受験するので、それを上回る可能性は高い。

もちろん今後の動向がどのようになるのか予測することはできないが、たとえ時代の変化があっても、教員養成の重要性が高まることはあっても減ることはないと考えられるので、定員の確保は可能であるといつてよいと思われる。教員養成の重要性については、II 「人材需要の動向等社会の要請」の章で記述したので参照されたい。

2. 学生納付金の設定の考え方

学生納付金は、本学の財政状況、収支予想や、他大学の学生納付金との比較・検討のうえで設定した。教育学部設置予定の大阪府河内長野市の近隣には、教員養成における有力大学がいくつか存在する。それらの大学の納付金は以下の通りである。

四天王寺大学	148.5	(授業料 83.7	教育充実費 32	入学金 30、その他 2.8)
大阪大谷大学	130.4	(授業料 88	教育充実費 21	入学金 20 その他 1.4)
桃山学院教育大学	138	(授業料 90	教育充実費 25	入学金 23)
畿央大学	138	(授業料 86	教育充実費 34	入学金 15 その他 3)
平均値	138.7	(授業料 86.9	教育充実費 28	入学金 22)

(平成 30 年度、単位：万円)

高野山大学 138 (授業料 88 教育充実費 30 入学金 20)

本学では、この平均値を参考にして、授業料 88 万円、入学金 20 万円、教育充実費 30 万円としている。上記大学は、いずれも入学定員 200 人前後（平均 210 人）であり、経営上十分な納付金となっていると思われる。本学は、入学定員 50 人という小規模大学であり、経営上のコストパフォーマンスは良くないが、後発大学であり納付金が高いと入学者確保に困難が生ずる可能性が否定できないため、平均的な額の設定を行った。ただし、多くの地域団体などと連携して行う多様な体験学習など、教育活動にかかる経費が大きいこと等を鑑み、教育充実費については平均値よりも高めに設定している。

この納付金による収入は、初年度 6900 万円、4 年間で 2 億 4 千 600 万円ほどであり、私学助成金等の補助金を見込めば黒字経営が可能となっている。

3. 学生確保に向けた具体的な取組状況

1) 既存学部・学科・専攻における取り組み

本学の既存学部・学科では、以下の取り組みを実施することで、学生の確保を図っている。教育学科についても、設置認可申請の進捗に応じて、同様な取り組みを実施し、学生確保につなげていく。

① 学生確保に向けた積極的な情報発信

- ・高校生対象の進学情報誌・WEB 情報媒体への本学情報掲載と学生募集告知。
- ・本学ホームページにおける学部・学科情報の紹介、オープンキャンパスの告知、入試情報等の掲載。
- ・大学案内を作成し、本学への資料請求者及び全国の高等学校・予備校へ一斉発送（平成31年度は5月に大学案内作成後、一斉発送）。
- ・本学への資料請求者等に対するオープンキャンパスの案内や入試情報の提供を目的としたダイレクトメールを発送。
- ・SNS（ソーシャルネットワーキングサービス）として、インスタグラム、Facebook、LINE、Twitter を積極的に活用し、能動的な情報発信を展開。特にインスタグラムの発信は評判を呼んでおり、NHKの番組「あさいち」でも取り上げられた（H31.2.21）。

② 高校生への直接アプローチ

- ・年間を通じてオープンキャンパスを開催（平成31年度は5回実施）し、各学部・学科の特長や学びの内容を公開することで募集活動を実施。
- ・広報支援企業主催の進学相談会や高等学校内ガイダンスへ参加し、高校生へダイレクトに本学の特長や学びの内容を公開。
- ・高等学校からの要請で本学教員による出張講義等を実施し、本学の学びや特長を高校生に直に伝えることで募集活動を支援。

③ 保護者への直接アプローチ

- ・オープンキャンパスにおいて、保護者を対象とする説明会を実施し、保護者にとって有用な情報（学費・就職等）を直接提供。
- ・広報支援企業主催の進学相談会において、保護者にとって有用な情報（学費・就職等）を直接提供。

④ 高等学校への直接アプローチ

- ・本学教職員による高等学校への訪問活動を実施し、学部・学科の特長や最新の入試情報を提供。
- ・大学見学会・模擬授業・特別講義の実施等、高等学校からの要請について積極的に対応。

⑤ 遠隔地からの志願者確保

2) 教育学科における取り組み

上述の広報活動に加えて、教育学科においても、以下のような学生確保に向けた施策を着実に実行し、学生を確保する。

- ・平成30年12月より、教育学科の設置を構想中である旨を、高校生対象進学情報誌を通じて告知した。
 - ・令和1年12月より、教育学科設置構想中である旨を、本学ホームページ・高校生対象進学情報誌を通じて告知した。
 - ・本学資料請求者へ、教育学科設置構想・申請中のダイレクトメール発送を予定。
 - ・高等学校教員対象「大学説明会（本学主催）」で、文学部教育学科の概要について説明予定。
 - ・教育学科設置に向けた申請及び認可後、各段階に応じた制作物（リーフレット等）を作成し、資料請求者、各高等学校に発送予定。
 - ・教育学科の申請状況に応じて新聞掲載を予定。
-
- ・設置申請後、教育学科設置記念シンポジウムの開催を計画
 - ・教育学科の設置認可後は、資料請求者及び各高等学校に速やかに認可告知するとともに、入学試験に係る情報を提供し、受験生確保に尽力。
 - ・大学説明会や出前授業等により、連携学園の高等学校に対する説明を強化し、教育系大学希望者の本学志願を推進。

II. 人材需要の動向等社会の要請

1. 教員養成の重要性

1) 中教審の提言

少子化のあおりを受け、教員養成系学部・学科への進学者減少が語られるが、教員養成は国家の基盤であり、どのような社会変動があっても必要な分野である。したがって、一定数の教員確保は国家的課題である。

中央教育審議会は、平成27年度に「教職員定数に係る緊急提言」を行った。厳しい財政状況を反映して叫ばれる教職員定数削減に対し、その不当性を以下のように訴えている。

“国の方針としても、経済成長の源泉は「人」であり、教育を通じた人材育成は、極めて重要な先行投資であると位置づけられているように、教育は、「国家百年の計」であって、長期的な視点に立った制度設計が必要であり、その最も重要な基盤である教育投資を怠れば、国家の未来に禍根を残すことになる”

緊急提言

「教職員定数の機械的な削減ではなく、多様な教育課題や地域のニーズに応じた確固たる教育活動を行うために必要な教職員定数を戦略的に充実・確保すべきである。」

(文部科学省、H27年10月28日)

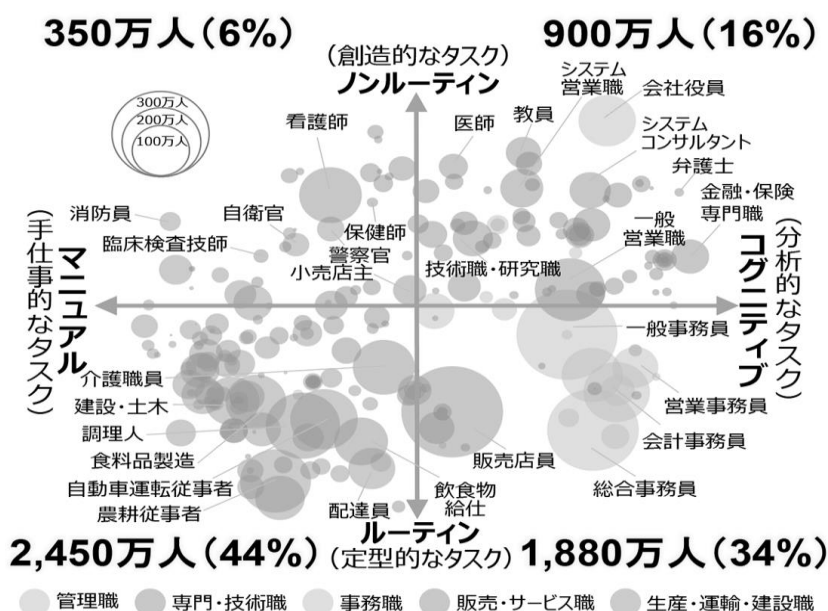
提言の文書では同時に、日本の教員の労働実態の過酷さや、地域との連携による学校づくりの重要性などにも触れて、“加配定数を含む教職員定数の充実”や、教職員の授業力の向上をはかれるような“指導体制の充実・確保”などについて“文部科学省として全力で取り組む必要がある”と指摘されている。

提言で言われるように、教員養成は、まさに国家の要となる事業であり、今後とも充実していくべき分野である。同時に、真に教育現場で活躍できる資質能力を備えた教員をどのように養成していくのかという教員養成の本格的なカリキュラムが必要である。これに関する本学教育学科の構想については設置趣旨の中で詳述している。

2) 未来社会における教育の意義

A I が大きな役割を果たすことになる社会がすぐそこに近づいている。今後 10 年から 20 年の間に、様々な職業が A I 等に代替されていくと予想されている。

たとえば、三菱総合研究所による分析では、2030 年に向けて、分析的で創造的なタスクは残るが、定型的で手仕事のタスクは、A I やロボットに担われるようになると予測されている。下図の右上（第 1 象限）が、人間の役割が重要である分野であり、左下や右下は A I やロボットに最も浸食される可能性のある分野だとされている。管理職や専門・技術職は生き残りうる分野であり、教員はそういう分野の典型の一つとされている。



出所：O*NET、国勢調査などより三菱総合研究所推計

(図一七) A I 等の進出と職業

同様に、野村総研のニュースリリース（2015.12.2）でも 2030 年を見据えての労働人口の変化予測が報告されており、日本の労働人口の 49%が人工知能やロボット等で代替可能になると予測されている。上図と同じく、「創造性、協調性が必要な業務や、非定形な業務は、将来においても人が担う」という研究結果である。

このニュースリリースには、参考として、「人口知能やロボット等による代替可能性」が「高い職業」と「低い職業」をそれぞれ 100 種示した表がつけられていて、保育士・幼稚園から大学にいたる教職関連の業務は、代替可能性が「低い」職業 100 種に入っている。

さらに興味深いのは、文部科学省高等教育局が、京都大学や日立製作所などと共同研究した、「AIを活用した、日本社会と高等教育に関するシミュレーション」(2019.1.24)である。

そこでは、将来起こりうるシナリオを8グループに整理したうえで、2050年の日本社会の状態が「持続可能性や、社会的パフォーマンスが高く、高等教育が充実している」シナリオグループの特徴や、そうした社会に進む際の分岐点等について指摘がなされている。

そうしたグループの特徴は、都市集中型ではなく、地方分散型で教育が充実している社会であり、「教育の質」や、「大学進学率」、「地方大学の振興」を重視していくことが、持続可能性や社会的パフォーマンスに寄与する度合いが高いと結論付けられている。高等教育はもちろんだが、初等・中等教育の質を高めることが、明らかに地域社会の向上に寄与し、ひいては日本社会の持続可能性の向上に寄与することが想起できる。

こうして、今日の現状や未来社会のありようから見ても、教育の重要性が高まることはあっても、下がることはないと言ってよいだろう。

2. 高野山大学文学部教育学科の人材育成目標

1) 教育現場で真に活躍できる教員の養成

高野山大学文学部教育学科では、教育現場で真に活躍できる教員の育成を第一目標としている。

計画中の教育学科カリキュラムでは、小学校現職教員に、教育現場で必要とされる資質・能力についてアンケートを行い、その分析に基づいて、従来の教員養成系大学とはまったく異なったカリキュラム設計を行った。

アンケートは、河内長野市教育委員会の協力のもとに市内小学校教員計183名から回答をいただいた。アンケート内容は、教育現場に必要な教員の資質・能力について、選択肢を示し、三つまであげてもらった。同時に、教育現場での悩みについても選択肢から三つまで選択してもらい、必要性和重ねて分析の資料とした(詳しくは、「設置趣旨等を記した文書」の添付資料2 教育学科設置準備室「教員の資質・能力に関するアンケート結果」参照)。

アンケート結果については、「教育課程編成の考え方および特色」で述べているが、「児童の言葉をよく聴き、児童に寄り添う」ことが重要だという答えが圧倒的に多い(78.1%)。教育活動上の悩みについての質問でも、「授業づくり」(63.9%)に次いで「児童理解」は57.4%

と高い。また 56.3%の教師が「教科をしっかりと教える力」を重要だと指摘し、悩みにおいては、「授業づくり」が 63.9%で第 1 位になっている。授業力の重視は当然の結果であろう。

この他、相手に分かりやすく伝える (44.3%)、学び続ける姿勢 (37.7%)、仲間と協力してものごとを進める (36.6%)、苦しくてもへこたれず最後までやり遂げる (20.8%) などが続く。教科を分かりやすく教える力は当然必要なものだが、それ以上に、人間力とでもいうべき能力が求められていることがわかる。

こうした能力は非認知的能力というべきものであるが、それは人間関係を通して形成されるものであり (たとえば、中室牧子『学力の経済学』ディスカバー21, 2016, p.87)、多様な経験や環境の産物でもある (ポール・タフ、『私たちは子どもに何ができるのか』英治出版、2017, p.27)とされている。また、こうした非認知的能力について、新しい学習指導要領では、「学びに向かう力」として重要な位置づけを行っている。

本学のカリキュラムでは、体験的活動をできるだけ沢山導入することで非認知的能力を高め現場力のある教師の育成を目指す。農業体験、森林体験、里山保全活動、地域活性化活動、馬術場体験、文化活動などを、プログラム化している(「設置趣旨等の書類」添付の資料3「連携協定締結先団体一覧、資料7「地域体験学習プログラム内容」参照)。

このような体験学習によって、まったく異なった人々や仕事との触れ合い、そこでのコミュニケーション力の育成や、共同して作り上げる体験、困難に打ち勝つ体験などを積み重ねていくことになろう。教育現場に必要な資質能力の「相手に寄り添うことができる力」や「困難にぶつかってもやり遂げられる力」、「仲間と協力してものごとを完成させる力」などが、こうして育まれていくはずである。

地域諸団体との連携による地域体験学習に加えて、学校現場での体験学習をプログラム化して1回生から実施する。このために河内長野市教育委員会との間でプロジェクトチームを作り、プログラム内容の検討を続けてきた。学校現場体験と地域体験を柱として、教育現場での実践力の育成を図っていくことを狙っている。

こうした体験学習に加えて、「教師力養成特講Ⅰ (HR マネジメント)」と「同Ⅱ (学校理解)」を設置した。「教師力養成特講Ⅰ (HR マネジメント)」では学級経営について学ぶが、河内長野市教育委員会から指導教員を派遣していただき、教員現場の実態に即した授業を展開する連携授業の一つである。

「教師力養成特講Ⅱ (学校理解)」では、問題を担任にまかせず教師集団全体で解決にとりくむ学校の在り方について、「みんなの学校」(大阪市立大空小学校)元校長の木村泰子氏に

講義していただく。大空小学校の取り組みを通して、学校の在り方が変わることで教師が成長し、不登校児や特別支援の生徒が成長できることを学ぶ。

(詳しくは設置趣旨「IV課程編成の考え方及び特色 3.カリキュラム編成方針」を参照)。

2) 地域社会のニーズに応えられる人材の育成

新しく教育学科を設置するにあたって、周辺地域の教育委員会に教育学科の構想について訪問説明したところ、すべての教育長が構想に理解を示していただき、体験を重視したプログラムについて特に大きな期待を寄せてくださった。その結果、ほぼすべて教育委員会が教育学科設置要望書を提出していただいた(資料2)。

教育学科設置要望書提出教育委員会

大阪府

- ① 堺市教育委員会
- ② 藤井寺市教育委員会
- ③ 松原市教育委員会
- ④ 富田林市教育委員会
- ⑤ 河内長野市教育委員会
- ⑥ 大阪狭山市教育委員会
- ⑦ 太子町教育委員会
- ⑧ 河南町教育委員会
- ⑨ 千早赤坂村教育委員会
- ⑩ 和泉市教育委員会

和歌山県

- ⑪ 橋本市教育委員会
- ⑫ かつらぎ町教育委員会

奈良県

- ⑬ 五條市教育委員会

なお、河内長野市教育委員会とは、連携協定を結ぶことができた。平成30年度は教育長不在であった為、協議を進めることができなかったが、令和1年より新しく教育長が着任さ

れて、連携協定を締結する合意ができた（添付資料7、「河内長野市教育委員会と高野山大学との連携協力に関する協定書」）。

また、周辺地域の様々な団体にも訪問し構想の説明をしたところ、大いに歓迎の意向を示していただき、高野山大学と連携協定を締結することができた。教育機関ばかりでなく、地域のまちづくり協議会やNPO団体など地域社会で活動する様々な団体と連携できたことは、教育学科の教育内容を豊かにできるだけでなく、地域の大きな期待を担って教育活動を展開できることになる。設置が認可されれば、こうした動きはさらに加速されると思われる。

連携協定締結団体

- ① 河内長野市小山田町小学校区まちづくり会
- ② 大阪府森林組合南河内支店
- ③ 大阪府立 花の文化園
- ④ 河内長野市公園緑化協会
- ⑤ NPO 法人 森林ボランティア トモロス
- ⑥ NPO 法人 里山ひだまりファーム
- ⑦ 富田林市南地区共同組合（農業公園サバーファーム）
- ⑧ 和泉体験農園
- ⑨ 乗馬クラブ クレイン

なお、以下の3団体とは、まだ協定書は交わしていないが連携協力が確認されている。

- ⑩ 河内長野市文化振興財団（※）
- ⑪ レザー工房・ギャラリー テハマナ
- ⑫ 小山田地区果樹園

（※）文化振興財団は、教育委員会傘下の団体であり、市教育委員会と連携協定を交わしたので、同財団との協定は不要である。

このように、教育委員会および地域諸団体ともに、高野山大学教育学科の新しいカリキュラムへの期待が大きく、地域のニーズは周辺の他大学以上に大きいと感じている。

3) スクールカウンセラー等の心理ケアについて

近年、学校現場では、不登校やいじめ、暴力行為など様々な問題が山積みしており、その対応に苦慮していることから、スクールカウンセラーの必要性が益々高まっている。高野山大学では文学部人間学科がスピリチュアルケアの学びを高野山大学難波サテライト（大阪市浪速区難波）において社会人に向けて行ってきたが、人間学科の改組に伴って、これを密教学科に移動し、社会人向けの講座は従来通り難波サテライトで実施する。

教育学科では、これらの科目を他学科履修して心理ケアについて深く学ぶことができるが、同時に、教育学科内に心理学関係科目を5科目設置して心理ケアへの理解を深めるように配慮した。

心理ケアの分野は、「チーム学校」の中でも重要な部分であると共に、学校現場のみならず、一般社会においても必要な分野である。本学教育学科でも人材養成の目的の一つとしている。

「学生確保の見通し等を記載した書類」の添付資料

目次

- 資料 1 「高野山大学教育学科設置についての要望書」（高野山真言宗 宗務支所からの設置要望書）
- 資料 2 「高野山大学教育学科の新設に関する要望書」（各地方自治体教育委員会からの要望書）
- 資料 3 「大阪南部および和歌山紀北高校生徒数」
3-1 「大阪南部 高校生徒数」
3-2 「和歌山市・紀北地域 高校生徒数」
- 資料 4 （2018年版）「高野山大学「教育学科」（仮称）設置に対するニーズ調査結果報告書」
4-1 「高校生対象調査」
4-2 「小学校校長対象調査」
4-3 「企業等対象調査」
4-4 「高野山大学教育学科 設置構想資料」
- 資料 5 （2019年版）「文学部教育学科に関するアンケート【高校生】調査結果報告書」
- 資料 6 「千代田学園第2期学園振興中期計画、2018.5、p.9」
- 資料 7 「河内長野市教育委員会と高野山大学との連携協力に関する協定書」

高野山大学教育学科設置についての要望書
(高野山真言宗宗務支所からの設置要望書)

高野山真言宗 宗務支所 23件

- ①高野山真言宗 富山宗務支所
- ②高野山真言宗 石川宗務支所
- ③高野山真言宗 能登宗務支所
- ④高野山真言宗 福井宗務支所
- ⑤高野山真言宗 京都宗務支所
- ⑥高野山真言宗 内吉野宗務支所
- ⑦高野山真言宗 和歌山宗務支所
- ⑧高野山真言宗 兵庫宗務支所
- ⑨高野山真言宗 淡路宗務支所
- ⑩高野山真言宗 播磨宗務支所
- ⑪高野山真言宗 但馬宗務支所
- ⑫高野山真言宗 島根宗務支所
- ⑬高野山真言宗 備中宗務支所
- ⑭高野山真言宗 山口宗務支所
- ⑮高野山真言宗 徳島宗務支所
- ⑯高野山真言宗 愛媛宗務支所
- ⑰高野山真言宗 高知宗務支所
- ⑱高野山真言宗 福岡宗務支所
- ⑲高野山真言宗 肥前宗務支所
- ⑳高野山真言宗 大分宗務支所
- ㉑高野山真言宗 熊本宗務支所
- ㉒高野山真言宗 宮崎宗務支所
- ㉓高野山真言宗 福島宗務支所

高野山大学教育学科の新設に関する要望書
(各地方自治体教育委員会からの要望書)

教育委員会 13件

- ① 堺市教育委員会
- ② 藤井寺市教育委員会
- ③ 松原市教育委員会
- ④ 富田林市教育委員会
- ⑤ 河内長野市教育委員会
- ⑥ 大阪狭山市教育委員会
- ⑦ 太子町教育委員会
- ⑧ 河南町教育委員会
- ⑨ 千早赤坂村教育委員会
- ⑩ 和泉市教育委員会
- ⑪ 橋本市および橋本市教育委員会
- ⑫ かつらぎ町教育委員会
- ⑬ 五條市および五條市教育委員会

大阪南部 高校生徒数（平成28年度）

市 町 村	総 数			1 学 年		
	計	男	女	計	男	女
平成 2 8 年	230,755	114,594	116,161	78,464	39,386	39,078
大 阪 市	79,636	39,291	40,345	27,268	13,488	13,780
堺 市	20,687	10,067	10,620	7,128	3,522	3,606
岸 和 田 市	4,534	2,275	2,259	1,506	766	740
泉 大 津 市	982	413	569	360	168	192
貝 塚 市	1,775	705	1,070	606	242	364
八 尾 市	4,251	2,054	2,197	1,389	647	742
泉 佐 野 市	2,614	1,418	1,196	883	502	381
富 田 林 市	3,998	1,937	2,061	1,298	636	662
河 内 長 野 市	3,489	1,513	1,976	1,183	515	668
松 原 市	4,682	2,515	2,167	1,642	909	733
大 東 市	6,186	2,981	3,205	1,994	954	1,040
和 泉 市	2,373	1,008	1,365	862	367	495
柏 原 市	2,540	1,685	855	918	604	314
羽 曳 野 市	969	508	461	304	156	148
高 石 市	3,191	1,518	1,673	1,127	540	587
藤 井 寺 市	2,251	1,311	940	757	455	302
東 大 阪 市	13,735	7,163	6,572	4,686	2,409	2,277
泉 南 市	699	248	451	240	88	152
交 野 市	2,090	995	1,095	675	325	350
大 阪 狭 山 市	955	512	443	320	165	155
阪 南 市	749	296	453	244	107	137
熊 取 町	767	542	225	255	182	73
岬 町	624	364	260	217	126	91
太 子 町	679	492	187	193	139	54
河 早 南 阪 町	-	-	-	-	-	-
千 早 赤 阪 村	-	-	-	-	-	-
			合計	56,055	28,012	28,043

和歌山市・紀北高校生徒数

U-07 高等学校

B. 市町村別高等学校数, 教職員数及び学年別生徒数－続き－(5月1日現在)

	本 科			本 科			本 科		
	1 学年	1 学年	計	2 学年		計	3 学年		計
	男	女		男	女		男	女	
	人	人	人	人	人	人	人		
和歌山市	2,071	2,157	4,228	2,069	2,099	4,168	1,985	2,056	4,041
橋本市	389	219	608	367	263	630	406	245	651
紀の川市	297	200	497	259	220	479	212	226	438
岩出市	131	190	321	146	173	319	133	185	318
			-			-			-
紀美野町	10	10	20	6	3	9	4	3	7
			-			-			-
かつらぎ町	160	166	326	127	174	301	136	156	292
九度山町	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高野町	45	7	52	45	6	51	38	4	42
			-			-			-
合計	3,103	2,949	6,052	3,019	2,938	5,957	2,914	2,875	5,789

資料：県調査統計課「学校基本調査の概要」

高野山大学
「教育学部 教育学科」(仮称)
設置に関するニーズ調査
結果報告書
【高校生対象調査】

平成31年2月
株式会社 進研アド

高校生対象 調査概要

1. 調査目的

2020年4月開設予定の高野山大学「教育学部 教育学科」新設構想に関して高校生からの進学ニーズを把握する。

2. 調査概要

		高校生対象調査
調査対象		高校2年生
調査エリア		京都府、大阪府、奈良県、和歌山県
調査方法		高校留置き調査
調査対象数	依頼数 (依頼校)	3,606人(32校)
	有効回収数 (回収校)	2,001人(25校) 回収率:55.5%
調査時期		2018年11月20日(火)～2018年12月21日(金)
調査実施機関		株式会社 進研アド

3. 調査項目

高校生対象調査
<ul style="list-style-type: none">・性別・高校種別・高校所在地・所属クラス・高校卒業後の希望進路・興味のある学問系統・高野山大学「教育学部 教育学科」の特色に対する魅力度・高野山大学「教育学部 教育学科」への受験意向・高野山大学「教育学部 教育学科」への入学意向

※調査実施時点では、「文学部 教育学科」として設置することを検討していたため、調査票上は「文学部 教育学科」と記載して調査を行っているが、本報告書内では、最終的に決定した名称である「教育学部 教育学科」と表記している。

なお、調査対象者に対しては、学部学科名称には(仮称)と表記し、名称や内容は構想中のものであり、変更の可能性があることを明記した上で調査を行っており、また、名称の変更も「文学部 教育学科」から「教育学部 教育学科」と、学部学科名から想起される学問内容や職業イメージが大幅に変動するものではないことから、「教育学部 教育学科」の調査結果としての読み替えは可能と考える。

高校生対象 調査結果まとめ



高校生対象 調査結果まとめ

回答者の属性

※本調査は、高野山大学「教育学部 教育学科」に対する需要を確認するための調査として設計し、高野山大学の主な学生募集エリアである京都府、大阪府、奈良県、和歌山県に所在する高校の高校2年生に調査を実施し、2,001人から回答を得た。

- 回答者の性別は「男性」が44.0%、「女性」が55.4%。
- 回答者の在籍高校種別は「公立」が57.4%、「私立」が42.6%である。
- 回答者の在籍高校所在地は、高野山大学「教育学部 教育学科」の設置予定地である「大阪府」が52.6%を占め、最も多い。次に高野山大学本部の所在地である「和歌山県」が37.7%と続く。
- 回答者の所属クラスは「文系クラス(文系コース)」が29.5%、「理系クラス(理系コース)」が7.7%。

高校卒業後の希望進路や興味のある学問系統

- 回答者の高校卒業後の希望進路を複数回答で聴取したところ、「専門学校・専修学校に進学」が33.4%で最も高い。次に「私立大学に進学」が32.3%、「国公立大学に進学」「就職」が24.4%と続く。私立大学への進学志望者も多いことから、高野山大学がターゲットとする対象に調査を実施できていると考えられる。
- 回答者の興味のある学問系統を複数回答で聴取したところ、「経済・経営・商学」が15.0%で最も高い。次に「心理学」が12.6%、「保育学・幼児教育学」が12.1%と続く。
高野山大学「教育学部 教育学科」の学びと関連する「教員養成・教育学」に興味のある人は10.3%。

高校生対象 調査結果まとめ

高野山大学「教育学部 教育学科」の特色に対する魅力度

- 高野山大学「教育学部 教育学科」の特色に対する魅力度(※)は、すべての項目において5割を超える。
- 最も魅力度が高いのは、「B. 1年次から教育現場に触れ、教育実習を繰り返し行うことで、大学で学ぶ教育理論と、実際の教育現場での課題の両方を理解でき、高い教育実践力を身につけられます。」(63.8%)であり、「とても魅力を感じる」と回答した人の割合も20.2%で最も高い。

次に魅力度が高いのは、「D. 小学校教諭だけでなく、幼稚園教諭や社会福祉主事(任用)、博物館学芸員などの資格取得も可能です。」(61.5%)、さらに「E. 「心の教育」を充実させ、クラス運営や心理ケアに関する基礎的な理解を得られるようカリキュラムを設定しています。」(60.9%)と続く。

※魅力度＝「とても魅力を感じる」「ある程度魅力を感じる」と回答した人の合計値

高野山大学「教育学部 教育学科」への受験意向・入学意向

- 高野山大学「教育学部 教育学科」を「受験したいと思う」と答えた人は、8.5% (171人)である。
- 高野山大学「教育学部 教育学科」を「受験したいと思う」と答えた171人のうち、高野山大学「教育学部 教育学科」に「入学したいと思う」と回答した人は、84.8% (145人)である。

高校生対象 調査結果まとめ

高野山大学「教育学部 教育学科」への入学意向者数

※ここからは、高野山大学「教育学部 教育学科」に対して、Q4で「受験したいと思う」と回答し、かつ、Q5で「入学したいと思う」と回答した人を入学意向者と定義し、分析を行う。

- 回答者全体における入学意向は、7.2% (145人)。予定している入学定員数50名を2倍以上上回っている。

<属性別>

◇性別

- 「男性」の入学意向は7.7% (880人中、68人)、「女性」の入学意向は6.9% (1,109人中、76人)と、男女ともに予定している入学定員数を上回る入学意向者がみられた。

◇高校所在地別

- 高野山大学「教育学部 教育学科」の設置予定地である「大阪府」の高校在籍者からの入学意向は7.9% (1,052人中、83人)と、予定している入学定員数を上回る入学意向者がみられた。

◇高校卒業後の希望進路別

- 「四年制大学に進学」を考えている回答者の入学意向は9.7% (947人中、92人)。
そのうち、高野山大学を受験・入学する可能性が高い「私立大学に進学」を考えている回答者に限定した場合でも、入学意向は10.0% (647人中、65人)と、予定している入学定員数を上回る入学意向者がみられた。

高校生対象 調査結果まとめ

◇興味のある学問系統別

- 高野山大学「教育学部 教育学科」の学問内容と関連する「教員養成・教育学」に興味がある回答者からの入学意向は22.7% (207人中、**47人**)。
また、「保育学・幼児教育学」に興味がある回答者からの入学意向は16.5% (243人中、**40人**)みられ、両者を合わせた「教員養成・教育学、保育学・幼児教育学」に興味がある回答者からの入学意向は18.0% (394人中、**71人**)と、予定している入学定員数を上回る入学意向者がみられた。
- その他、「社会福祉学」に興味がある回答者からの入学意向も16.8% (101人中、**17人**)みられる。

◇高野山大学「教育学部 教育学科」の特色に対する魅力度別

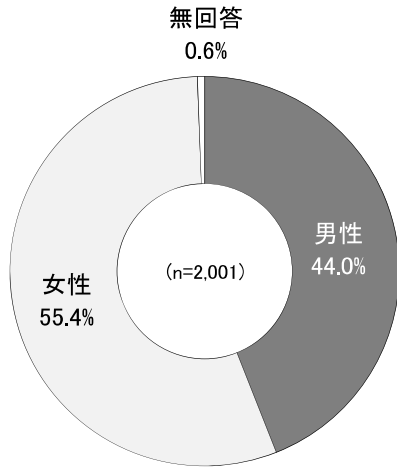
- 高野山大学「教育学部 教育学科」の特色に魅力を感じている回答者の入学意向は、いずれの特色でも10%程度みられ、高野山大学「教育学部 教育学科」の特色に魅力を感じた人からの入学意向が高い傾向がうかがえる。

高校生対象 調査結果

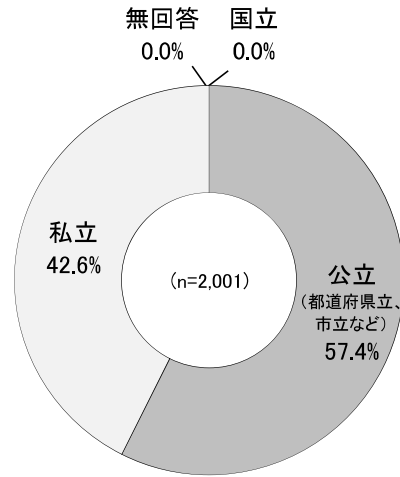


回答者の属性(性別/高校種別/高校所在地/所属クラス)

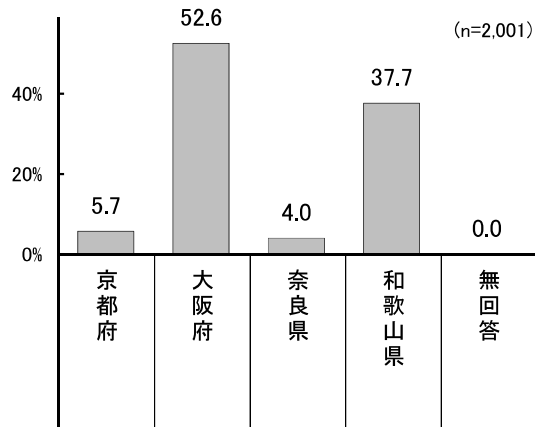
■性別



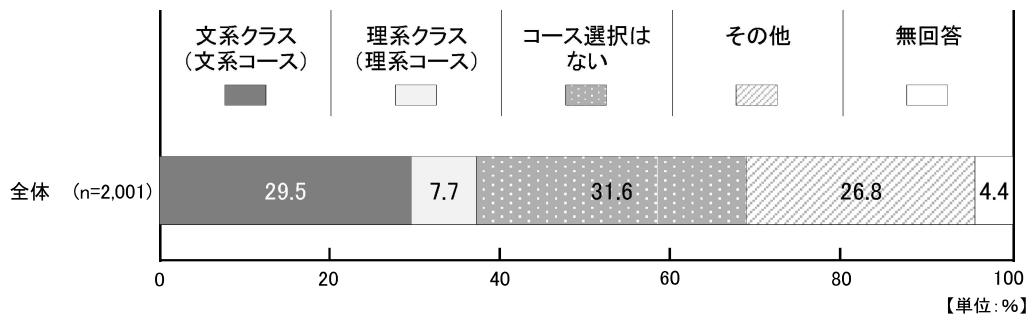
■高校種別



■高校所在地



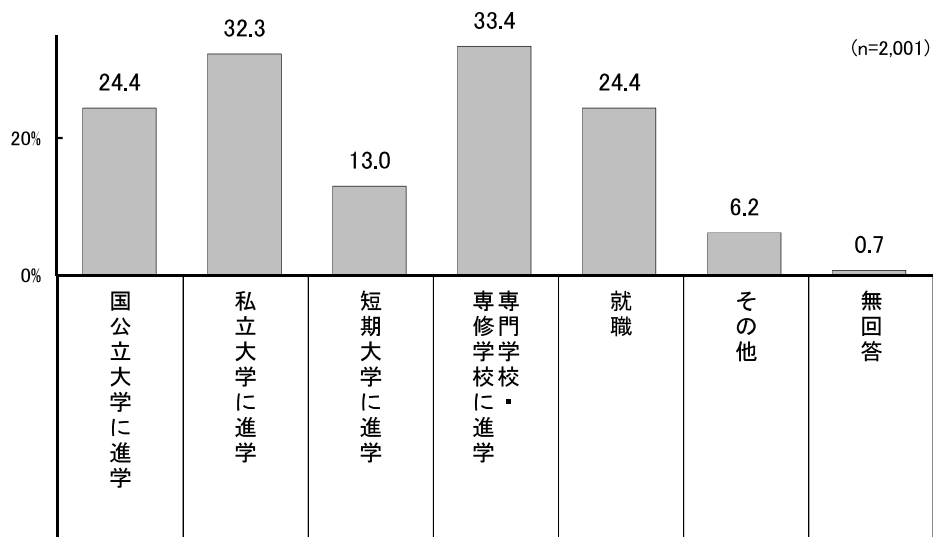
■所属クラス



高校卒業後の希望進路／興味のある学問系統

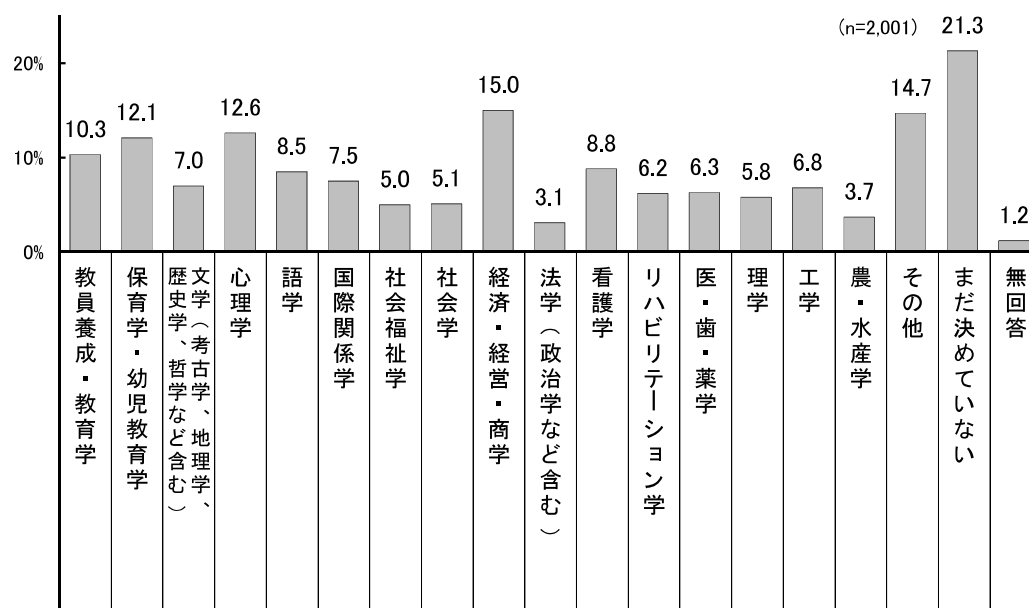
■高校卒業後の希望進路

Q1. あなたは、高校卒業後の進路について、現時点ではどのように考えていますか。
以下の項目から、あてはまる番号すべてにQをつけてください。(いくつでも)



■興味のある学問系統

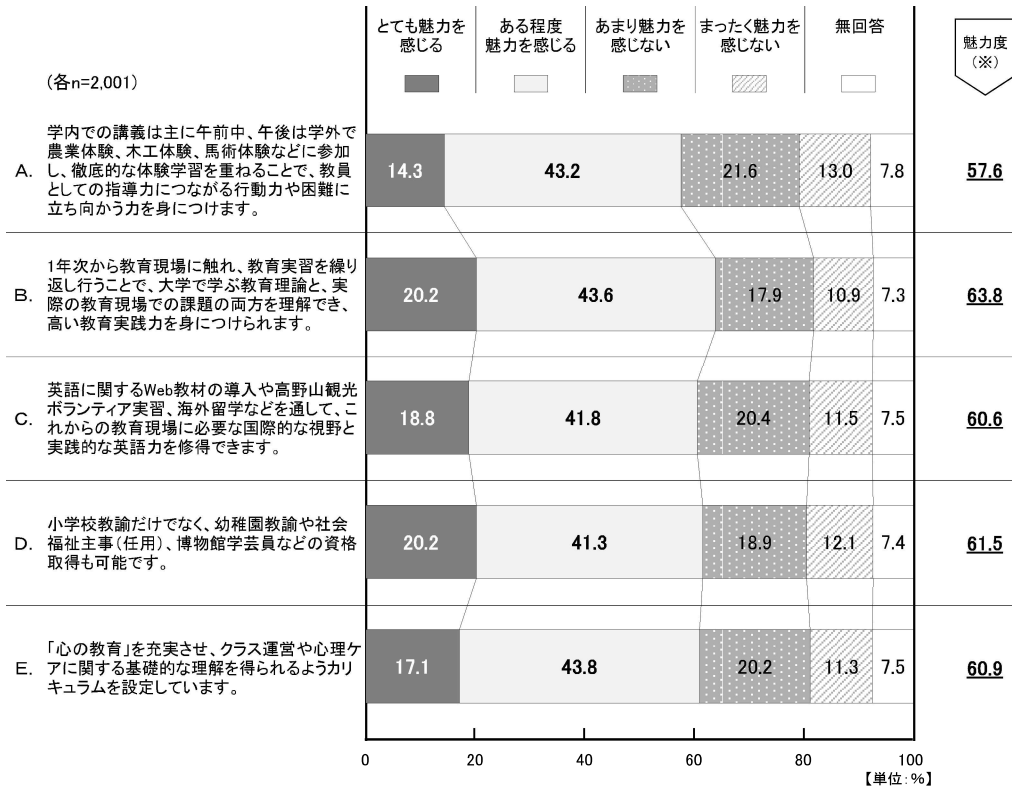
Q2. あなたは、どのような学問に興味がありますか。
以下の項目から、興味のある学問系統の番号すべてにQをつけてください。(いくつでも)
(現時点で進学を希望されていない方も、進学する場合を想像してお答えください。)



高野山大学「教育学部 教育学科」の特色に対する魅力度

■高野山大学「教育学部 教育学科」の特色に対する魅力度

Q3. 高野山大学「文学部 教育学科」(仮称、設置構想中)には、以下のような特色があります。
それぞれの特色について、あなたはどの程度魅力を感じますか。(それぞれ、あてはまる番号1つに○)



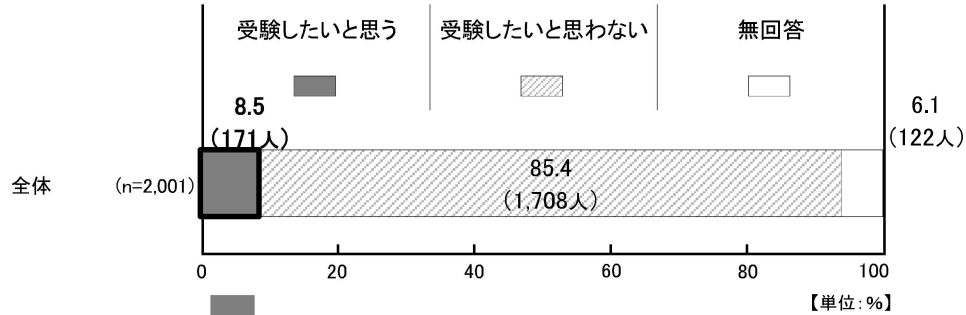
※魅力度=「とても魅力を感じる」「ある程度魅力を感じる」と回答した人の合計値

※魅力度は、人数をもとに%を算出し、小数点第二位を四捨五入しているため、「とても魅力を感じる」と「ある程度魅力を感じる」の合計値と必ずしも一致しない

高野山大学「教育学部 教育学科」への 受験意向・入学意向

■高野山大学「教育学部 教育学科」への受験意向

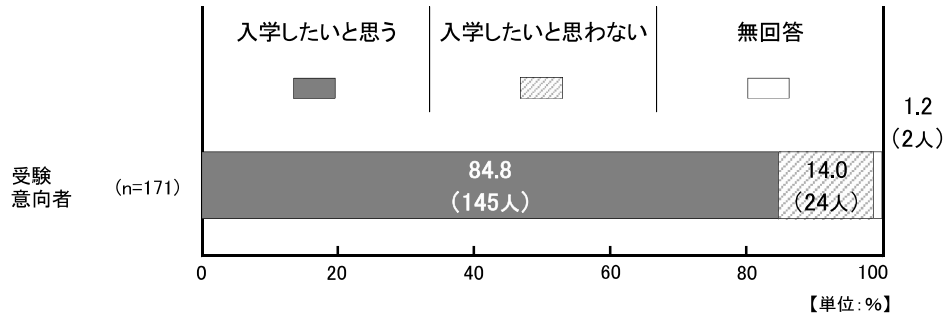
Q4. あなたは、高野山大学「文学部 教育学科」(仮称、設置構想中)を受験してみたいと思いますか。
あなたの気持ちに近い方の番号1つに○をつけてください。(1つだけ)



↓ 「受験したいと思う」と答えた171人のみ抽出

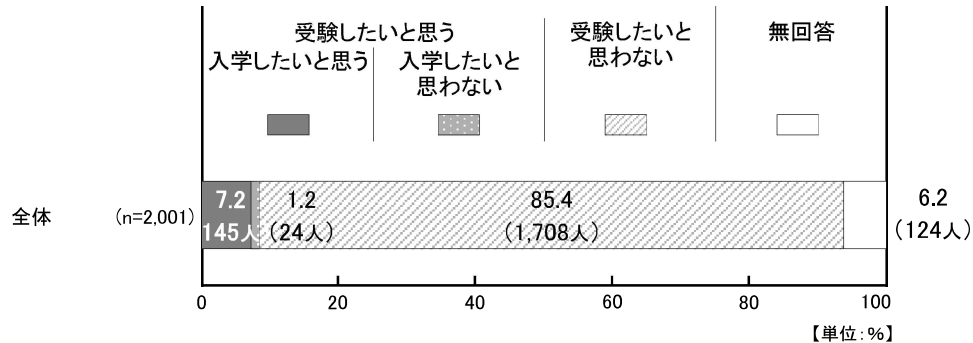
■高野山大学「教育学部 教育学科」への入学意向

Q5. あなたは、高野山大学「文学部 教育学科」(仮称、設置構想中)に合格したら、入学したいと思いますか。
あなたの気持ちに近い方の番号1つに○をつけてください。(1つだけ)



↓ 「受験意向(Q4)」と「入学意向(Q5)」を
かけあわせて集計(母数は全回答者)

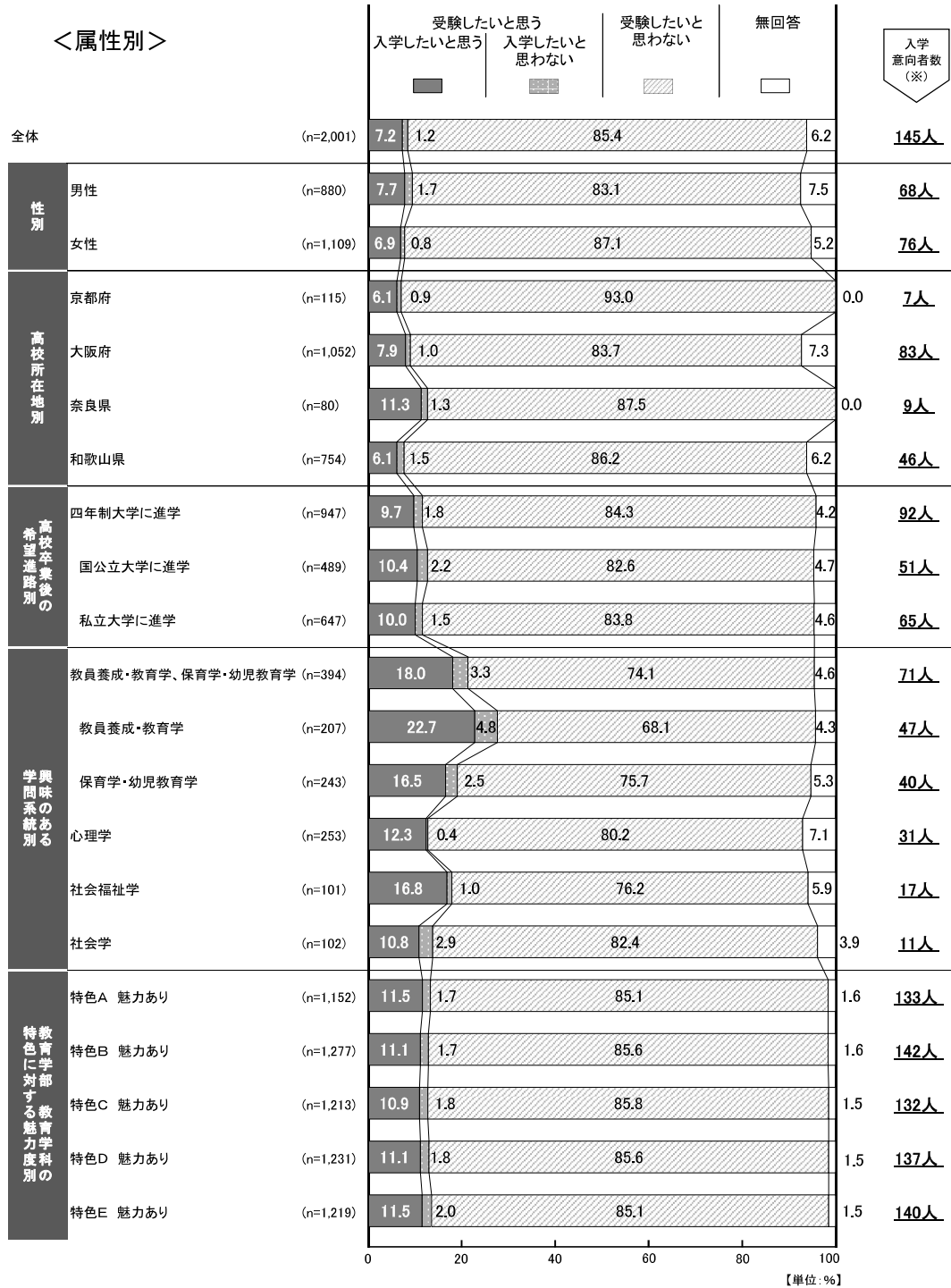
■高野山大学「教育学部 教育学科」への受験意向別入学意向



高野山大学「教育学部 教育学科」への入学意向者数 ＜属性別＞

■高野山大学「教育学部 教育学科」への入学意向者数＜属性別＞

※高野山大学「教育学部 教育学科」に対して、「受験したいと思う」かつ「入学したいと思う」と回答した人を入学意向者と定義する。



※入学意向者数＝「受験したいと思う」かつ「入学したいと思う」と回答した人の人数

卷末資料

• 調査票

調査票

◆高野山大学「文学部 教育学科」(仮称、設置構想中)についてお聞きします。

高野山大学では、現在高校2年生のみなさんが大学生となる2020年4月に、新しく「文学部 教育学科」(仮称)を設置することを構想しています。

※ ここからは、アンケートに同封している資料を見てからお答えください ※

Q3 高野山大学「文学部 教育学科」(仮称、設置構想中)には、以下のような特色があります。それぞれの特色について、あなたはどの程度魅力を感じますか。(それぞれ、あてはまる番号1つに○)

		とても魅力を感じる	ある程度魅力を感じる	あまり魅力を感じない	まったく魅力を感じない
例. ○○である。	→	①	②	③	④
A. 学内での講義は主に午前中、午後は学外で農業体験、木工体験、馬術体験などに参加し、徹底的な体験学習を重ねることで、教員としての指導力につながる行動力や困難に立ち向かう力を身につけます。	→	①	②	③	④
B. 1年次から教育現場に触れ、教育実習を繰り返し行うことで、大学で学ぶ教育理論と、実際の教育現場での課題の両方を理解でき、高い教育実践力を身につけられます。	→	①	②	③	④
C. 英語に関するWeb教材の導入や高野山観光ボランティア実習、海外留学などを通して、これからの教育現場に必要な国際的な視野と実践的な英語力を修得できます。	→	①	②	③	④
D. 小学校教諭だけでなく、幼稚園教諭や社会福祉主事(任用)、博物館学芸員などの資格取得も可能です。	→	①	②	③	④
E. 「心の教育」を充実させ、クラス運営や心理ケアに関する基礎的な理解を得られるようカリキュラムを設定しています。	→	①	②	③	④

Q4 あなたは、高野山大学「文学部 教育学科」(仮称、設置構想中)を受験してみたいと思いますか。あなたの気持ちに近い方の番号1つに○をつけてください。(1つだけ)

- ① 受験したいと思う ② 受験したいと思わない

Q5 あなたは、高野山大学「文学部 教育学科」(仮称、設置構想中)に合格したら、入学したいと思いますか。あなたの気持ちに近い方の番号1つに○をつけてください。(1つだけ)

- ① 入学したいと思う ② 入学したいと思わない

*** 質問は以上です。ご協力ありがとうございました。***

高野山大学
「教育学部 教育学科」(仮称)
設置に関するニーズ調査
結果報告書
【小学校校長等対象調査】

平成31年2月
株式会社 進研アド

小学校校長等対象 調査概要

1. 調査目的

2020年4月開設予定の高野山大学「教育学部 教育学科」新設構想に関して、小学校校長等、学校関係者からのニーズを把握する。

2. 調査概要

		小学校校長対象調査
調査対象		小学校校長等、学校関係者
調査エリア		大阪府、奈良県、和歌山県
調査方法		郵送調査
調査対象数	依頼数	135件
	回収数(回収率)	107件(79.3%)
調査時期		2018年11月26日(月)～2018年12月21日(金)
調査実施機関		株式会社 進研アド

3. 調査項目

小学校校長等対象調査
<ul style="list-style-type: none">・学校所在地・職名・高野山大学「教育学部 教育学科」の特色に対する魅力度・高野山大学「教育学部 教育学科」卒業生の教育現場活躍度・高野山大学「教育学部 教育学科」の社会的必要性・高野山大学「教育学部 教育学科」卒業生に対する勤務意向

※調査実施時点では、「文学部 教育学科」として設置することを検討していたため、調査票上は「文学部 教育学科」と記載して調査を行っているが、本報告書内では、最終的に決定した名称である「教育学部 教育学科」と表記している。

なお、調査対象者に対しては、学部学科名称には(仮称)と表記し、名称や内容は構想中のものであり、変更の可能性があることを明記した上で調査を行っており、また、名称の変更も「文学部 教育学科」から「教育学部 教育学科」と、学部学科名から想起される学問内容や職業イメージが大幅に変動するものではないことから、「教育学部 教育学科」の調査結果としての読み替えは可能と考える。

小学校校長等対象 調査結果まとめ



小学校校長等対象 調査結果まとめ

回答者の属性

※本調査は、高野山大学「教育学部 教育学科」に対する人材需要を確認するための調査として設計し、高野山大学の卒業生就職先として想定される小学校の校長等を対象に調査を実施し、107人から回答を得た。

- 回答者の学校所在地（都道府県）は、高野山大学「教育学部 教育学科」の設置予定地である「大阪府」が68.2%で最も多い。次いで高野山大学本部の所在地である「和歌山県」が19.6%、「奈良県」が12.1%。
- 回答者の職名は「校長」が66.4%で最も多い。次いで「教頭」が25.2%。

高野山大学「教育学部 教育学科」の特色に対する魅力度

- 高野山大学「教育学部 教育学科」の特色に対する魅力度(※)は、すべての項目で8割を超える。
- 最も魅力度が高いのは、「E. 「心の教育」を充実させ、クラス運営や心理ケアに関する基礎的な理解を得られるようカリキュラムを設定しています。」(94.4%)である。

次に魅力度が高いのは、「C. 英語に関するWeb教材の導入や高野山観光ボランティア実習、海外留学などを通して、現代社会に必要な国際的な視野と実践的な英語力を習得できます。」(91.6%)、次いで「A. 学内での講義は主に午前中、午後は学外で農業体験、木工体験、馬術体験などに参加し、徹底的な体験学習を重ねることで、行動力や困難に立ち向かう力、仲間と協力してものごとをやり遂げる力などを身につけます。」(90.7%)と続く。

- 「とても魅力を感じる」の割合でみると、「B. 1年次から教育現場に触れ、教育実習を繰り返し行うことで、大学で学ぶ教育理論と、実際の教育現場での課題の両方を理解でき、高い教育実践力を身につけられます。」が50.5%で最も高い。

※魅力度＝「とても魅力を感じる」「ある程度魅力を感じる」と回答した学校の合計値

小学校校長等対象 調査結果まとめ

高野山大学「教育学部 教育学科」卒業生の 教育現場活躍度／社会的必要性

- 高野山大学「教育学部 教育学科」卒業生が、実際の教育現場で「活躍できると思う」と答えた回答者は、96.3% (103人)。多くの回答者から、高野山大学「教育学部 教育学科」の教育によって、教育現場で活躍できる人材が育成できると期待されていることがうかがえる。
- 高野山大学「教育学部 教育学科」の社会的必要性についての評価は、93.5% (100人)が「必要だと思う」と回答しており、多くの回答者からこれからの社会にとって必要な学部・学科であると評価されていることがうかがえる。

高野山大学「教育学部 教育学科」卒業生に対する勤務意向

- 高野山大学「教育学部 教育学科」卒業生に対して、自校で「勤務してほしいと思う」と答えた回答者は、91.6% (98人)で、予定している入学定員数50名を上回っている。

<属性別>

◇学校所在地(県)別

- 高野山大学「教育学部 教育学科」の設置予定地である「大阪府」が勤務地の回答者からの勤務意向は、91.8% (73人中、67人)と、予定している入学定員数を上回っている。

また、高野山大学本部の所在地である「和歌山県」が勤務地の回答者からの勤務意向は、100.0% (21人中、21人)である。

◇職名別

- 「校長」からの勤務意向は、90.1% (71人中、64人)、「教頭」からの勤務意向は、92.6% (27人中、25人)である。

小学校校長等対象 調査結果まとめ

◇高野山大学「教育学部 教育学科」の特色に対する魅力度別

- 高野山大学「教育学部 教育学科」の特色に魅力を感じている人の勤務意向は、いずれの特色でも9割を超えている。

◇卒業生の活躍度別

- 高野山大学「教育学部 教育学科」卒業生が、実際の教育現場で「活躍できると思う」と回答した人からの勤務意向は、94.2% (103人中、**97人**)と、予定している入学定員数を上回っている。

◇社会的必要性別

- 高野山大学「教育学部 教育学科」が社会的に「必要だと思う」と回答した人からの勤務意向は、97.0% (100人中、**97人**)と、予定している入学定員数を上回っている。

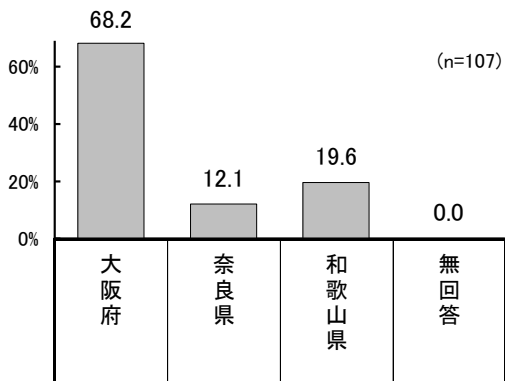
小学校校長等対象 調査結果



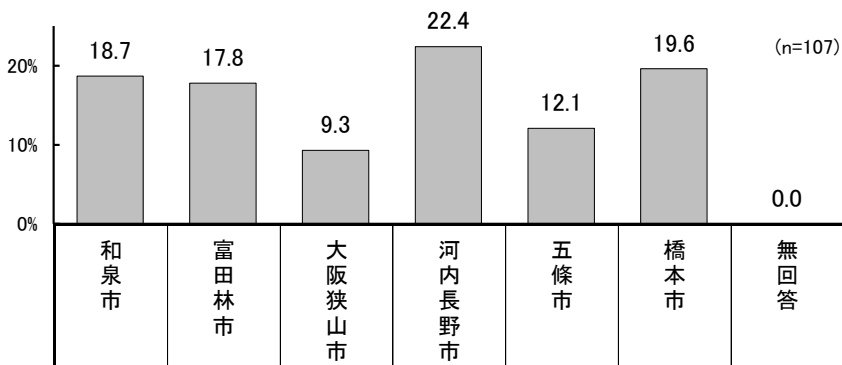
回答者の属性

(学校所在地(都道府県)／学校所在地(市町村)／職名)

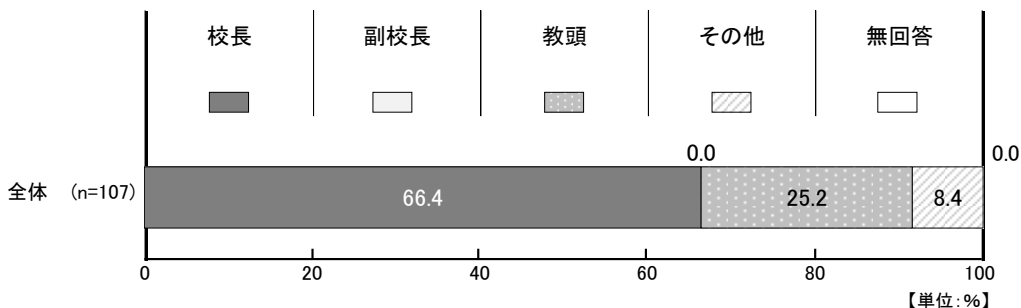
■学校所在地(都道府県)



■学校所在地(市町村)



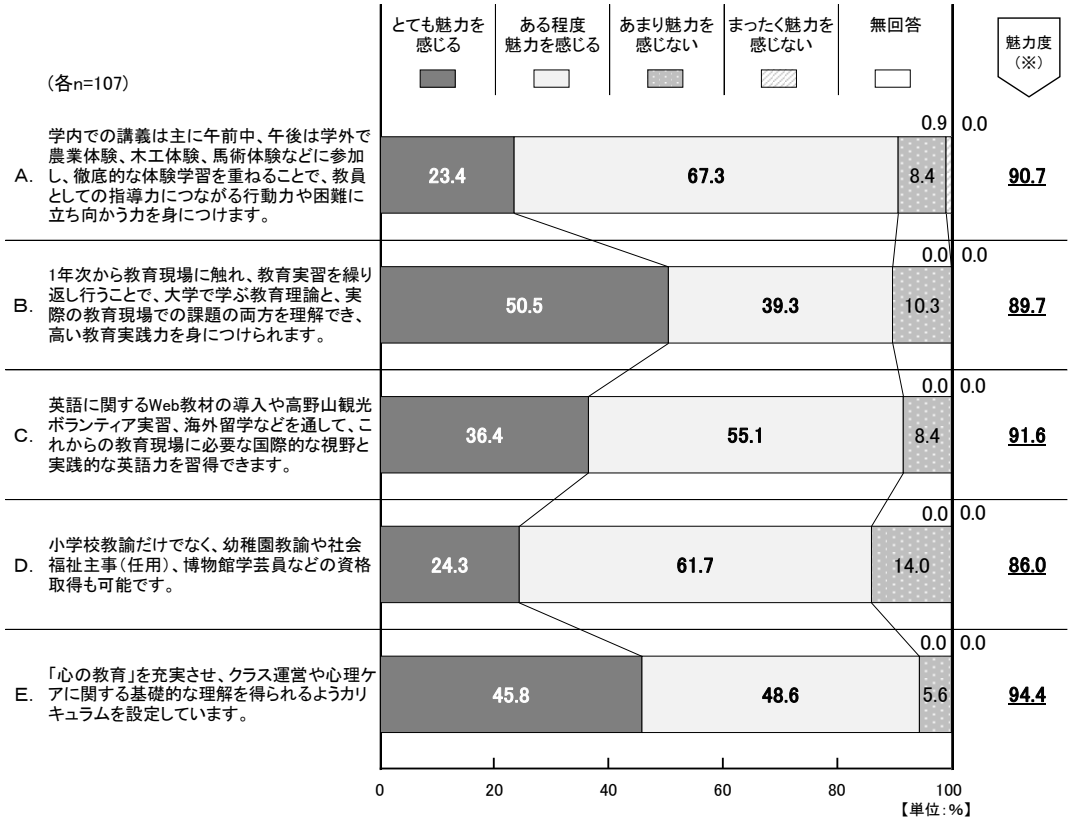
■職名



高野山大学「教育学部 教育学科」の特色に対する 魅力度

■高野山大学「教育学部 教育学科」の特色に対する魅力度

Q1. 高野山大学の「文学部 教育学科」(仮称、設置構想中)には、以下のような特色があります。
先生ご自身は、それぞれの特色についてどの程度魅力に感じますか。(それぞれ、あてはまる番号1つに○)



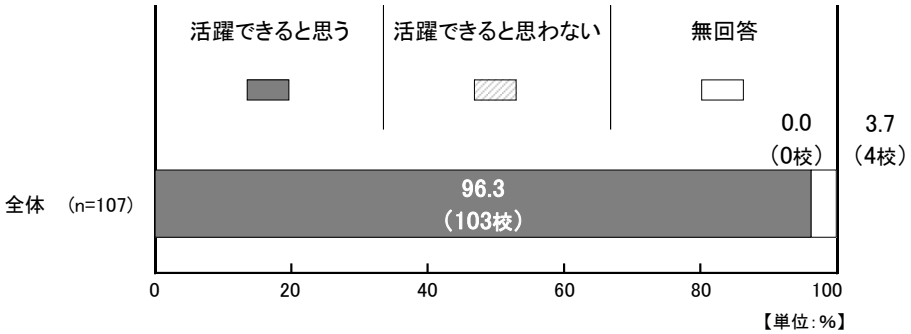
※魅力度=「とても魅力を感じる」「ある程度魅力を感じる」と回答した人の合計値

※魅力度は、人数をもとに%を算出し、小数点第二位を四捨五入しているため、「とても魅力を感じる」と「ある程度魅力を感じる」の合計値と必ずしも一致しない

高野山大学「教育学部 教育学科」卒業生の教育現場活躍度／社会的必要性／卒業生に対する勤務意向

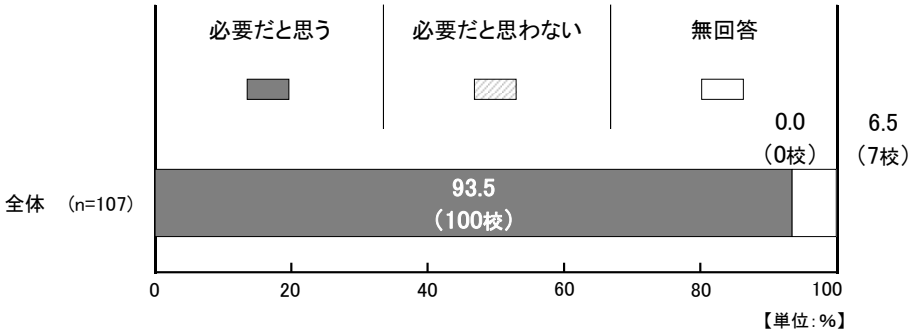
■高野山大学「教育学部 教育学科」卒業生の教育現場活躍度

Q2. 先生ご自身は、上記のような能力・姿勢を身につけた高野山大学「文学部 教育学科」(仮称、設置構想中)の卒業生は、実際の教育現場で活躍できると思われますか。(あてはまる番号1つに○)



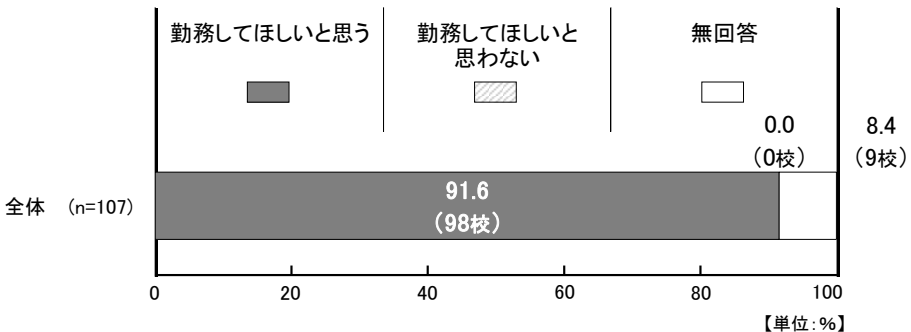
■高野山大学「教育学部 教育学科」の社会的必要性

Q3. 先生ご自身は、高野山大学の「文学部 教育学科」(仮称、設置構想中)は、これからの社会にとって必要だと思われますか。(あてはまる番号1つに○)



■高野山大学「教育学部 教育学科」卒業生に対する勤務意向

Q4. 先生ご自身は、高野山大学「文学部 教育学科」(仮称、設置構想中)で学び、卒業した学生について、貴校で勤務してほしいと思われませんか。(あてはまる番号1つに○)

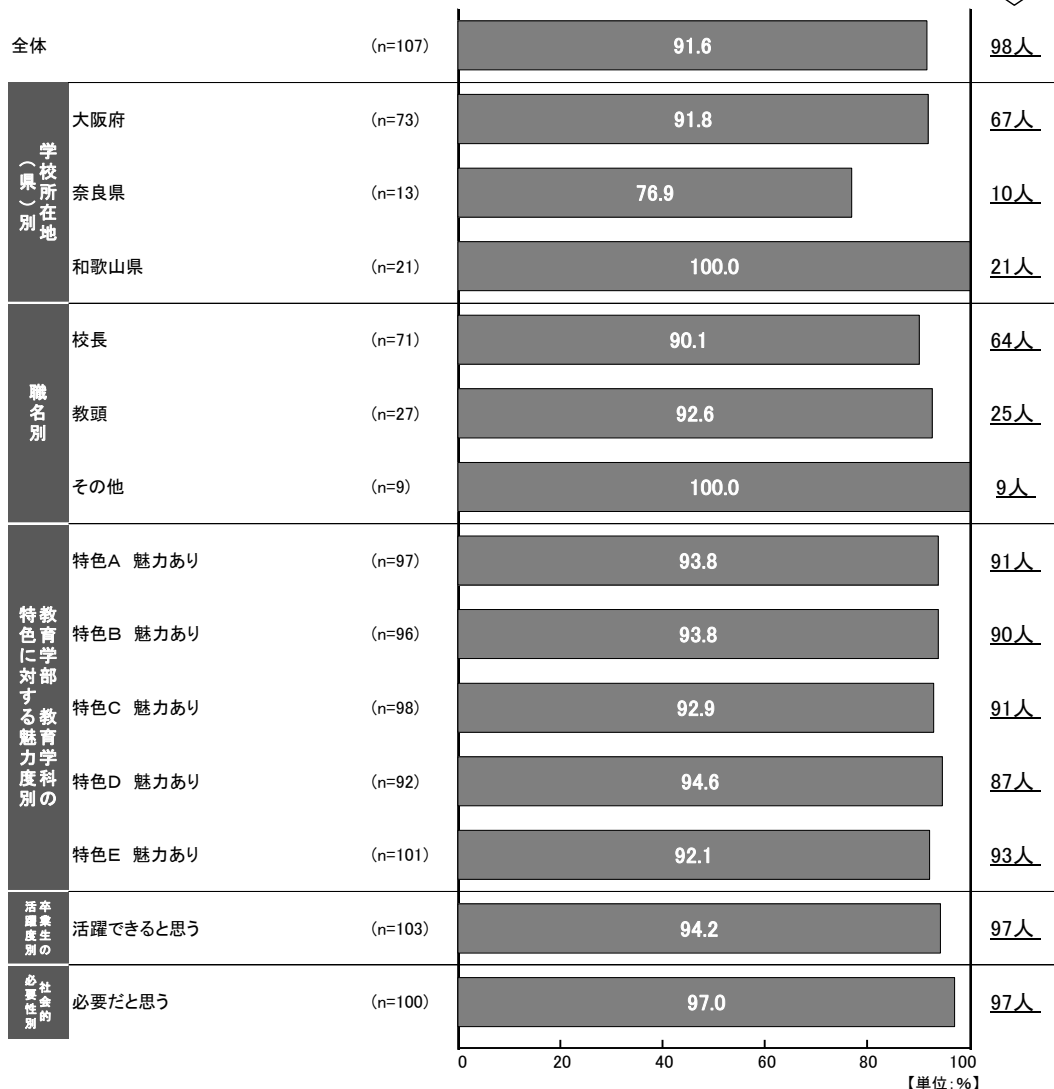


高野山大学「教育学部 教育学科」卒業生に対する 勤務意向<属性別>

■高野山大学「教育学部 教育学科」卒業生に対する勤務意向<属性別>

<属性別>

勤務意向
人数



卷末資料



• 調査票

調査票

高野山大学「文学部 教育学科」(仮称、設置構想中)に関するアンケート

高野山大学では2020年4月より、文学部に新しく「教育学科」(仮称)を設置することを構想しています。このアンケートは小学校の学校長の皆様から、高野山大学の新しい「教育学科」(仮称)に対するご意見をお伺いし、より充実した大学や学部にするための参考資料とさせていただきます。このアンケートで得られた情報や回答内容は、上記の目的のための統計資料としてのみ活用し、個人を特定することは一切ありません。ご多忙の折、誠に恐縮に存じますが、何とぞご協力を賜りますようお願い申し上げます。

※このアンケートや同封した資料に記載されている高野山大学「文学部 教育学科」(仮称、設置構想中)に関する事項はすべて予定であり、内容が変更になる可能性もあります。

はじめに、御校ならびに先生ご自身についてお伺いいたします。

F. 以下の項目について、お答えください。

学校所在地	[] 都・道・府・県
	[] 市・町・村
職名 (1つに○)	1. 校長 2. 副校長 3. 教頭 4. その他(具体的に:)

高野山大学では、2020年4月に新しく「文学部 教育学科」(仮称)を設置することを構想しています。

※ ここからは、アンケートに同封している資料をご覧いただいた上でお答えください ※

Q1. 高野山大学の「文学部 教育学科」(仮称、設置構想中)には、以下のような特色があります。先生ご自身は、それぞれの特色についてどの程度魅力に感じますか。(それぞれ、あてはまる番号1つに○)

		とても魅力を感じる	ある程度魅力を感じる	あまり魅力を感じない	まったく魅力を感じない
例.	○○である。	→ 1	②	3	4
A.	学内での講義は主に午前中、午後は学外で農業体験、木工体験、馬術体験などに参加し、徹底的な体験学習を重ねることで、教員としての指導力につながる行動力や困難に立ち向かう力を身につけます。	→ 1	2	3	4
B.	1年次から教育現場に触れ、教育実習を繰り返すことで、大学で学ぶ教育理論と、実際の教育現場での課題の両方を理解でき、高い教育実践力を身につけられます。	→ 1	2	3	4
C.	英語に関するWeb教材の導入や高野山観光ボランティア実習、海外留学などを通して、これからの教育現場に必要な国際的な視野と実践的な英語力を習得できます。	→ 1	2	3	4
D.	小学校教諭だけでなく、幼稚園教諭や社会福祉主事(任用)、博物館学芸員などの資格取得も可能です。	→ 1	2	3	4
E.	「心の教育」を充実させ、クラス運営や心理ケアに関する基礎的な理解を得られるようカリキュラムを設定しています。	→ 1	2	3	4

裏面へ続く→

調査票

高野山大学「文学部 教育学科」(仮称、設置構想中)では、
4年間の学びを通して、以下のような能力・姿勢を身につけることができます。

<身につけられる能力・姿勢>

- | | |
|---------------|--------------------------|
| ・ 教科指導力 | ・ 相手の言葉をよく聞き、相手に寄り添う姿勢 |
| ・ 実践的な英語力 | ・ 仲間と協力してものごとを進める力 |
| ・ コミュニケーション能力 | ・ 困難があっても諦めず、ものごとをやり遂げる力 |

Q2. 先生ご自身は、上記のような能力・姿勢を身につけた高野山大学「文学部 教育学科」
(仮称、設置構想中)の卒業生は、実際の教育現場で活躍できると思われませんか。
(あてはまる番号1つに○)

1. 活躍できると思う 2. 活躍できると思わない

Q3. 先生ご自身は、高野山大学の「文学部 教育学科」(仮称、設置構想中)は、
これからの社会にとって必要だと思われませんか。(あてはまる番号1つに○)

1. 必要だと思う 2. 必要だと思わない

Q4. 先生ご自身は、高野山大学「文学部 教育学科」(仮称、設置構想中)で学び、
卒業した学生について、貴校で勤務してほしいと思われませんか。
(あてはまる番号1つに○)

1. 勤務してほしいと思う 2. 勤務してほしいと思わない

～質問は以上です。ご協力ありがとうございました。～

高野山大学
「教育学部 教育学科」(仮称)
設置に関するニーズ調査
結果報告書
【企業等対象調査】

平成31年2月
株式会社 進研アド

企業等対象 調査概要

1. 調査目的

2020年4月開設予定の高野山大学「教育学部 教育学科」新設構想に関して、企業や私立幼稚園・保育所・学校等からの採用ニーズを把握する。

2. 調査概要

		企業等対象調査
調査対象		企業や私立幼稚園・保育所・学校等の採用担当者
調査エリア		北海道、栃木県、群馬県、埼玉県、東京都、神奈川県、新潟県、富山県、山梨県、長野県、静岡県、愛知県、三重県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、岡山県、広島県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県、福岡県、佐賀県、大分県、鹿児島県
調査方法		郵送調査
調査対象数	依頼数	183社
	回収数(回収率)	96社(52.5%)
調査時期		2018年11月26日(月)～2018年12月21日(金)
調査実施機関		株式会社 進研アド

3. 調査項目

企業等対象調査
<ul style="list-style-type: none">・人事採用への関与度・本社所在地・勤務先の主な業種・従業員数・採用したい学問系統・高野山大学「教育学部 教育学科」の特色に対する魅力度・高野山大学「教育学部 教育学科」の社会的必要性・高野山大学「教育学部 教育学科」卒業生に対する採用意向・高野山大学「教育学部 教育学科」卒業生の毎年の採用想定人数

※調査実施時点では、「文学部 教育学科」として設置することを検討していたため、調査票上は「文学部 教育学科」と記載して調査を行っているが、本報告書内では、最終的に決定した名称である「教育学部 教育学科」と表記している。

なお、調査対象者に対しては、学部学科名称には(仮称)と表記し、名称や内容は構想中のものであり、変更の可能性があることを明記した上で調査を行っており、また、名称の変更も「文学部 教育学科」から「教育学部 教育学科」と、学部学科名から想起される学問内容や職業イメージが大幅に変動するものではないことから、「教育学部 教育学科」の調査結果としての読み替えは可能と考える。

企業等対象 調査結果まとめ



企業等対象 調査結果まとめ

回答企業(回答者)の属性

※本調査は、高野山大学「教育学部 教育学科」に対する人材需要を確認するための調査として設計し、高野山大学の卒業生就職先として想定される企業の、人事関連業務に携わっている人を対象に調査を実施し、96企業から回答を得た。

- 回答者の人事採用への関与度を聞いたところ、「採用の決裁権があり、選考にかかわっている」人は44.8%、「採用の決裁権はないが、選考にかかわっている」人が18.8%と、採用や選考にかかわる人事担当者からの意見を聴取できていると考えられる。
- 回答企業の本社所在地は、高野山大学「教育学部 教育学科」の設置予定地である「大阪府」が34.4%で最も多い。次いで高野山大学本部の所在地である「和歌山県」が11.5%と続く。
- 回答企業の業種としては「幼稚園・保育所」が57.3%で最も多い。次いで「福祉施設・福祉関連業」が7.3%、「建設業」「卸売・小売業」がそれぞれ5.2%と続く。
- 回答企業の従業員数(正規社員)は、「50名未満」が58.3%で最も多い。次いで「100名～500名未満」が24.0%、「50名～100名未満」が6.3%と続く。

回答企業の採用したい学問系統

- 回答企業の採用したい学問系統を複数回答で聴取したところ、「保育学・幼児教育学系統」が65.6%で最も高い。次いで「社会福祉学系統」が26.0%、次に高野山大学「教育学部 教育学科」の学問内容と関連する「教員養成・教育学系統」が24.0%と続く。

企業等対象 調査結果まとめ

高野山大学「教育学部 教育学科」の特色に対する魅力度

- 高野山大学「教育学部 教育学科」の特色に対する魅力度(※)は、すべての項目で7割を超える。
- 最も魅力度が高いのは、「E. 「心の教育」を充実させ、クラス運営や心理ケアに関する基礎的な理解を得られるようカリキュラムを設定しています。」(91.7%)であり、「とても魅力を感じる」と回答した人の割合も58.3%で最も高い。

次に魅力度が高いのは、「A. 学内での講義は主に午前中、午後は学外で農業体験、木工体験、馬術体験などに参加し、徹底的な体験学習を重ねることで、行動力や困難に立ち向かう力、仲間と協力してものごとをやり遂げる力などを身につけます。」「B. 1年次から教育現場に触れ、教育実習を繰り返し行うことで、大学で学ぶ教育理論と、実際の教育現場での課題の両方を理解でき、高い教育実践力を身につけられます。」(いずれも83.3%)と続く。

※魅力度＝「とても魅力を感じる」「ある程度魅力を感じる」と回答した企業の合計値

高野山大学「教育学部 教育学科」の社会的必要性

- 高野山大学「教育学部 教育学科」の社会的必要性についての評価は、87.5% (84企業)が「必要だと思う」と回答しており、多くの企業からこれからの社会にとって必要な学部・学科であると評価されていることがうかがえる。

企業等対象 調査結果まとめ

高野山大学「教育学部 教育学科」卒業生に対する採用意向・毎年の採用想定人数

- 高野山大学「教育学部 教育学科」卒業生を「採用したいと思う」と答えた企業は、80.2% (77企業) である。
- 高野山大学「教育学部 教育学科」の卒業生を「採用したいと思う」と答えた77企業へ、高野山大学「教育学部 教育学科」卒業生の採用を毎年何名程度想定しているか聞いたところ、毎年の採用想定人数が確定している企業 (32企業) だけで、採用想定人数の合計は95名であった。

この他に、高野山大学「教育学部 教育学科」の卒業生を「採用したいと思う」が、「人数は未確定」と回答した企業が44企業あった。

このことから、安定した人材需要があることがうかがえる。

高野山大学「教育学部 教育学科」卒業生に対する採用意向企業数と、採用想定人数／年

※ここからは、高野山大学「教育学部 教育学科」に対して、Q8で「採用したいと思う」と回答し、かつ、Q9で何らかの選択肢を回答した企業を【採用意向企業】と定義し、さらに【採用意向企業】のうち、Q9で具体的な人数を回答した企業の採用想定人数の合計を【採用想定人数】と定義し、分析を行う。

- 回答企業全体における採用意向は、「採用したいと思うかつ採用人数確定」が33.3% (32企業)、「採用したいと思うが採用人数未確定」が45.8% (44企業) で、合計79.1% (96企業中、76企業)。
- 「採用したいと思うかつ採用人数確定」の企業からの採用想定人数の合計は95人で、予定している入学定員数50名を上回っている。

企業等対象 調査結果まとめ

<属性別>

◇本社所在地別

- 「近畿」エリアに所在地のある企業からの採用意向は、「採用したいと思うかつ採用人数確定」が25.9% (**14企業**)、「採用したいと思うが採用人数未確定」が59.3% (**32企業**)で、合計85.2% (54企業中、**46企業**)。「採用したいと思うかつ採用人数確定」の企業からの採用想定人数の合計は**72人**で、予定している入学定員数を上回っている。
- 高野山大学「教育学部 教育学科」の設置予定地である「大阪府」に本社所在地のある企業からの採用意向は、「採用したいと思うかつ採用人数確定」が33.3% (**11企業**)、「採用したいと思うが採用人数未確定」が63.6% (**21企業**)で、合計96.9% (33企業中、**32企業**)。「採用したいと思うかつ採用人数確定」の企業からの採用想定人数の合計は**67人**で、予定している入学定員数を上回っている。

◇業種別

- 高野山大学「教育学部 教育学科」の学問内容と関連する「教育・保育施設」の企業からの採用意向は、「採用したいと思うかつ採用人数確定」が38.3% (**23企業**)、「採用したいと思うが採用人数未確定」が48.3% (**29企業**)で、合計86.6% (60企業中、**52企業**)。「採用したいと思うかつ採用人数確定」の企業からの採用想定人数の合計は**69人**で、予定している入学定員数を上回っている。
- 上記のうち、「幼稚園・保育所」の企業に限定した場合でも、採用意向は、「採用したいと思うかつ採用人数確定」が41.8% (**23企業**)、「採用したいと思うが採用人数未確定」が45.5% (**25企業**)で、合計87.3% (55企業中、**48企業**)。「採用したいと思うかつ採用人数確定」の企業からの採用想定人数の合計は**69人**で、予定している入学定員数を上回っている。

企業等対象 調査結果まとめ

◇従業員数別

- 従業員数が「100名以上」の企業の採用意向は、「採用したいと思うかつ採用人数確定」が35.3% (**12企業**)、「採用したいと思うが採用人数未確定」が47.1% (**16企業**)で、合計82.4% (34企業中、**28企業**)。「採用したいと思うかつ採用人数確定」の企業からの採用想定人数の合計は**65人**で、予定している入学定員数を上回っている。

◇採用したい学問系統別

- 高野山大学「教育学部 教育学科」の学問内容と関連する「教員養成・教育学系統、保育学・幼児教育学系統」を学んだ学生を積極的に採用したいと回答した企業からの採用意向は、「採用したいと思うかつ採用人数確定」が40.6% (**28企業**)、「採用したいと思うが採用人数未確定」が46.4% (**32企業**)で、合計87.0% (69企業中、**60企業**)。「採用したいと思うかつ採用人数確定」の企業からの採用想定人数の合計は**89人**で、予定している入学定員数を上回っている。
- 「保育学・幼児教育学系統」を学んだ学生を積極的に採用したいと考えている企業からの採用意向は、「採用したいと思うかつ採用人数確定」が41.3% (**26企業**)、「採用したいと思うが採用人数未確定」が47.6% (**30企業**)で、合計88.9% (63企業中、**56企業**)。「採用したいと思うかつ採用人数確定」の企業からの採用想定人数の合計は**86人**で、予定している入学定員数を上回っている。
- また、「社会福祉学系統」を学んだ学生を積極的に採用したいと考えている企業からの採用意向は、「採用したいと思うかつ採用人数確定」が36.0% (**9企業**)、「採用したいと思うが採用人数未確定」が60.0% (**15企業**)で、合計96.0% (25企業中、**24企業**)。「採用したいと思うかつ採用人数確定」の企業からの採用想定人数の合計は**52人**で、予定している入学定員数を上回っている。

企業等対象 調査結果まとめ

◇高野山大学「教育学部 教育学科」の特色に対する魅力度別

- 高野山大学「教育学部 教育学科」の特色に魅力を感じている企業の採用意向は、いずれの特色でも7割を超えており、高野山大学「教育学部 教育学科」の特色に魅力を感じた企業からの採用意向が高いことがうかがえる。

◇社会的必要性別

- 高野山大学「教育学部 教育学科」が社会的に「必要だと思う」と答えた企業からの採用意向は、「採用したいと思うかつ採用人数確定」が36.9% (**31企業**)、「採用したいと思うが採用人数未確定」が48.8% (**41企業**)で、合計85.7% (84企業中、**72企業**)。「採用したいと思うかつ採用人数確定」の企業からの採用想定人数の合計は**94人**で、予定している入学定員数を上回っている。

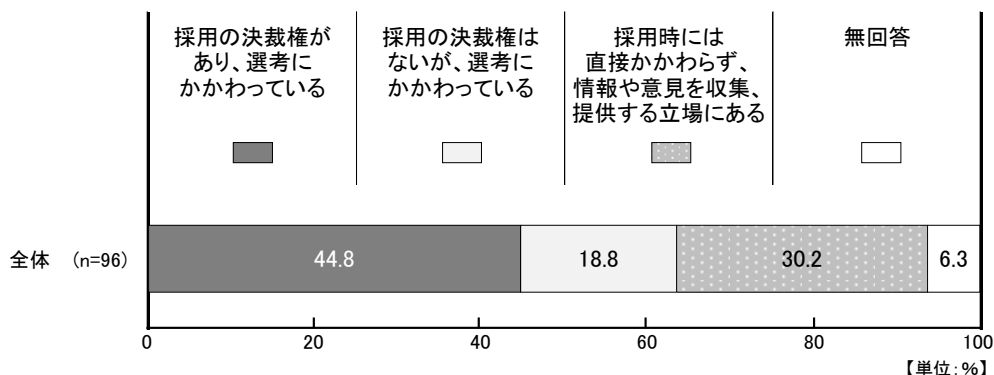
企業等対象 調査結果



回答企業(回答者)の属性(人事採用への関与度/本社所在地)

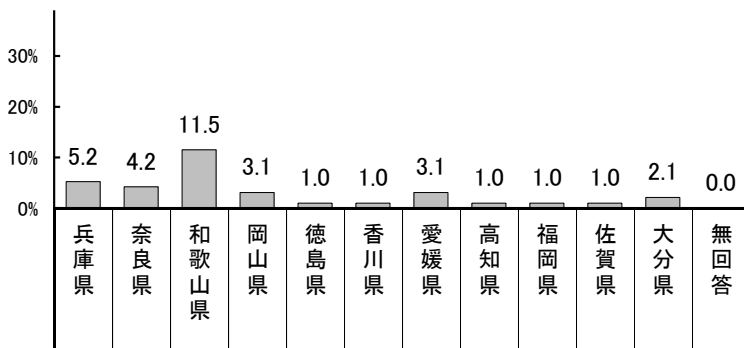
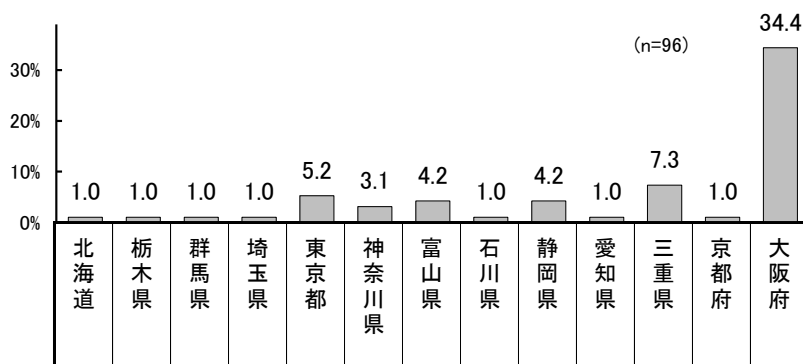
■人事採用への関与度

Q1. アンケートにお答えいただいている方の、人事採用への関与度をお教えてください。(あてはまる番号1つに○)



■本社所在地

Q2. 貴社・貴団体の本社(本部)所在地について、都道府県名をお教えてください。

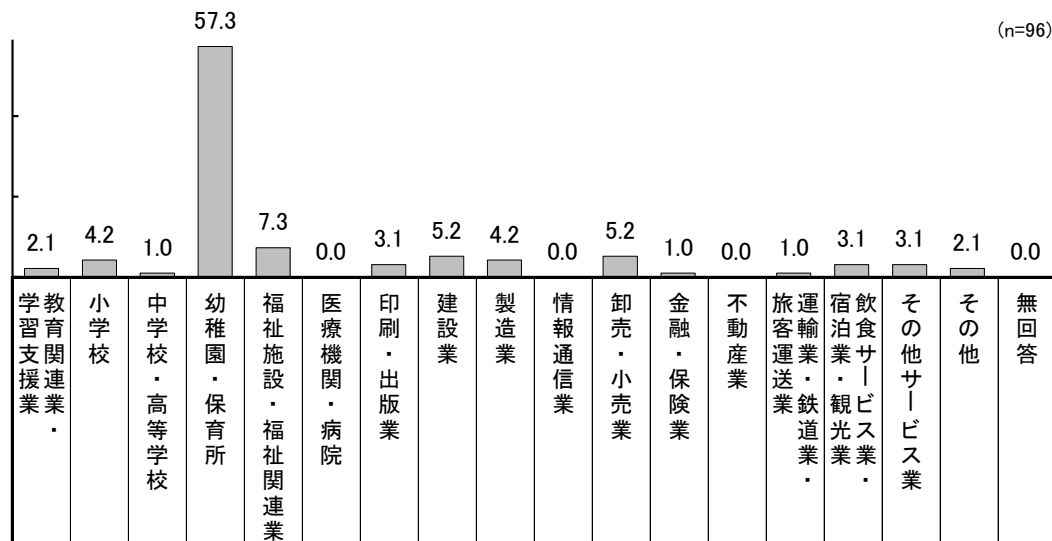


回答企業(回答者)の属性(勤務先の主な業種/従業員数)

■勤務先の主な業種

Q3. 貴社・貴団体の業種について、ご回答ください。(あてはまる番号1つに○)

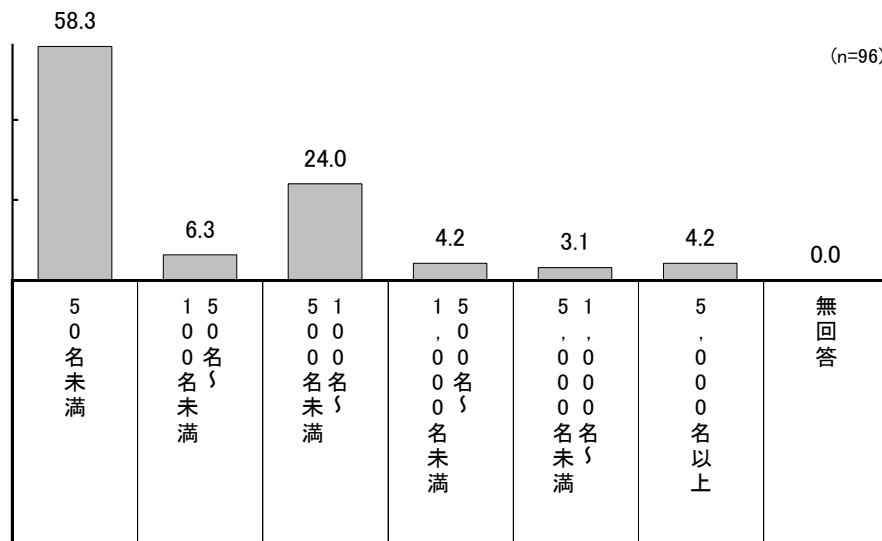
(n=96)



■従業員数

Q4. 貴社・貴団体の従業員数(正規社員)について、ご回答ください。(あてはまる番号1つに○)

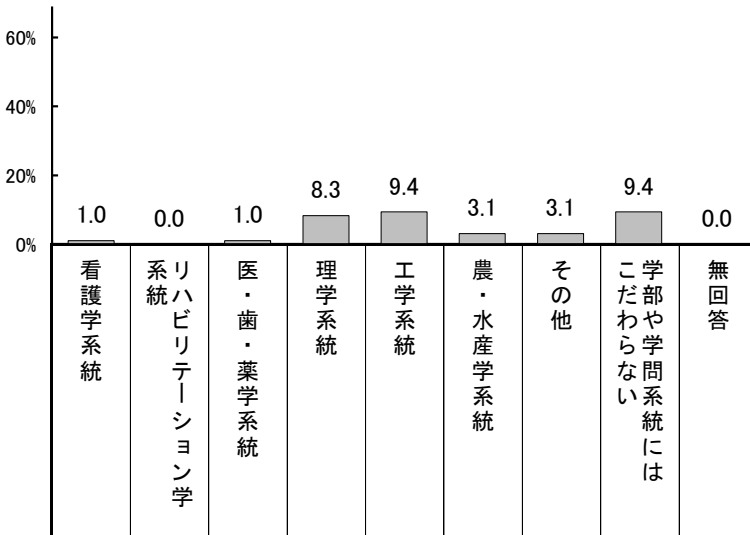
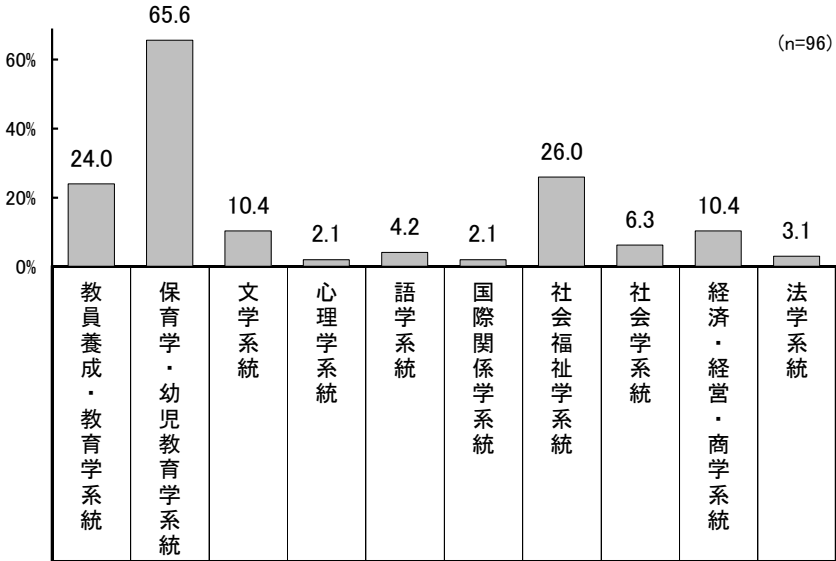
(n=96)



採用したい学問系統

■採用したい学問系統

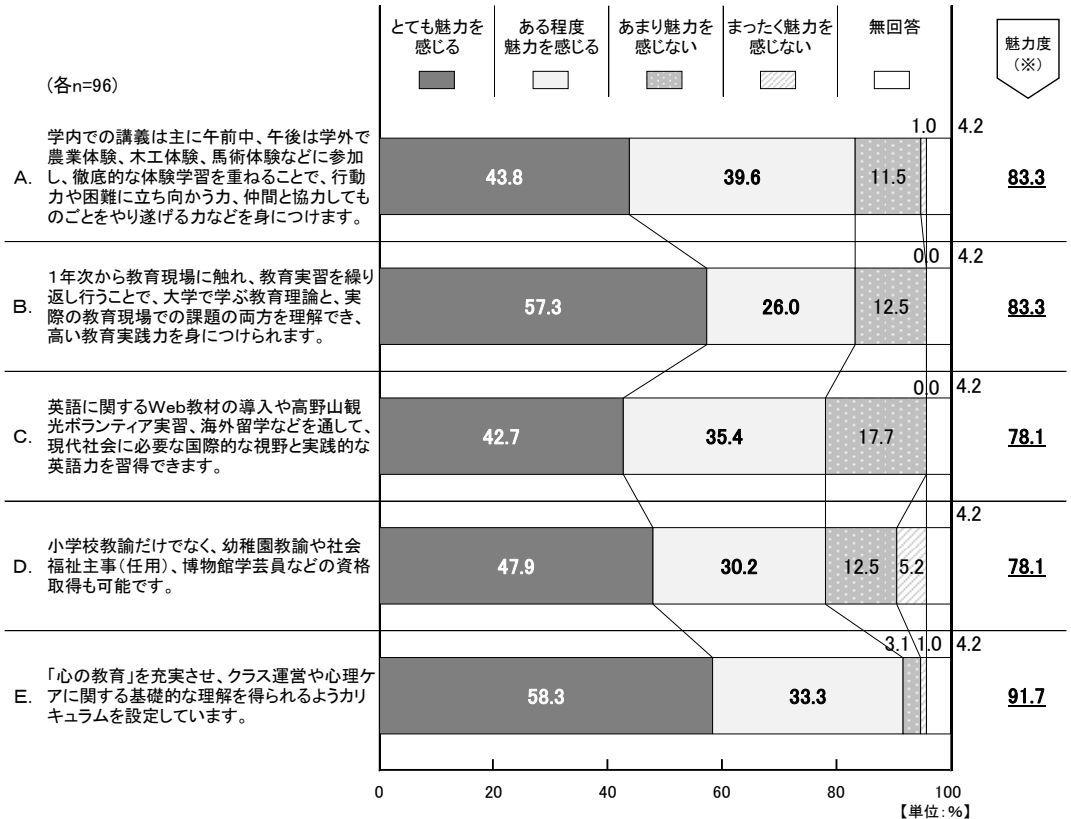
Q5. 貴社・貴団体では、どのような系統の学部を卒業した人物を採用したいとお考えですか。(あてはまる番号すべてに○)



高野山大学「教育学部 教育学科」の特色に対する魅力度

■高野山大学「教育学部 教育学科」の特色に対する魅力度

Q6. 高野山大学「教育学部 教育学科」(仮称、設置構想中)には、以下のような特色があります。貴社・貴団体(ご回答者)にとって、これらの特色はそれぞれの程度魅力に感じますか。(それぞれ、あてはまる番号1つに○)



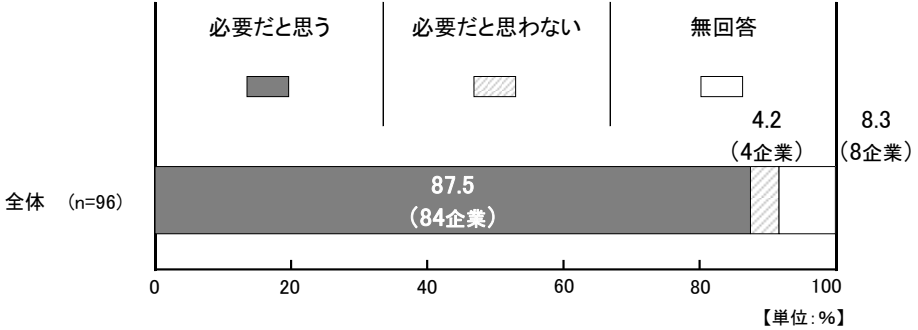
※魅力度=「とても魅力を感じる」「ある程度魅力を感じる」と回答した人の合計値

※魅力度は、人数をもとに%を算出し、小数点第二位を四捨五入しているため、「とても魅力を感じる」と「ある程度魅力を感じる」の合計値と必ずしも一致しない

高野山大学「教育学部 教育学科」の社会的必要性／ 卒業生に対する採用意向／卒業生の毎年の採用想定人数

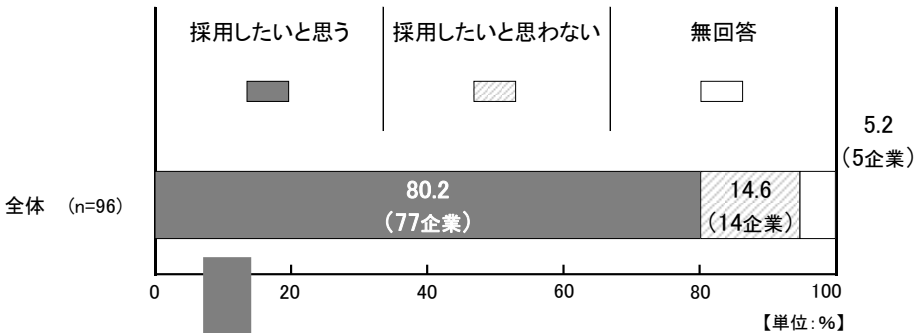
■高野山大学「教育学部 教育学科」の社会的必要性

Q7. 貴社・貴団体(ご回答者)は、高野山大学「教育学部 教育学科」(仮称、設置構想中)は、これからの社会にとって必要だと思われませんか。(あてはまる番号1つに○)



■高野山大学「教育学部 教育学科」卒業生に対する採用意向

Q8. 貴社・貴団体(ご回答者)では、高野山大学「教育学部 教育学科」(仮称、設置構想中)を卒業した学生について、採用したいと思われませんか。(あてはまる番号1つに○)



「採用したいと思う」と答えた77企業のみ抽出

■高野山大学「教育学部 教育学科」卒業生の毎年の採用想定人数

Q9. Q8で「1. 採用したいと思う」と回答された方におたずねします。

採用を考える場合、高野山大学「教育学部 教育学科」(仮称、設置構想中)を卒業した学生について、毎年何名程度の採用を想定されますか。(あてはまる番号1つに○)

標本数	単位	1名	2名	3名	4名	5名～9名	10名以上	人数は未確定	計 お示 よし (※ びた) 採 用業 想 定 人 数 ・ 計 人 数 を	
全体	77	18.2%	10.4%	0.0%	0.0%	9.1%	3.9%	57.1%		⇒ 76
		企業数	14	8	0	0	7	3	44	
		名	14	16	0	0	35	30	0	95

※ 毎年の採用想定人数・計 「5名～9名」=5名、「10名以上」=10名 を代入し合計値を算出

高野山大学「教育学部 教育学科」卒業生に対する採用意向／採用想定人数＜属性別＞

■高野山大学「教育学部 教育学科」卒業生に対する採用意向／採用想定人数＜属性別＞

※高野山大学「教育学部 教育学科」に対して、Q8で「採用したいと思う」と回答し、かつ、Q9で何らかの選択肢を回答した企業を【採用意向企業】と定義し、さらに、【採用意向企業】のうち、Q9で具体的な人数を回答した企業の採用想定人数の合計を【採用想定人数】と定義する。

<属性別>

		採用意向率(%)		採用意向企業数	採用意向企業数		採用想定人数	
		採用したいと思うが採用人数未確定	採用したいと思うかつ採用人数確定	採用したいと思うが採用人数未確定	採用したいと思うが採用人数未確定	採用したいと思うかつ採用人数確定	採用したいと思うが採用人数未確定	採用したいと思うかつ採用人数確定
		【単位: %】		採用したい・計	採用意向企業・合計		採用想定人数・合計	
		0	20	40	60	80	100	
全体	(n=96)	33.3	45.8	79.1%	32企業	44企業	76企業	95人
本社所在地別	東日本 (n=29)	55.2	20.7	75.9%	16企業	6企業	22企業	21人
	西日本 (n=67)	23.9	56.7	80.6%	16企業	38企業	54企業	74人
	近畿 (n=54)	25.9	59.3	85.2%	14企業	32企業	46企業	72人
	大阪府 (n=33)	33.3	63.6	96.9%	11企業	21企業	32企業	67人
業種別	教育・保育施設 (n=60)	38.3	48.3	86.6%	23企業	29企業	52企業	69人
	幼稚園・保育所 (n=55)	41.8	45.5	87.3%	23企業	25企業	48企業	69人
	その他 企業・団体 (n=36)	25.0	41.7	66.7%	9企業	15企業	24企業	26人
従業員数別	～100名未満 (n=62)	32.3	45.2	77.5%	20企業	28企業	48企業	30人
	100名以上 (n=34)	35.3	47.1	82.4%	12企業	16企業	28企業	65人
採用した別	教員養成・教育学系統、保育学・幼児教育学系統 (n=69)	40.6	46.4	87.0%	28企業	32企業	60企業	89人
	教員養成・教育学系統 (n=23)	43.5	43.5	87.0%	10企業	10企業	20企業	16人
	保育学・幼児教育学系統 (n=63)	41.3	47.8	88.9%	26企業	30企業	56企業	86人
	社会福祉学系統 (n=25)	36.0	60.0	96.0%	9企業	15企業	24企業	52人
教育学部に対する教育学科の特色別	特色A 魅力あり (n=80)	33.8	51.3	85.1%	27企業	41企業	68企業	79人
	特色B 魅力あり (n=80)	37.5	51.3	88.8%	30企業	41企業	71企業	84人
	特色C 魅力あり (n=75)	37.3	49.3	86.6%	28企業	37企業	65企業	82人
	特色D 魅力あり (n=75)	37.3	46.7	84.0%	28企業	35企業	63企業	81人
	特色E 魅力あり (n=88)	33.0	46.6	79.6%	29企業	41企業	70企業	83人
必須的	必要だと思う (n=84)	36.9	48.8	85.7%	31企業	41企業	72企業	94人

※「採用したい・計」は「採用したいと思うかつ採用人数確定」と「採用したいと思うが採用人数未確定」の割合の合計値
 ※「採用意向企業・合計」は「採用したいと思うかつ採用人数確定」と「採用したいと思うが採用人数未確定」の企業数の合計値
 ※「採用想定人数・合計」は「採用したいと思うかつ採用人数確定」企業のQ11に対する回答に、「5～9名」=5名、「10名以上」=10名を代入して算出した合計値

卷末資料



• 調査票

調査票

採用ご担当者様

高野山大学「文学部 教育学科」(仮称、設置構想中)に関するアンケート

高野山大学では2020年4月より、「文学部 教育学科」(仮称)を新設することを構想しています。このアンケートは採用ご担当者の皆様からご意見をお伺いし、より充実した大学や学科にするための参考資料とさせていただきます。このアンケートで得られた情報や回答内容は、上記の目的のための統計資料としてのみ活用し、個人を特定することは一切ありません。つきましては、ぜひアンケートへのご協力をお願いいたします。

※ このアンケートと同封した資料に記載されている「文学部 教育学科」(仮称、設置構想中)に関する事項はすべて予定であり内容が変更になる可能性があります。

はじめに、貴社・貴団体についてお伺いいたします。

Q1. アンケートにお答えいただいている方の、人事採用への関与度をお教えてください。(あてはまる番号1つに○)

1. 採用の決裁権があり、選考にかかわっている
2. 採用の決裁権はないが、選考にかかわっている
3. 採用時には直接かかわらず、情報や意見を収集、提供する立場にある

Q2. 貴社・貴団体の本社(本部)所在地について、都道府県名をお教えてください。

本社(本部)所在地

都・道・府・県 ←1つに○

Q3. 貴社・貴団体の業種について、ご回答ください。(あてはまる番号1つに○)

- | | | |
|----------------|------------|---------------------|
| 1. 教育関連業・学習支援業 | 7. 印刷・出版業 | 13. 不動産業 |
| 2. 小学校 | 8. 建設業 | 14. 運輸業・鉄道業・旅客運送業 |
| 3. 中学校・高等学校 | 9. 製造業 | 15. 飲食サービス業・宿泊業・観光業 |
| 4. 幼稚園・保育所 | 10. 情報通信業 | 16. その他サービス業 |
| 5. 福祉施設・福祉関連業 | 11. 卸売・小売業 | 17. その他 |
| 6. 医療機関・病院 | 12. 金融・保険業 | () |

Q4. 貴社・貴団体の従業員数(正規社員)について、ご回答ください。(あてはまる番号1つに○)

- | | | |
|---------------|------------------|--------------------|
| 1. 50名未満 | 3. 100名～500名未満 | 5. 1,000名～5,000名未満 |
| 2. 50名～100名未満 | 4. 500名～1,000名未満 | 6. 5,000名以上 |

Q5. 貴社・貴団体では、どのような系統の学部を卒業した人物を採用したいとお考えですか。(あてはまる番号すべてに○)

- | | | |
|----------------|------------------|---------------------|
| 1. 教員養成・教育学系統 | 7. 社会福祉学系統 | 13. 医・歯・薬学系統 |
| 2. 保育学・幼児教育学系統 | 8. 社会学系統 | 14. 理学系統 |
| 3. 文学系統 | 9. 経済・経営・商学系統 | 15. 工学系統 |
| 4. 心理学系統 | 10. 法学系統 | 16. 農・水産学系統 |
| 5. 語学系統 | 11. 看護学系統 | 17. その他 () |
| 6. 国際関係学系統 | 12. リハビリテーション学系統 | 18. 学部や学問系統にはこだわらない |

裏面へ続く→

調査票

高野山大学では、2020年4月に、新しく「文学部 教育学科」(仮称)を設置することを構想しています。
※ ここからは、アンケートに同封している資料をご覧いただいた上でお答えください ※

- Q6. 高野山大学「文学部 教育学科」(仮称、設置構想中)には、以下のような特色があります。
貴社・貴団体(ご回答者)にとって、これらの特色はそれぞれどの程度魅力に感じますか。
(それぞれ、あてはまる番号1つに○)

		とても 魅力を感じ	ある程度 魅力を感じ	あまり 魅力を感じない	まったく 魅力を感じない
例.	○○である。	→ 1	○ 2	3	4
A.	学内での講義は主に午前中、午後は学外で農業体験、木工体験、馬術体験などに参加し、徹底的な体験学習を重ねることで、行動力や困難に立ち向かう力、仲間と協力してものごとをやり遂げる力などを身につけます。	→ 1	2	3	4
B.	1年次から教育現場に触れ、教育実習を繰り返し行うことで、大学で学ぶ教育理論と、実際の教育現場での課題の両方を理解でき、高い教育実践力を身につけられます。	→ 1	2	3	4
C.	英語に関するWeb教材の導入や高野山観光ボランティア実習、海外留学などを通して、現代社会に必要な国際的な視野と実践的な英語力を習得できます。	→ 1	2	3	4
D.	小学校教諭だけでなく、幼稚園教諭や社会福祉主事(任用)、博物館学芸員などの資格取得も可能です。	→ 1	2	3	4
E.	「心の教育」を充実させ、クラス運営や心理ケアに関する基礎的な理解を得られるようカリキュラムを設定しています。	→ 1	2	3	4

- Q7. 貴社・貴団体(ご回答者)は、高野山大学「文学部 教育学科」(仮称、設置構想中)は、これからの社会にとって必要だと思いますか。(あてはまる番号1つに○)

1. 必要だと思う 2. 必要だと思わない

- Q8. 貴社・貴団体(ご回答者)では、高野山大学「文学部 教育学科」(仮称、設置構想中)を卒業した学生について、採用したいと思えますか。(あてはまる番号1つに○)

1. 採用したいと思う 2. 採用したいと思わない

- Q9. Q8で「1. 採用したいと思う」と回答された方におたずねします。
採用を考える場合、高野山大学「文学部 教育学科」(仮称、設置構想中)を卒業した学生について、毎年何名程度の採用を想定されますか。(あてはまる番号1つに○)

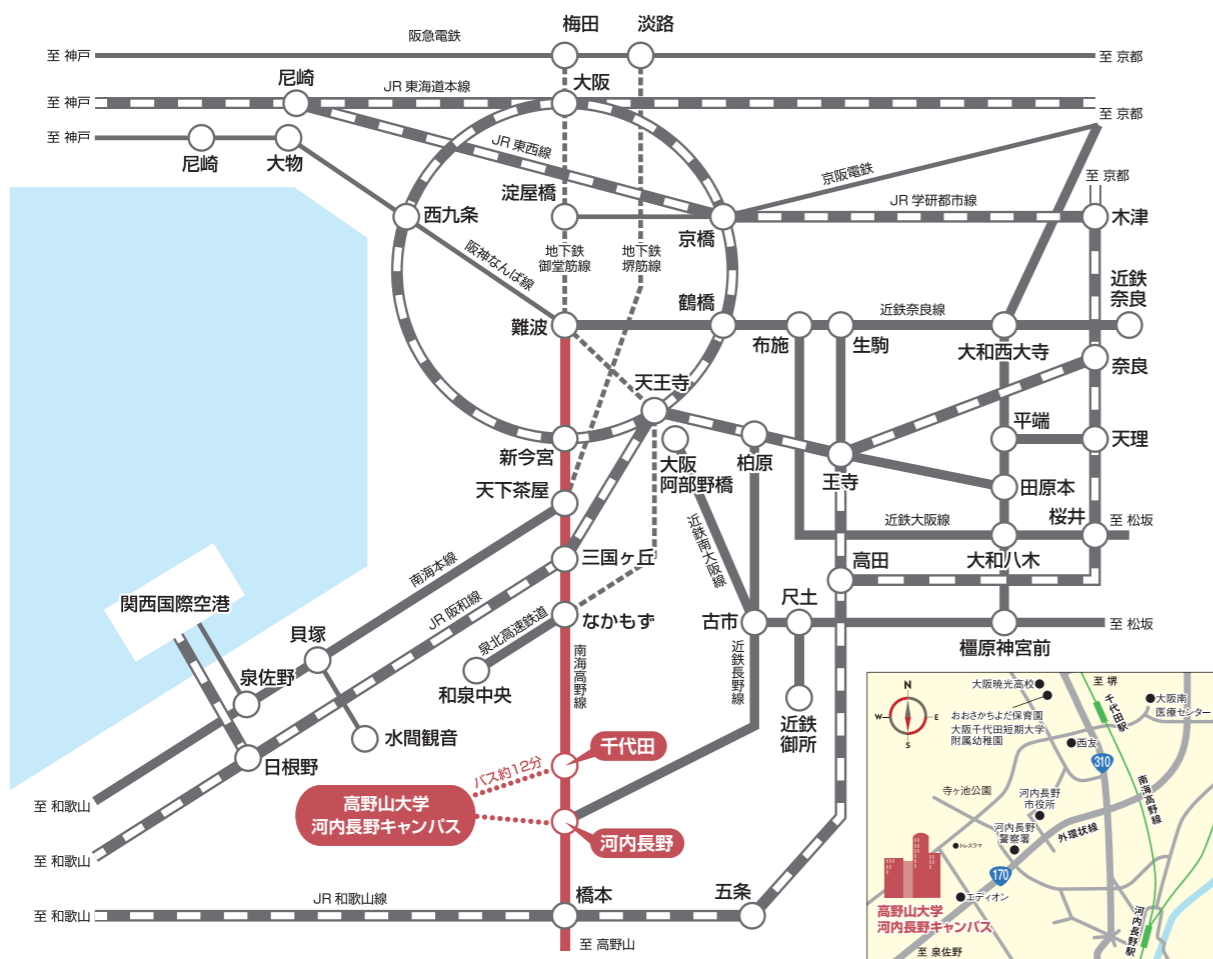
1. 1名 3. 3名 5. 5名～9名 7. 人数は未確定
2. 2名 4. 4名 6. 10名以上

～質問は以上です。ご協力ありがとうございました。～

高野山大学 文学部 教育学科 設置概要

修業年限：4年	学位：学士(教育学)
開設時期：2020年4月	学費：初年次納入金……………1,380,000円
入学定員：50名	2年次以降の納入金……………1,180,000円
開設場所：高野山大学 河内長野キャンパス	

交通アクセス



大阪市内より

- 難波駅より南海高野線で約35分
- 新今宮駅より南海高野線で約30分
- 天王寺駅よりJR阪和線三国ヶ丘駅で乗り換え、南海高野線で約35分

和歌山方面より

- 天下茶屋駅より南海高野線で約30分
- 三国ヶ丘駅より南海高野線で約25分
- 橋本駅より南海高野線で約23分

千代田・河内長野駅から高野山大学まで

- バスで約12分



- 文学部 密教学科/人間学科(地域デザインコース/心理ケアコース)/教育学科(仮称・設置構想中)
- 別科 密教専修コース/スピリチュアルケアコース
- 大学院 文学研究科
[修士課程]密教学専攻/仏教学専攻/密教学専攻(通信教育課程)
[博士後期課程]密教学専攻/仏教学専攻

【お問い合わせ先】
 総務課 〒648-0280 和歌山県伊都郡高野町高野山385 Tel.0736-56-5445 URL <http://www.koyasan-u.ac.jp>
 高野山大学 教育学科設置準備室 〒586-8511 大阪府河内長野市小山田町1685 Tel & Fax.0721-53-1101



高野山大学 教育学科

河内長野キャンパス

日本初の
本格的体験学習
カリキュラムを
導入!



2020年4月開設予定
(仮称・設置構想中)



現場実践力 を持つ 教師へ。

弘法大師空海は、わが国ではじめて
民間人を対象とした教育機関綜芸種智院を創設して、
教育の大切さを示されたことで有名です。
高野山真言宗の宗門大学として創設された高野山大学は、
こうした弘法大師の思いを受け継ぎ、
2020年に教育学科を開設予定。
「いのち」の営みを尊び、人間と環境・文化を理解し、
人間性豊かで創造性にあふれた人材を育成する」
という本学の教育理念のもと、教職の学びに加えて、
多様な体験の積み重ねから人間力の成長を促し、
真に教育現場で活躍できる教員の育成をめざします。
他大学に先駆けて本格的な体験教育カリキュラムを導入し、
日本ではじめての教員養成課程を提供いたします。

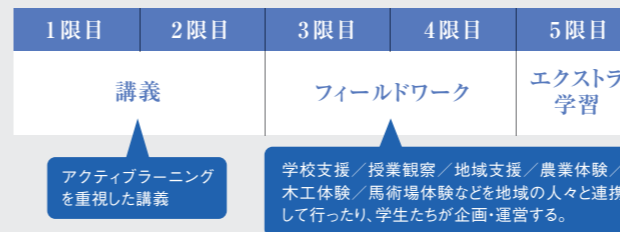
2020年、
教育学科
開設予定
(仮称・設置構想中)

日本初の画期的 教員養成課程

1 徹底した 地域体験 学習

講義は午前中、午後はフィールドワーク。魅力的な体験学習プログラム。

午前中は講義、午後は体験型学習プログラムといった、他大学には例のない画期的なカリキュラムを採用。体験型学習では農業体験、馬術体験や文化活動、地域での街づくりなどに取り組みます。豊富なフィールドワークを通じて現代に求められる教師力を養成します。

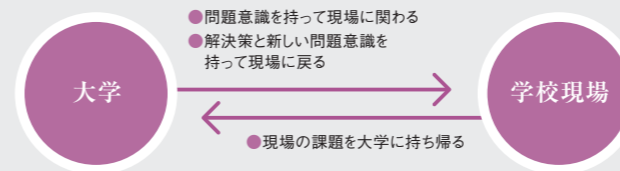


2 充実した 学校現場 体験

1年次の早期からスタート。学校支援、授業観察などの現場体験。

教育現場での実践力養成を目的として、1年次の早期から4年間にわたって学校現場体験を実施します。授業クラス視察、放課後支援、インターンシップなどを取り入れ、大学での学びと教育現場での体験的な学びをつなげるカリキュラムを構成します。

大学と現場の往還的な実習を行い、理論と実践の融合をめざす



3 国際的な 視野を養う

全学生が英語をマスターし、海外留学も推奨。国際的なセンスを持つ教師へ。

すべての学生が英語力の習得をめざします。世界遺産高野山を活かしたボランティア演習や海外留学などからも英語力を養成できます。また、グローバル化が進む現代社会では国際的なセンスを持つ教師であることが望ましいため、国際的な視野を獲得することも大切にしています。

Webを利用した 4能力を習得

Webを利用して4能力(読む・聞く・書く・話す)を習得。いつでもどこでも学習できる教材を活用した英語学習を実施します。

3ヶ月の海外留学 が可能

3ヶ月の海外留学では語学習得とあわせて、海外の教育現場や教育委員会などの訪問を通じて国際的な視野の養成をめざします。

ここも注目!

クォーター制 (4学期)

4学期の内、1つの学期はフリータームとして体験教育のための学期とします。3ヶ月の海外留学も休学することなく挑戦できます。

マイスター制度

体験活動では、地域の方々にマイスターになっていただきます。多様な経験、生きた知識や技能を通じて学生の学びを指導・支援していただく制度を設けます。

将来像

教科指導力とともに
総合的な人間力を備えた
教師をめざす。

教科をわかりやすく教える指導力や国際的視野を備えた教師をめざします。さらに、多様な体験プログラムを通じて、さまざまな人とのふれあいからコミュニケーション能力や相手を理解する力を育むほか、困難に遭遇してもあきらめず、仲間と共同してものごとをやりとげる力を身につけ、これからの教育現場に求められる人間力を総合的に高めます。

教科指導力

コミュニケーション能力

相手に寄り添う力

ものごとをやり遂げる力

仲間と協力する力

取得予定免許(計画中)

- 小学校教諭一種免許
- 幼稚園教諭一種免許
- 保育士資格
- 特別支援学校教諭一種免許
- 社会福祉主事任用資格
- 博物館学芸員資格
- 高野山真言宗僧侶資格



文学部 教育学科
に関するアンケート

【高校生】
調査結果報告書

目次

調査概要	4
▶ 呈示資料	6
▶ 回答者プロフィール	14
▶ 進路検討状況 高校卒業後の希望進路	16
▶ 進路検討状況 高校卒業後の第一希望進路	17
▶ 進路検討状況 興味のある学問分野	18
▶ 進路検討状況 進学先決定時の重視項目	19
▶ 【高野山大学「文学部 教育学科」】の受験意向	20
▶ 【高野山大学「文学部 教育学科」】への入学意向	21
▶ 【高野山大学「文学部 教育学科」】入学意向者数	22
▶ 【高野山大学「文学部 教育学科」】の魅力的な特徴	23
▶ 【高野山大学「文学部 教育学科」】の魅力的な特徴：「魅力を感じる・計」	24
▶ 【高野山大学「文学部 教育学科」】の受験意向理由	25
▶ 【高野山大学「文学部 教育学科」】の非受験意向理由	26

自由回答集

調査概要 【高校生】調査

▶ 調査目的

- ✓ 高野山大学が計画している「文学部教育学科」の新設について、
周辺エリア所在高校の2年生に受験意向・入学検討意向を聴取し、受容性を確認する。

▶ 調査対象

- ✓ 大阪府および和歌山県・奈良県・京都府にある公立・私立高等学校の2年生
 - ・ 調査対象校に事前に調査協力を依頼し、許諾を得た対象校へ調査票を送付。ホームルームなど教室で配布・回収。

▶ 調査期間

- ✓ 2019年11月18日（月）発送～2019年12月27日（金）締切
 - ・ 2020年1月9日（木）まで到着分を集計・分析対象とした

▶ 有効回答数

- ✓ 34校／3,279件（有効回答率62.4%）38校／5,254票配布

▶ 調査機関

- ✓ 株式会社アンド・ディ

▶ 調査協力校

■ 調査協力校・回収数

	全体	男子	女子	無回答
全体	3279	1764	1506	9
大阪府	1830	1036	788	6
和歌山県	1183	558	623	2
奈良県	174	97	77	—
京都府	92	73	18	1

	全体	男子	女子	無回答
大阪府	268	149	118	1
私立 あへの翔学高等学校	34	23	11	—
私立 上宮太子高等学校	38	5	33	—
私立 大阪緑涼高等学校	127	73	53	1
府立 柏原東高等学校	76	36	40	—
府立 美原高校	97	97	—	—
私立 東大阪大学柏原高等学校	100	50	48	2
私立 大阪暁光高等学校	111	—	111	—
私立 宣真高等学校	110	60	50	—
私立 初芝富田林中学校・高等学校	103	53	49	1
私立 賢明学院中学高等学校	120	120	—	—
私立 清風高校	35	18	17	—
府立 藤井寺高校	122	93	29	—
私立 近畿大学泉州高等学校	126	77	49	—
私立 精華高等学校	63	63	—	—
私立 興國高等学校	54	29	24	1
私立 向陽台高等学校	149	47	102	—
府立 久米田高等学校	97	43	54	—
私立 関西福祉科学大学高等学校	57	28	29	—
奈良県	6	1	5	—
県立 貴志川高等学校	141	52	89	—
県立 海南高等学校美里分校	58	25	32	1
市立 熊野高等学校	25	—	25	—
市立 和歌山高等学校	149	37	112	—
市立 海南下津高等学校	45	18	27	—
県立 和歌山商業高等学校	136	104	31	1
私立 智辯学園和歌山高校	32	23	9	—
私立 智辯学園初芝高等学校	75	37	38	—
私立 高野山高等学校	297	153	144	—
県立 粉河高等学校	162	80	82	—
県立 那賀高等学校	16	15	1	—
私立 開智高等学校	55	23	32	—
奈良県	103	59	44	—
県立 吉野高校	92	73	18	1
私立 智辯学園奈良カレッジ高等部				
京都府				
私立 洛南高等学校				



調查票・呈示資料

Q3. あなたが、進学先の大学・短大・専門学校を選ぶ際に大切だと思うのはどのようなことですか。あてはまるものをすべてお選び下さい。(いくつでも○)

- | | |
|------------------------|-------------------------|
| 1. 伝統や実績があること | 2. 校風や雰囲気が良いこと |
| 3. 学びたい学部・学科・コースがあること | 4. 教育方針・カリキュラムが魅力的であること |
| 5. 教育内容のレベルが高いこと | 6. 資格取得に有利であること |
| 7. 就職に有利であること | 8. 社会で役立つ力が身につくこと |
| 9. 語学力が身につくこと | 10. 教授・講師陣が魅力的であること |
| 11. 先輩・卒業生が魅力的であること | 12. 学生の学力が高いこと |
| 13. 学生の面倒見が良いこと | 14. キャンパスがきれいであること |
| 15. 奨学金などが充実していること | 16. 学生生活が楽しめること |
| 17. クラブ・サークル活動が盛んであること | 18. 周囲の人からの評判が良いこと |
| 19. 偏差値が自分に合っていること | 20. 教養が身につくこと |
| 21. 交通の便が良いこと | 22. 学費が高くないこと |
| 23. その他() | |

ここからは、現在設置を計画している「高野山大学 文学部 教育学科」についてお聞きます。
別紙の資料をよく読んでからお答えください。

Q4. 以下は、「高野山大学 文学部 教育学科」での取り組みの一例や学びの特徴です。あなたにとってどの程度魅力的ですか。各項目についてそれぞれ該当の番号に○をつけてください。(それぞれひとつに○)

		とても魅力的	ある程度魅力的	あまり魅力的ではない	全く魅力的ではない
a	農業体験、木工体験、馬術体験など、様々な体験学習を重ねることで、教員としての指導力につながる行動力や困難に立ち向かう力を身につけます。	1	2	3	4
b	1年次から教育現場に触れ、教育実習を繰り返し行うことで、大学で学ぶ教育理論と、実際の教育現場での課題の両方を理解でき、高い教育実践力を身につけられます。	1	2	3	4
c	英語に関する Web 教材の導入や高野山観光ボランティア実習、海外留学などを通して、これからの教育現場に必要な国際的な視野と実践的な英語力を修得できます。	1	2	3	4
d	小学校教諭、幼稚園教諭や保育士資格などに加えて、社会福祉主事任用、防災士、僧侶等の資格取得が可能です。	1	2	3	4
e	「心の教育」を充実させ、クラス運営や心理ケアに関する基礎的な理解を得られるようカリキュラムを設定しています。	1	2	3	4

--- 次のページにお進みください ---

Q5. あなたは、高野山大学が設置計画中の「文学部 教育学科」を受験したいと思いますか。(ひとつに○)

1. 受験したい
2. 受験校の候補には入る
3. 受験したいと思わない

Q6. Q5で「受験したい・受験校の候補には入る」を選択した人のみ、教えてください。

あなたは、高野山大学が設置計画中の「文学部 教育学科」に合格した場合、入学したいと思いますか。(ひとつに○)

1. 入学したい
2. 併願校の可否によっては入学したい
3. 入学先としては考えない

Q7. Q5で「受験したい・受験校の候補には入る」を選択した人のみ、教えてください。

あなたが、高野山大学が設置計画中の「文学部 教育学科」を「受験したい・受験校の候補には入る」と回答された理由としてあてはまるものをすべてお選びください。(いくつでも○)

1. 小学校教諭免許が取得できるから
2. 幼稚園教諭免許と保育士資格が取得できるから
3. 地域での様々な体験学習プログラムがあるから
4. 1年次から、教育現場体験プログラムがあるから
5. 英語学習に力を入れているから
6. 心の教育に力を入れているから
7. 入学定員50名で、少人数教育だから
8. 高野山大学だから
9. その他 ()

Q8. Q5で「受験したいと思わない」を選択した人のみ、教えてください。

あなたが「受験したいと思わない」と回答された理由を教えてください。(ひとつに○)

1. 関心がある分野ではないから
2. 関心がある分野だが、他大学の進学を希望しているから
3. 関心がある分野だが、新設の学科に進学するのは不安だから
4. 関心がある分野だが、内容をもっと詳しく知ってから検討したいから
5. 大学進学を考えていないから
6. その他 ()

質問はこれで終了です。ご協力いただきありがとうございました。

ここで、先生になつていく。

文学部
教育学科
2021.4
開設予定

〔設置構想中〕

失敗した分だけ、いい先生になれる。

たとえ、勉強が苦手でも、スポーツが不得意でも、不器用でも、口下手でも、頑張ってきたひとは、先生に向いている。子どもは、未完成で発展途上で、その分傷つきやすい。だからこそ先生には、ポーズじゃなくて、一緒に悩んでほしいのです。教科書も校舎も越えて、社会から学ぶ4年間は、あなたの覚悟を自信に変えてゆくはず。少しずつ、でも着実に、ここで、先生になっていこう。

高野山大学

河内長野キャンパス(大阪千代田短期大学キャンパス内)

※学科の名称・内容は予定のため変更される場合があります。

EXPERIENCE

カラダが感じる。自信が深まる瞬間がある。

ものごとには正解のないことが多い。特に、感性豊かな子どもたちには、とってつけたようなマルハツの理屈は通用しません。教科書に載っていることだけでなく、自分のカラダで感じた喜怒哀楽を通してはじめて、子どもたちと向き合うことができるのです。高野山大学では大学内講義とは別に、地域体験のフィールドワークを学びの柱とし、教科書も校舎も越えて物事をさまざま目線で見つめ、体験するカリキュラムを用意しています。

現場体験学習 FIELD LEARNING (地域・学校)

地域との連携による教育や、保育・教育現場での実践的な学びを通じて、現場力と人間力を育む。



農業体験 森林・木工体験 地域活動 馬術場研修 教育現場体験 など

MESSAGE

私たちは大学の教員とは違い、日頃は地域社会で活動しています。このたび高野山大学とタッグを組み、教科書や校舎のなかでは体験できない独自のカリキュラムをつくりあげました。農業や木工、馬術などのフィールドワークを通して、子どもたちの感受性や自主性を引き出す授業を展開していきます。カラダで感じたことを、自分の言葉で語る先生になってほしい。高野山大学ならではの、地域から学ぶ授業にご期待ください。



KNOWLEDGE

アタマがよるこぶ。世界が広がる発見がある。

学生のみならずに養ってほしいのは、学ぶ楽しさや知るうれしさです。教育に関わる専門知識はもちろんのこと、どんなことにも好奇心を持ち、探求する力も育んでほしい。知らない世界に触れ、考え、広げ、自分を磨いていく。将来の教え子たちが求めているのは、先生の体験を通したリアルな言葉です。高野山大学のアクティブラーニングを中心とした学びで得た知識は、教年後、あなたを通して、子どもたちの未来を照らす通しになるはずです。

ACADEMIC LEARNING 大学内講義

経験豊富な教授陣の深い知識と現場での実践的な学びを通じて、専門力と対応力を養う。



児童教育コース
(小学校)

幼児教育コース
(幼稚園・保育士)

1年次から卒業するまで、ゼミの担当教員とアドバイザーの教員がきめ細やかな助言を実施

MESSAGE

子どもたちの可能性を広げるために、先生にはどんな力が大切なのでしょうか。生徒が自ら学びたいような授業や、学校に来ることが楽しくなるクラスの雰囲気をつくることができれば、とても良いですね。高野山大学では、子どもたちの好奇心を喚起し、笑顔あふれる教室をつくることのできる先生、そんな先生を養成するためのプログラムを用意しています。子どもたちのために、ホンキになる4年間をおくりませうか。



私たちが、

先生です。

CONTENTS

カラダでしか感じるこののできないうリアルが、きっと先生になったときに力になる。

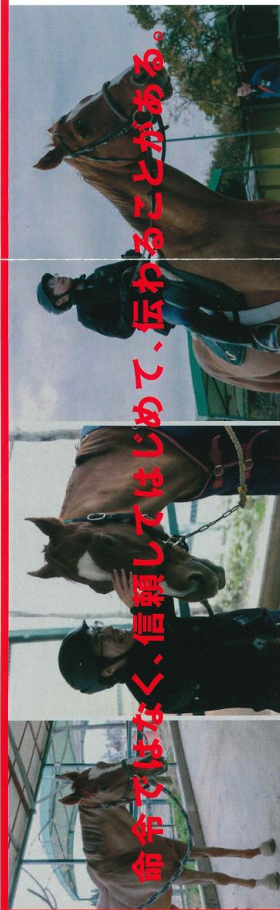
SPECIAL
MOVIE



馬術場研修



馬術場研修



命令ではなく、信頼してはじめて、伝わることもある。

馬は犬と違い、人間に対して忠誠心をもつ動物ではありません。命令だけでは動かない、自らの意思に反することはしてくれません。主従ではなく対等な関係の中で、しくさや表情を読み取り、信頼を積み上げていく力が重要です。主体性を引き出し、信頼関係を築くことは、学校教育においても大切な力です。馬術場研修では、子どもの言葉や行動の背景を推察し、気持ちを汲み取るための基礎能力を養ってもらえると思います。全8回のカリキュラムでは、厩舎の清掃や乗乗練習などのコミュニケーションを通じて、馬の細やかな変化を察知する感覚も磨かれていくはずです。



森林木工体験



主観ではなく、俯瞰したら、物事が見えてくる。

河内長野の気持ちよい森林を舞台に、多面的な視点や思考力、問題解決力、協働能力などを学んでいきます。まずは森林にも、原生林、人工林、水源林など様々な種類があることを知ってもらいます。次にそれぞれの役割の違いを学んだ上で、森と人との共生などにも向き合っていきます。さらに授業の後半では、その河内材を用いた木工体験に取り組んでもらい、森林の恵みをひとつのカタチへとつくりあげていきます。学校教育においても、子ども個人だけでなくクラスや学年全体、友だちや家庭との関係など、俯瞰した視点をもちた先生が必要とされています。



農業体験



自力ではなく、他力を借りれば、可能性がひろがる。

イチゴひとつとっても、品種も異なれば栽培方法も異なります。いつものような手入れをすればよいのか、つぶさに観察し、決してコントロールできない自然を相手に適したタイミングで対応しなければなりません。教育現場で起こる問題も同じです。子どもたちそれぞれの特性を知り、タイミングよく手を差し伸べなければなりません。状況によっては、放っておくことが必要なきももあります。いろいろな作物の農業体験を通して、自然を相手にした育成の醍醐味を体験し、おなじ形はひとつも無い、個性にあふれた作物を収穫する喜びを仲間とともに味わってください。

地球が、

文学部

※2021年4月設置構想中

教育学科*

学内講義と現場学習体験。教育現場や地域で活躍できる資質と能力を育成。

教職や体験の支えとなる講義と、教育に求められる多彩な力を養う現場学習体験を実施。教職科目に加えて、不登校対策や学級経営・心理学の科目なども学び、教育現場や地域で活躍できる、教師としての実践力や人間力を育みます。



児童教育コース(小学校)



幼児教育コース(幼稚園・保育士)

学びのTOPICS

高野山大学特任マイスター制度

地域の優れた技術や知識、経験を持つ人を、高野山大学特任マイスターと認定し、地域体験学習のティーチングアシスタントとして指導してもらいます。座学だけでは得られない経験知や体験知を修得します。



Linc English

リスニング、リーディング、ライティングなどの活きた英語力を体得するオンライン学習システムを導入。スマホやタブレットなどで、いつでもどこでも自分のペースで勉強でき、確かな英語力を磨きます。



取得をめざせる資格
(予定・構想中)

- ◎小学校教諭一種免許状<国>
- ◎幼稚園教諭一種免許状<国>
- ◎保育士<国>
- ◎防災士
- ◎高野山真言宗僧侶資格
- ◎社会福祉主任任用資格

密教学科

真言密教の教えを学び、多様性の現代社会を生き抜く力を獲得。

世界に存在するものすべてに価値を見出す真言密教の教え。真言僧侶としてだけでなく、文化人、教育者、事業家として社会や人のために生きていくための学びを修得。密教の知識を中心に、関連する多様なスキルを身につけます。

取得をめざせる
資格

- ◎中学校教諭一種免許状[宗教][国語]<国>
- ◎高等学校教諭一種免許状[宗教][国語]<国>
- ◎書道師範(高野山金剛峯寺・高野山大学)
- ◎社会福祉主任任用資格
- ◎博物館学芸員<国>

めざせる進路

- ◎国家公務員
- ◎地方公務員
- ◎中学校教諭
- ◎高校教諭
- ◎社会福祉主事
- ◎僧侶

空海の
教え

人材育成とは何か。
1200年間の教えから。

高野山大学の学びの根幹にあるのは、弘法大師空海の教え。「いのち」の営みを尊び、人間と環境・文化を理解し、人間性豊かで創造性にあふれた人材を育成する」脈々と受け継がれた本物の学びを通じて、みなさんが本物の先生へと成長していくことを、私たちは本気で支援します。



教育学科(国語系)キャンパスは大阪府内!

河内長野キャンパス(大阪千代田短期大学キャンパス内)

〒586-8511大阪府河内長野市小山田町1685
お問い合わせ TEL 0736-56-2921

高野山大学



いのち・文化・創造

高野山大学

(2021年4月 設置構想中) ※学科の名称・内容は予定のため変更される場合があります。



調查結果

回答者プロフィール ①

▶ 調査回答者の性別は、「男性」が54%、「女性」が46%。

✓ 京都府では「男性」が79%と多い。

▶ 高校所在地は、「大阪府」が56%、ついで「和歌山県」（36%）。

✓ 女性では「和歌山県」が41%と男性（32%）よりも10ポイント高い。

✓ 奈良県居住者では「大阪府」が31%と相対的に高い。

■性別（全体／単一回答）

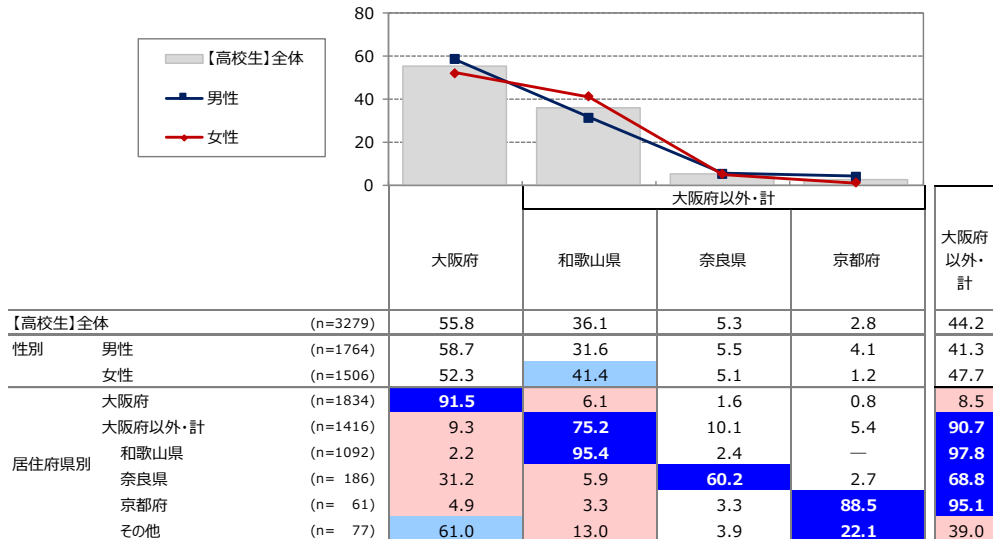
(%)

		男性	女性	無回答
*凡例				
【高校生】全体	(n=3279)	53.8	45.9	0.3
大阪府	(n=1830)	56.6	43.1	0.3
大阪府以外・計	(n=1449)	50.2	49.6	0.2
高校所在地別	和歌山県	47.2	52.7	0.2
	奈良県	55.7	44.3	—
	京都府	79.3	19.6	1.1

高校生_F1

■高校所在地（全体／単一回答）

(%)

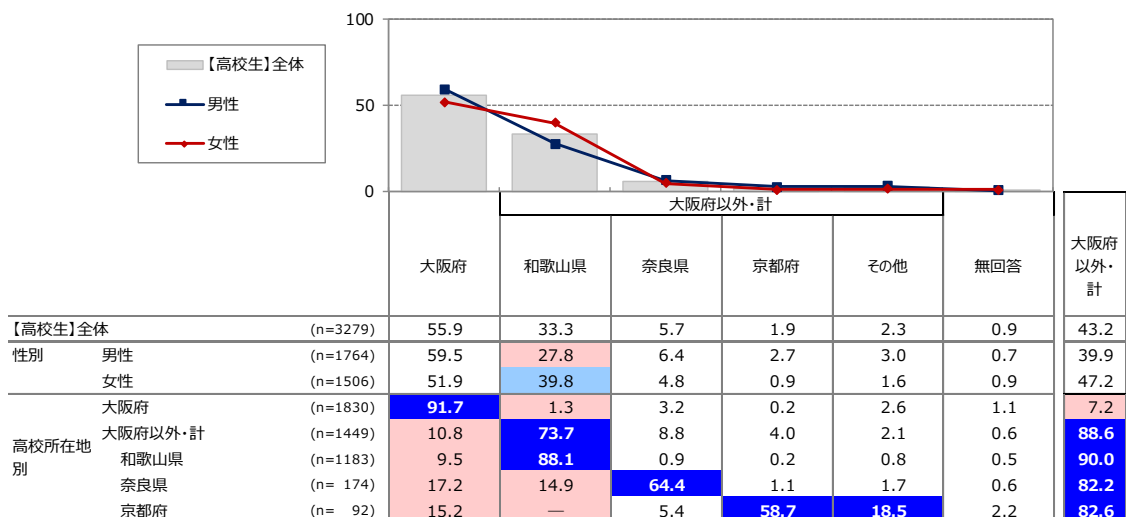


※「全体」より ■=10ポイント以上高い / ■=5ポイント以上高い / ■=5ポイント以上低い

高校生_FACE2

■居住地（全体／単一回答）

(%)



※「全体」より ■=10ポイント以上高い / ■=5ポイント以上高い / ■=5ポイント以上低い

高校生_F3

回答者プロフィール ②

▶ 高校設置者は、「私立」が63%。

- ✓男性では「私立」の割合が高く、70%。
- ✓女性では「府・県立/市立」(46%)、「私立」(54%)にほぼ二分。
- ✓所在地が大阪府の高校では、「私立」の割合が高く、79%。
- ✓和歌山県の高校では、「府・県立/市立」の割合が高く、68%。

▶ 所属クラスは、「文系」が最も高く、64%。

- ✓男性では「文系」が68%と、女性(61%)を7ポイント上回る。
- ✓京都府の高校では「文系」の割合が高く、74%。

■ 高校設置者 (全体/単一回答)

(%)

		国立	府・県立/市立	私立
*凡例				
【高校生】全体 (n=3279)		36.9	63.1	
性別	男性 (n=1764)	29.6	70.4	
	女性 (n=1506)	45.6	54.4	
高校所在地別	大阪府 (n=1830)	21.1	78.9	
	大阪府以外・計 (n=1449)	56.9	43.1	
	和歌山県 (n=1183)	68.3	31.7	
	奈良県 (n= 174)	9.2	90.8	
	京都府 (n= 92)		100.0	

高校生_FACE3

■ 所属クラス (全体/単一回答)

(%)

		文系	理系	その他	無回答
*凡例					
【高校生】全体 (n=3279)		64.4	8.1	25.5	2.0
性別	男性 (n=1764)	67.6	10.7	19.7	2.0
	女性 (n=1506)	61.1	5.0	32.1	1.7
高校所在地別	大阪府 (n=1830)	67.3	6.2	24.4	2.2
	大阪府以外・計 (n=1449)	60.8	10.6	26.8	1.8
	和歌山県 (n=1183)	59.3	7.4	31.4	1.9
	奈良県 (n= 174)	64.4	25.9	9.2	0.6
	京都府 (n= 92)	73.9	22.8	1.12.2	

高校生_F2

進路検討状況 高校卒業後の希望進路

▶ 高校卒業後の希望進路は、「大学」が68%と最も高く、ついで「専門学校・専修学校に進学」(26%)。

✓ 大学+短期大学+専門学校いずれかの学校へ進学を希望する者は、85%。

▶ 男女ともに「大学」が最も高いが、特に男性は76%と、女性(59%)よりも17ポイント高い。

✓ 「短期大学」「専門学校」は、女性が男性を上回る。

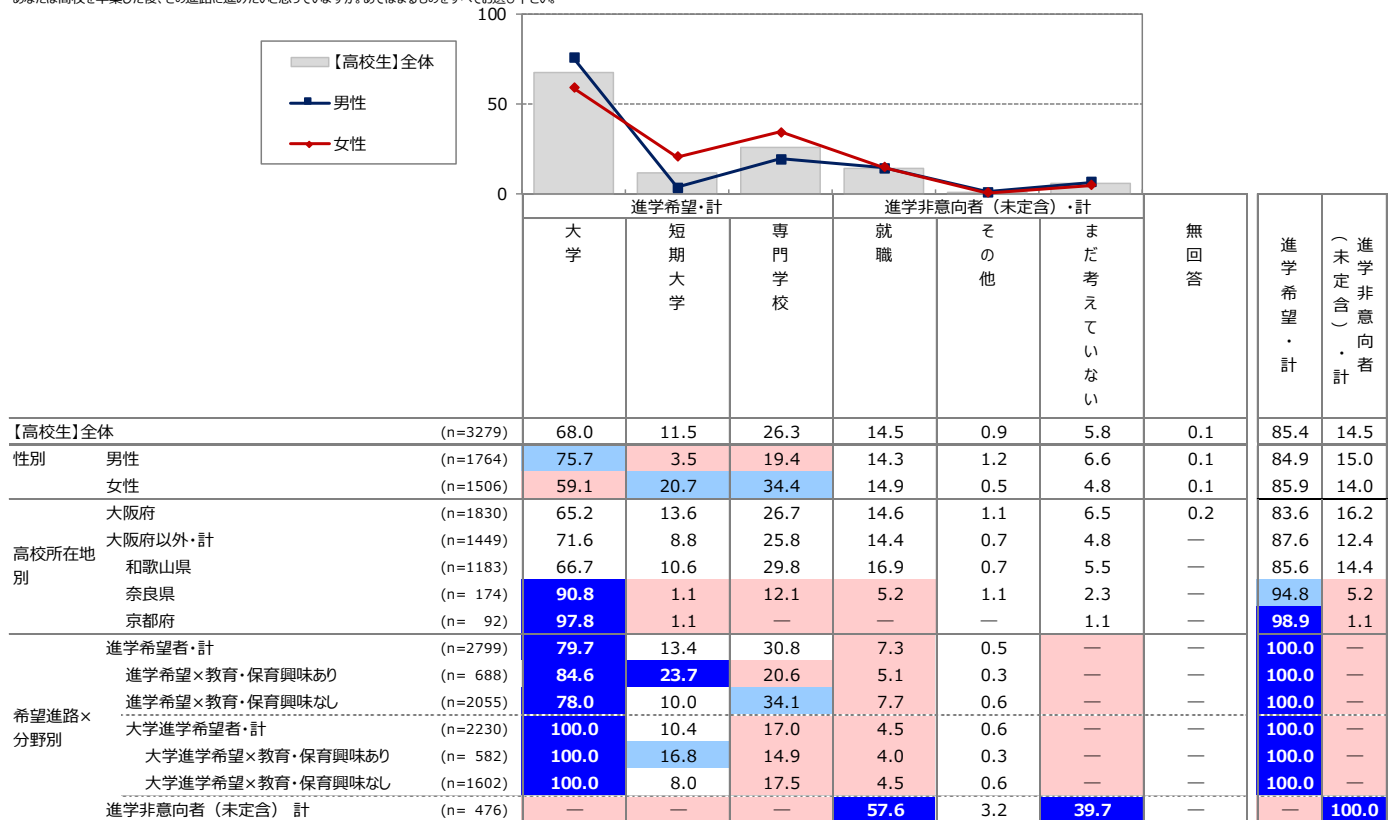
▶ 高校所在地別にみると、いずれも「大学」が最も高いが、特に京都府、奈良県では9割を超える。

✓ 大阪府、和歌山県では「大学」が7割を下回る。

■ 高校卒業後の希望進路 (全体/複数回答)

(%)

あなたは高校を卒業した後、どの進路に進みたいと思っていますか。あてはまるものをすべて選び下さい。



※「全体」より ■=10ポイント以上高い / ■=5ポイント以上高い / ■=5ポイント以上低い

高校生_Q1

進路検討状況 高校卒業後の第一希望進路

▶ 高校卒業後の第一希望進路でも「大学」が最も高く、61%。

✓ 大学+短期大学+専門学校いずれかの学校へ進学を最も希望する者は、80%。

▶ 男女ともに「大学」が最も高いが、特に男性は71%と、女性（50%）よりも21ポイント高い。

✓ 女性では「専門学校」（21%）が男性（10%）よりも11ポイント高い。

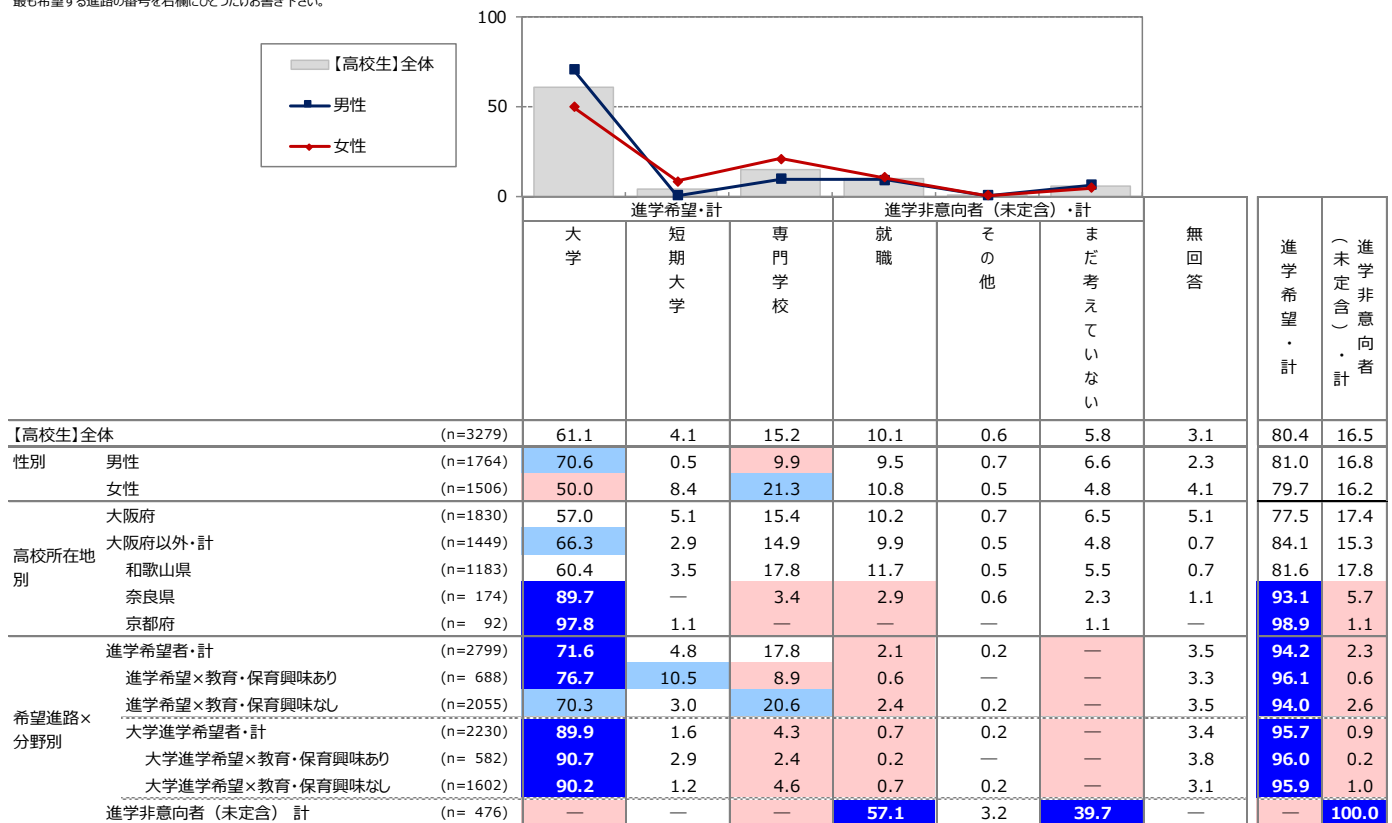
▶ 高校所在地別にみると、いずれも「大学」が最も高いが、特に京都府では98%の者が「大学」と回答。

✓ 大阪府では「大学」が6割を下回る。

■ 高校卒業後の第一希望進路（全体／単一回答）

(%)

最も希望する進路の番号を右欄にひとつだけお書き下さい。



※「全体」より ■=10ポイント以上高い / ■=5ポイント以上高い / ■=5ポイント以上低い

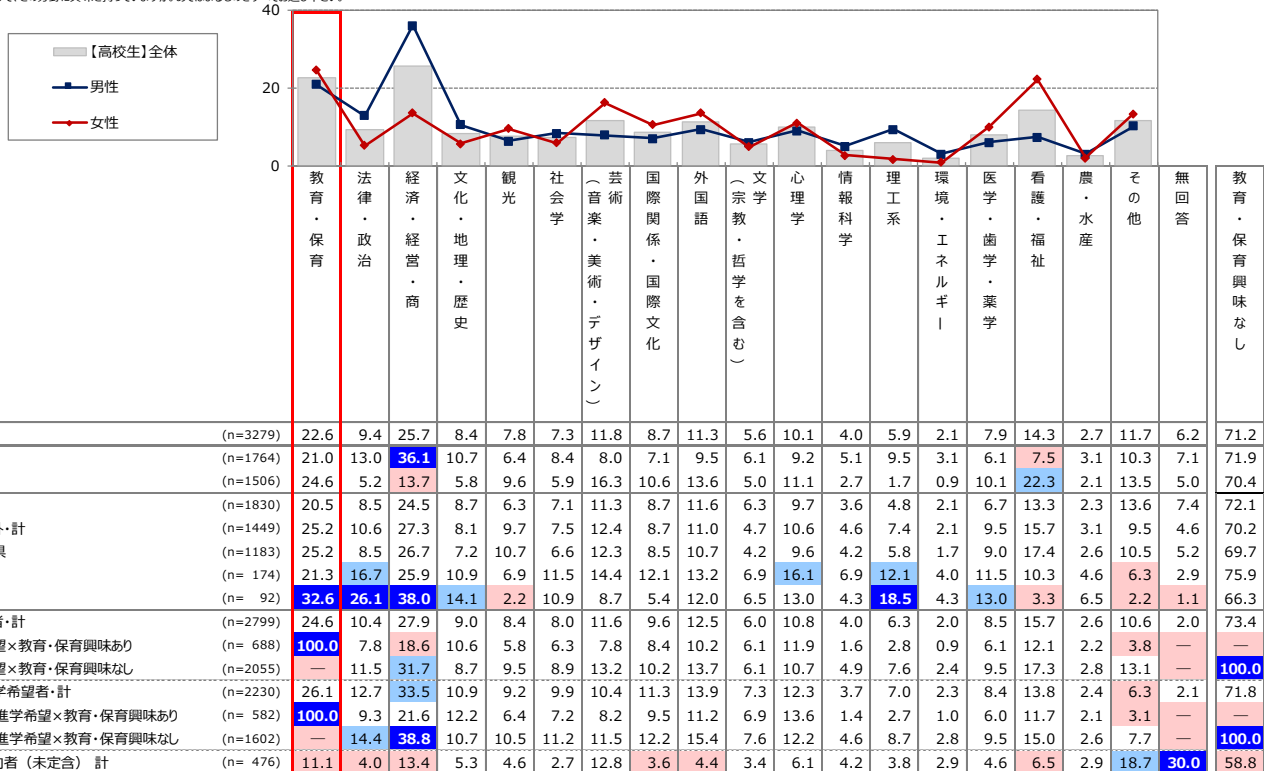
高校生_Q1 SQ1

進路検討状況 興味のある学問分野

- ▶ 興味のある学問分野は、「経済・経営・商」が最も高く、26%。
以下、「教育・保育」(23%)、「看護・福祉」(14%)と続く。
- ▶ 性別でみると男性では、「経済・経営・商」が最も高く、36%。
以下「教育・保育」(21%)、「法律・政治」(13%)と続く。
✓「経済・経営・商」は女性(14%)を22ポイント上回る。
- ▶ 女性では、「教育・保育」が最も高く、25%。
以下「看護・福祉」(22%)、「芸術」(16%)と続く。
✓「看護」は男性(8%)を15ポイント上回る。
- ▶ 高校所在地別にみると、いずれの府県でも「教育・保育」は「経済・経営・商」について高い。
✓特に、京都府の高校では「教育・保育」が3割を超える。

■興味ある進学先分野 (全体/複数回答)

あなたは、進学先で学ぶ分野として、どの分野に興味を持っていますか。あてはまるものをすべて選び下さい。



※「全体」より ■=10ポイント以上高い / ■=5ポイント以上高い / / =5ポイント以上低い

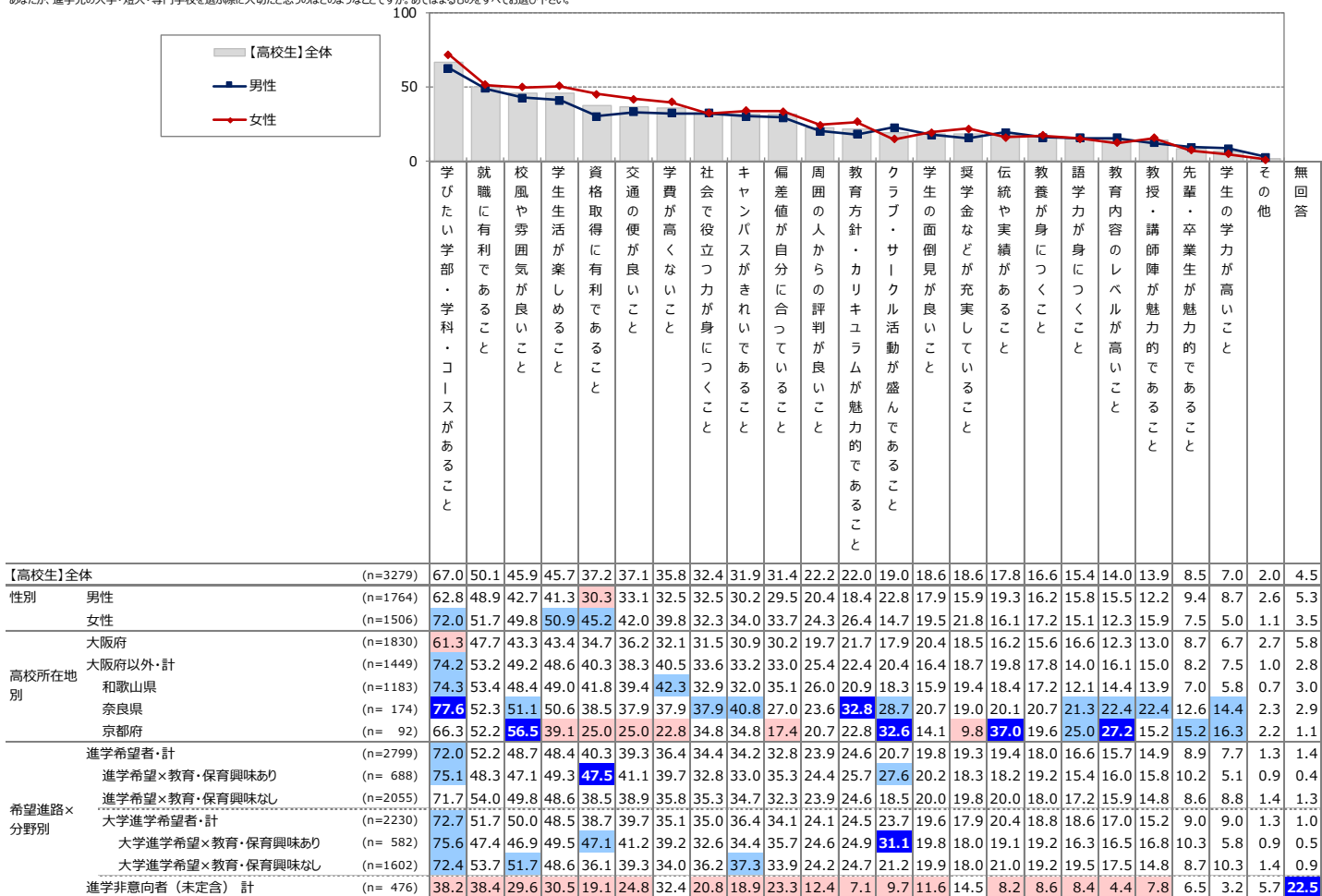
高校生_02

進路検討状況 進学先決定時の重視項目

- ▶ 進学先決定時の重視項目は、「学びたい学部・学科・コースがあること」が最も高く、67%。
以下「就職に有利」（50%）、「校風や雰囲気が良い」（46%）、「学生生活が楽しめる」（同）が5割前後で続く。
✓「学びたい学部・学科コースがあること」は、いずれの層でも最も高い。
- ▶ 男女ともに上位項目の顔触れは同じだが、女性の方が「資格取得に有利」「学生生活が楽しめる」をより重視している。
- ▶ 高校所在地別にみると、和歌山県、奈良県では「学びたい学部・学科・コースがあること」が7割台と高い。
✓京都府、奈良県では「校風や雰囲気が良い」が5割を超える。
- ▶ 希望進路×分野別にみると、『大学進学希望×教育・保育興味あり』では、「学びたい学部・学科・コースがあること」が最も高く、76%。
✓『大学進学希望×教育・保育興味あり』では「資格取得に有利であること」が47%と、他属性よりも高い。

■進学先決定時の重視項目（全体/複数回答）

あなたが、進学先の大学・短大・専門学校を選ぶ際に大切に思うのはどのようなことですか。あてはまるものをすべてお選び下さい。



※「全体」より ■=10ポイント以上高い / ■=5ポイント以上高い / ■=5ポイント以上低い
※「全体」降順ソート

【高野山大学「文学部 教育学科」】の受験意向

- ▶ 【高野山大学「文学部 教育学科」】を「受験したい」と者は、50人（2%）。「受験校の候補には入る」と回答した307人（9%）を含めた「受験意向あり・計」は、357人（11%）。
- ▶ 男性では「受験したい」は42人（2%）と、女性で「受験したい」と回答した8人（1%）よりも多い。
- ▶ 高校所在地別にみると、大阪府の高校で「受験意向あり・計」が多く、229人（13%）。
- ▶ 居住府県別にみても、大阪府で「受験意向あり・計」が多く、214人（12%）。
- ▶ 希望進路×分野別
『進学希望者・計』の「受験したい」は42人（2%）、「受験意向あり・計」は321人（12%）。
- 『大学進学希望×教育・保育興味あり』の「受験したい」は18人（3%）、「受験意向あり・計」は154人（27%）。

■高野山大学「文学部 教育学科」の受験意向（全体/単一回答）

あなたは、高野山大学が設置計画中の「文学部 教育学科」を受験したいと思いますか。

(%)

		受験意向あり・計				受験意向あり・計	実数				
		受験したい	受験校の候補には入る	受験したいと思わない	無回答		受験意向あり・計	受験したい	受験校の候補には入る	受験したいと思わない	無回答
*凡例											
【高校生】全体 (n=3279)		9.4	86.7	2.4	1.5	10.9	357	50	307	2844	78
性別	男性 (n=1764)	9.4	86.1	2.2	1.5	11.7	207	42	165	1519	38
	女性 (n=1506)	9.4	87.6	2.5	0.5	9.9	149	8	141	1319	38
高校所在地別	大阪府 (n=1830)	10.5	84.8	2.7	2.0	12.5	229	36	193	1551	50
	大阪府以外・計 (n=1449)	7.9	89.2	1.9	1.0	8.8	128	14	114	1293	28
	和歌山県 (n=1183)	8.6	88.3	2.3	0.8	9.4	111	9	102	1045	27
	奈良県 (n= 174)	5.2	93.7	—	1.1	6.3	11	2	9	163	0
	京都府 (n= 92)	3.3	92.4	1.1	3.3	6.5	6	3	3	85	1
居住府県別	大阪府 (n=1834)	9.9	85.8	2.6	1.8	11.7	214	33	181	1573	47
	大阪府以外・計 (n=1416)	8.5	88.2	2.0	1.2	9.7	138	17	121	1249	29
	和歌山県 (n=1092)	8.9	88.0	2.4	0.7	9.6	105	8	97	961	26
	奈良県 (n= 186)	8.1	89.8	—	2.2	10.2	19	4	15	167	0
	京都府 (n= 61)	3.3	90.2	1.6	4.9	8.2	5	3	2	55	1
その他 (n= 77)	9.1	85.7	2.6	2.6	11.7	9	2	7	66	2	
希望進路×分野別	進学希望者・計 (n=2799)	10.0	87.4	1.2	1.5	11.5	321	42	279	2445	33
	進学希望×教育・保育興味あり (n= 688)	22.7	73.4	0.9	3.1	25.7	177	21	156	505	6
	進学希望×教育・保育興味なし (n=2055)	5.7	92.4	0.9	1.0	6.7	138	21	117	1898	19
	大学進学希望者・計 (n=2230)	10.8	86.5	1.0	1.7	12.5	279	38	241	1929	22
	大学進学希望×教育・保育興味あり (n= 582)	23.4	72.7	0.9	3.1	26.5	154	18	136	423	5
	大学進学希望×教育・保育興味なし (n=1602)	6.2	91.8	0.7	1.2	7.5	120	20	100	1470	12
進学非意向者（未定含）計 (n= 476)	5.9	83.4	9.0	1.7	7.6	36	8	28	397	43	

高校生_Q5

【高野山大学「文学部 教育学科」】への入学意向

- ▶ 【高野山大学「文学部 教育学科」】の受験意向または検討意向がある人のうち、「入学したい」と回答した者は、50人（14%）。
「併願校の可否によっては入学したい」と回答した232人（65%）を含めた「入学意向あり・計」は、282人（79%）。
- ▶ 男性では、「入学したい」が35人（17%）、「入学意向あり・計」は169人（82%）。
- ▶ 女性では、「入学したい」が15人（10%）、「入学意向あり・計」は112人（75%）。
✓ いずれも男性の方が意向者が多い。
- ▶ 高校所在地別にみると、大阪府の高校で「入学したい」が多く、32人（14%）。
✓ 「入学意向あり・計」でも、大阪府で182人（80%）と多い。
- ▶ 居住府県別にみても、大阪府で「入学したい」が多く、31人（15%）。
✓ 「入学意向あり・計」でも、大阪府で171人（80%）と多い。
- ▶ 希望進路×分野別
『進学希望者・計』の「入学したい」は42人（13%）、「入学意向あり・計」は252人（79%）。
『大学進学希望×教育・保育興味あり』の「入学したい」は20人（13%）、「入学意向あり・計」は118人（77%）。

■高野山大学「文学部 教育学科」の入学意向（受験あり・計ベース/単一回答）

あなたは、高野山大学が設置計画中の「文学部 教育学科」に合格した場合、入学したいと思いますか。

(%)

「受験したい・受験校の候補には入る」を選択した人のみ、答えてください。

	*凡例	入学意向あり・計				入学意向あり・計	実数				
		入学したい	併願校の可否によっては入学したい	入学先としては考えない	無回答		入学意向あり・計	入学したい	併願校の可否によっては入学したい	入学先としては考えない	無回答
【高校生】全体	(n= 357)	14.0	65.0	18.8	2.2	79.0	282	50	232	67	8
性別											
男性	(n= 207)	16.9	64.7	15.0	3.4	81.6	169	35	134	31	7
女性	(n= 149)	10.1	65.1	24.2	0.7	75.2	112	15	97	36	1
高校所在地別											
大阪府	(n= 229)	14.0	65.5	17.5	3.1	79.5	182	32	150	40	7
大阪府以外・計	(n= 128)	14.1	64.1	21.1	0.8	78.1	100	18	82	27	1
和歌山県	(n= 111)	12.6	66.7	19.8	0.9	79.3	88	14	74	22	1
奈良県	(n= 11)	9.1	63.6	27.3	—	72.7	8	1	7	3	0
京都府	(n= 6)	50.0	16.7	33.3	—	66.7	4	3	1	2	0
居住府県別											
大阪府	(n= 214)	14.5	65.4	17.8	2.3	79.9	171	31	140	38	5
大阪府以外・計	(n= 138)	13.8	65.2	19.6	1.4	79.0	109	19	90	27	2
和歌山県	(n= 105)	12.4	66.7	20.0	1.0	79.0	83	13	70	21	1
奈良県	(n= 19)	10.5	78.9	10.5	—	89.5	17	2	15	2	0
京都府	(n= 5)	40.0	20.0	40.0	—	60.0	3	2	1	2	0
その他	(n= 9)	22.2	44.4	22.2	11.1	66.7	6	2	4	2	1
希望進路×分野別											
進学希望者・計	(n= 321)	13.1	65.4	19.3	2.2	78.5	252	42	210	62	7
進学希望×教育・保育興味あり	(n= 177)	13.6	62.1	22.6	1.7	75.7	134	24	110	40	3
進学希望×教育・保育興味なし	(n= 138)	13.0	68.1	15.9	2.9	81.2	112	18	94	22	4
大学進学希望者・計	(n= 279)	12.9	65.9	19.0	2.2	78.9	220	36	184	53	6
大学進学希望×教育・保育興味あり	(n= 154)	13.0	63.6	21.4	1.9	76.6	118	20	98	33	3
大学進学希望×教育・保育興味なし	(n= 120)	13.3	67.5	16.7	2.5	80.8	97	16	81	20	3
進学非意向者（未定含）計	(n= 36)	22.2	61.1	13.9	2.8	83.3	30	8	22	5	1

【高野山大学「文学部 教育学科」】入学意向者数

全体（3,279人）のうち…

- ▶ 大学・短期大学・専門学校への進学希望者は **2,799人**
※全体の85.4%に相当する。
- ▶ 大学への進学希望者は **2,230人**
※全体の68.0%に相当する。

『高野山大学「文学部 教育学科」』について

- ▶ 進学希望者のうち、「受験したい」と「受験校の候補には入る」を合わせた「受験検討意向あり・計」は、**321人**
※全体の9.8%に相当する。



- ▶ 「受験検討意向あり・計」のうち、「入学したい」と「併願校の可否によっては入学したい」を合わせた「入学意向あり・計」は、**252人**
※全体の7.7%に相当する。

- ▶ 更に『大学進学希望×教育・保育興味あり』に絞ったところ、

「受験したい」と「受験先として検討してもよい」を合わせた「受験検討意向あり・計」は、**154人**
※全体の4.7%に相当する。



- ▶ 「受験検討意向あり・計」のうち、「入学したい」と「併願校の可否によっては入学したい」を合わせた「入学意向あり・計」は、**118人**
※全体の3.6%に相当する。

【高野山大学「文学部 教育学科」】の魅力的な特徴

- ▶ 「非常に魅力を感じる」が最も高いのは、
(b) 1年次から教育現場に触れ、教育実習を繰り返し行うことで、大学で学ぶ教育理論と、実際の教育現場での課題の両方を理解でき、高い教育実践力を身につけられます (30%)

以下、

- (c) 英語に関するWeb教材の導入や高野山観光ボランティア実習、海外留学などを通して、これからの教育現場に必要な国際的な視野と実践的な英語力を修得できます (29%)
- (d) 小学校教諭、幼稚園教諭や保育士資格などに加えて、社会福祉主事任用、防災士、僧侶等の資格取得が可能です (28%)
- (e) 「心の教育」を充実させ、クラス運営や心理ケアに関する基礎的な理解を得られるようカリキュラムを設定しています (25%)
- (a) 農業体験、木工体験、馬術体験など、様々な体験学習を重ねることで、教員としての指導力につながる行動力や困難に立ち向かう力を身につけます (21%)

■高野山大学「文学部 教育学科」の魅力的な特徴 (受験意向あり・計ベース/各単一回答)

(%)

以下は、「高野山大学 文学部 教育学科」での取り組みの一例や学びの特徴です。あなたにとってどの程度魅力的ですか。各項目についてそれぞれ該当の番号に○をつけてください。

		魅力的・計		魅力的でない・計		無回答	魅力的・計	魅力的でない・計
		とても魅力的	ある程度魅力的	あまり魅力的ではない	全く魅力的ではない			
(n=3279)	*凡例							
(a)	農業体験、木工体験、馬術体験など、様々な体験学習を重ねることで、教員としての指導力につながる行動力や困難に立ち向かう力を身につけます。	20.5	41.4	21.2	12.9	4.1	61.9	34.0
(b)	1年次から教育現場に触れ、教育実習を繰り返し行うことで、大学で学ぶ教育理論と、実際の教育現場での課題の両方を理解でき、高い教育実践力を身につけられます。	30.3	41.3	14.4	9.9	4.1	71.7	24.3
(c)	英語に関するWeb教材の導入や高野山観光ボランティア実習、海外留学などを通して、これからの教育現場に必要な国際的な視野と実践的な英語力を修得できます。	29.3	41.6	15.7	9.3	4.1	70.9	25.0
(d)	小学校教諭、幼稚園教諭や保育士資格などに加えて、社会福祉主事任用、防災士、僧侶等の資格取得が可能です。	28.1	37.3	18.1	12.4	4.1	65.4	30.4
(e)	「心の教育」を充実させ、クラス運営や心理ケアに関する基礎的な理解を得られるようカリキュラムを設定しています。	25.3	43.2	17.7	9.7	4.1	68.5	27.4

高校生_Q4M

【高野山大学「文学部 教育学科」】の魅力的な特徴：「魅力を感じる・計」

▶ 「魅力を感じる・計」が最も高いのは、

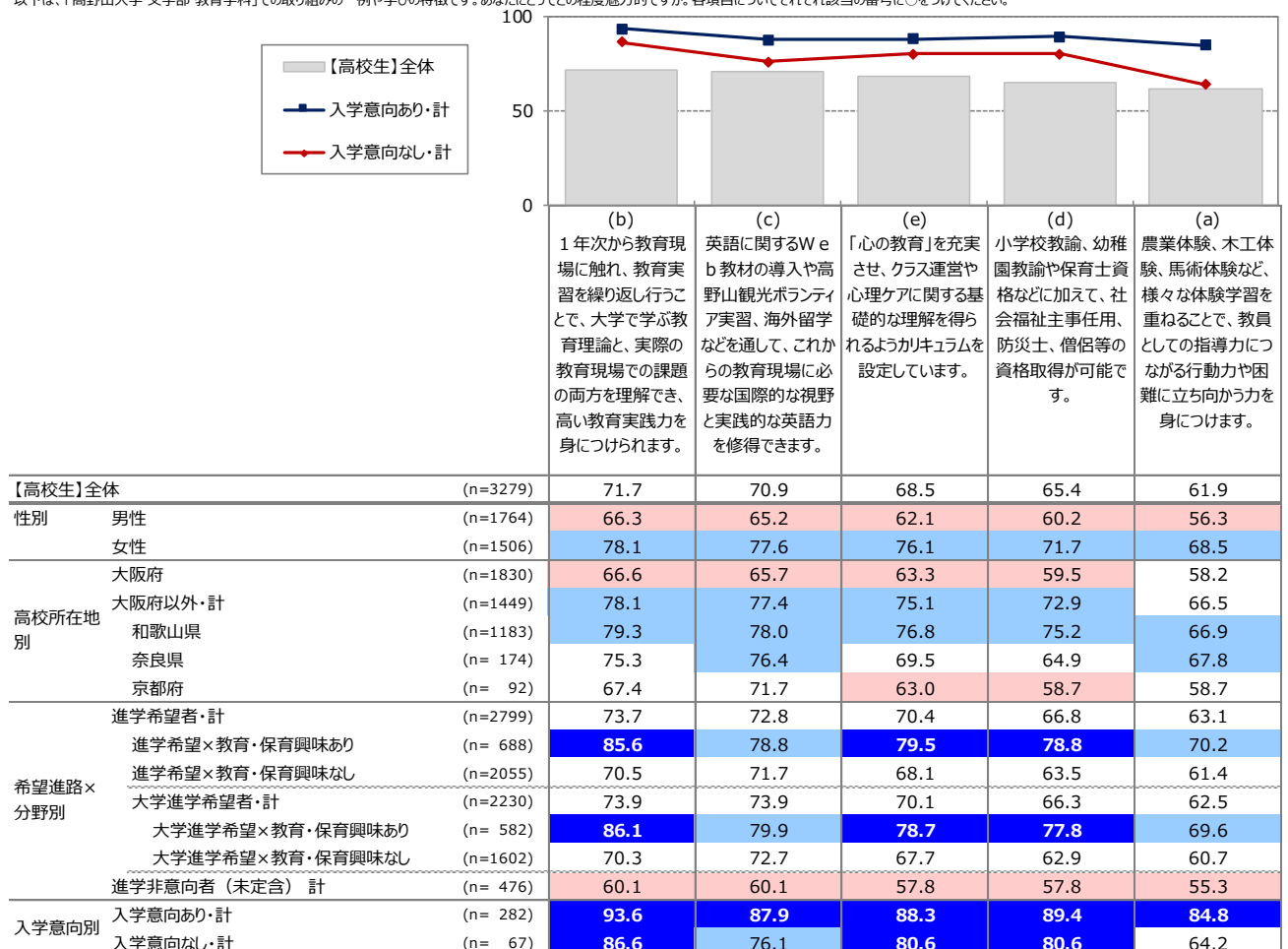
(b) 1年次から教育現場に触れ、教育実習を繰り返し行うことで、大学で学ぶ教育理論と、実際の教育現場での課題の両方を理解でき、高い教育実践力を身につけられます (72%)

✓ 『入学意向あり・計』層と『入学意向なし・計』層で特に差が大きいのは、「(a)～教員としての指導力につながる行動力や困難に立ち向かう力を身につけます」「(c)～これからの教育現場に必要な国際的な視野と実践的な英語力を修得できます」。

■高野山大学「文学部 教育学科」の魅力的な特徴：「魅力的・計」（受験意向あり・計ベース／各単一回答）

(%)

以下は、「高野山大学 文学部 教育学科」での取り組みの一例や学びの特徴です。あなたにとってどの程度魅力的ですか。各項目についてそれぞれ該当の番号に○をつけてください。



※「全体」より ■=10ポイント以上高い / ■=5ポイント以上高い / ■=5ポイント以上低い

※「全体」降順ソート

高校生_Q4TOP2

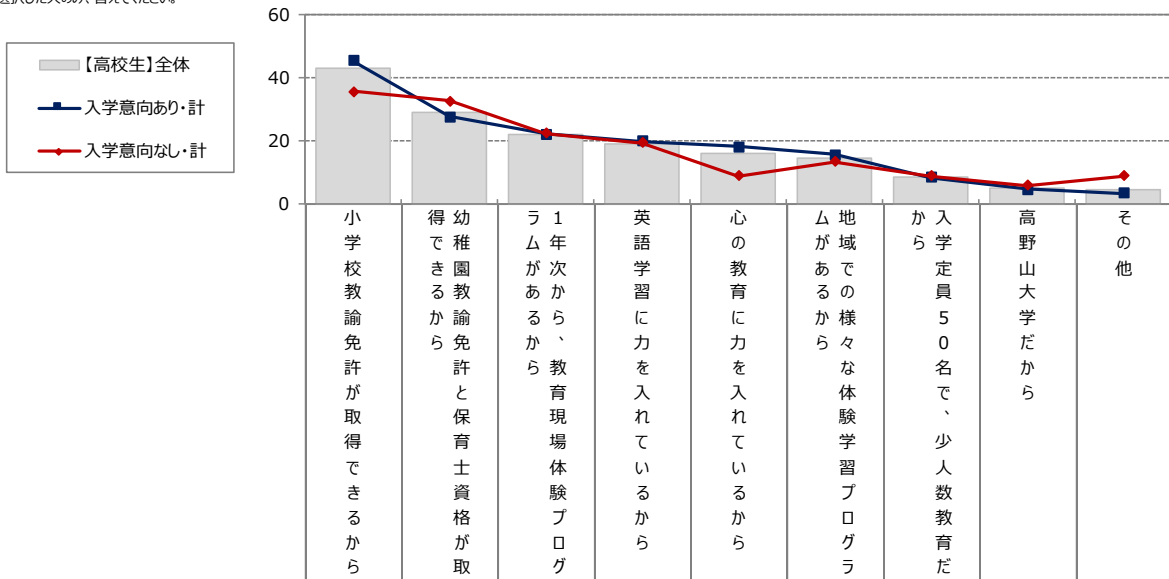
【高野山大学「文学部 教育学科」】の受験意向理由

- ▶ 「小学校教諭免許が取得できる」が最も高く、43%。
以下「幼稚園教諭免許と保育士資格が取得できる」（29%）、「1年次から、教育現場体験プログラムがある」（22%）と続く。
- ▶ 『進学希望者×教育・保育興味あり』『大学進学希望×教育・保育興味あり』いずれも、「小学校教諭免許が取得できる」が最も高い。
 - ✓ 「小学校教諭免許が取得できる」「心の教育に力を入れている」では、『入学意向あり・計』層が『入学意向なし・計』層を大きく上回る。
 - ✓ 女性では「幼稚園教諭免許と保育士資格が取得できる」が48%と男性（16%）を大きく上回る。

■ 高野山大学「文学部 教育学科」に受験意向がある理由（受験意向あり・計ベース/複数回答）

(%)

あなたが、高野山大学が設置計画中の「文学部 教育学科」を「受験したい・受験校の候補には入る」と回答された理由としてあてはまるものをすべてお選びください。
「受験したい・受験校の候補には入る」を選択した人のみ、答えてください。



【高校生】全体	(n= 357)	42.9	28.9	22.1	19.3	16.0	14.8	8.4	4.8	4.5
性別	男性 (n= 207)	44.0	15.5	21.7	19.3	14.5	14.5	9.2	7.2	6.3
	女性 (n= 149)	40.9	47.7	22.8	19.5	18.1	15.4	7.4	1.3	2.0
高校所在地別	大阪府 (n= 229)	39.7	25.8	23.6	19.2	16.6	14.8	9.6	4.8	6.1
	大阪府以外・計 (n= 128)	48.4	34.4	19.5	19.5	14.8	14.8	6.3	4.7	1.6
	和歌山県 (n= 111)	47.7	36.9	20.7	18.9	16.2	16.2	7.2	4.5	0.9
	奈良県 (n= 11)	45.5	18.2	9.1	18.2	9.1	9.1	—	9.1	9.1
	京都府 (n= 6)	66.7	16.7	16.7	33.3	—	—	—	—	—
希望進路×分野別	進学希望者・計 (n= 321)	44.9	29.6	22.1	20.9	15.6	14.3	7.8	5.3	4.0
	進学希望×教育・保育興味あり (n= 177)	59.3	42.9	23.2	13.6	11.9	10.2	4.0	2.3	1.7
	進学希望×教育・保育興味なし (n= 138)	27.5	13.0	21.0	31.2	20.3	20.3	12.3	8.7	6.5
	大学進学希望者・計 (n= 279)	47.7	26.2	22.2	21.9	14.7	14.3	8.2	5.4	3.9
	大学進学希望×教育・保育興味あり (n= 154)	63.0	37.0	23.4	14.3	11.0	11.0	4.5	1.9	1.9
	大学進学希望×教育・保育興味なし (n= 120)	29.2	12.5	20.8	32.5	19.2	19.2	12.5	9.2	6.7
	進学非意向者（未定含）計 (n= 36)	25.0	22.2	22.2	5.6	19.4	19.4	13.9	—	8.3
入学意向別	入学意向あり・計 (n= 282)	45.4	27.7	22.3	19.9	18.1	15.6	8.5	4.6	3.5
	入学意向なし・計 (n= 67)	35.8	32.8	22.4	19.4	9.0	13.4	9.0	6.0	9.0

※「全体」より ■=10ポイント以上高い / ■=5ポイント以上高い / ■=5ポイント以上低い

※「全体」降順ソート

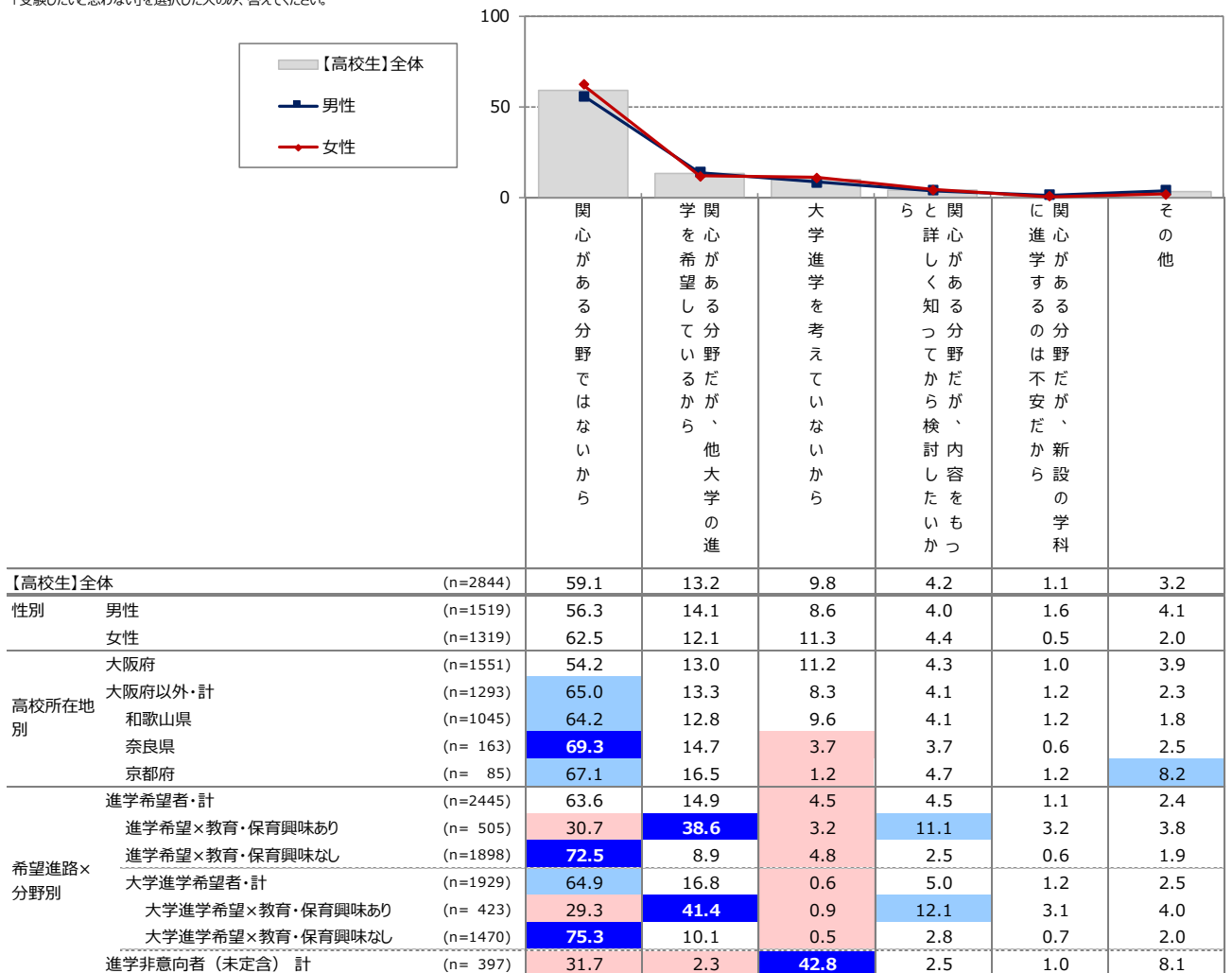
【高野山大学「文学部 教育学科」】の非受験意向理由

- ▶ 「関心がある分野ではないから」(59%)が突出。
- ▶ 『進学希望者×教育・保育興味あり』『大学進学希望×教育・保育興味あり』いずれも、「関心がある分野だが、他大学の進学を希望しているから」が最も高い。

■高野山大学「文学部 教育学科」を受験したいと思わない理由（受験意向なしベース/単一回答）

(%)

あなたが「受験したいと思わない」と回答された理由を教えてください。
「受験したいと思わない」を選択した人のみ、教えてください。



※「全体」より ■=10ポイント以上高い / ■=5ポイント以上高い / ■=5ポイント以上低い
※「全体」降順ソート

学校法人千代田学園

第二期 学園振興中期計画

(2018年度～2020年度)

目 次

<第1部>

- 千代田学園の建学の精神と Mission (使命)1
- 千代田学園のこれからの Vision (将来構想)2
- 千代田学園の現状と今後の課題..... 3
- 学園振興のための8つの基本方針..... 5

<第2部>

- 学園財政の見通しと今後の財政運営上の課題 13
-

2018年5月

う大学の経営悪化が懸念される中で、文部科学省は2017年10月、私立大学の破綻という事態を防ぐために、大学の自主性に任せるだけでは不十分だと判断し、「日本私立学校振興・共済事業団」や文部科学省によるチェック機能を強め、経営が苦しい大学については、大学間の合併を進めるほか、場合によっては、閉校に向けた判断を促すとする考え方を中央教育審議会に示し、2018年秋の答申を目指して議論を本格化させるとしました。（「朝日新聞」2017年10月26日より）

こうした内部環境、外部環境の厳しさの中で、本学園は、短期大学・高等学校・認定こども園のいずれの校種をも存続させるという方針を持ち、どの校種が欠けても、総合学園としての魅力を輝かせることができないという信念のもと、学園改革を進めていきます。

今、本学園が取り組むべき最大の課題は、現在進めている学園改革を確実に定着させること、および学園各校種の魅力ある教育活動を可能にするための健全な財政運営を実現すること、この二つに尽きます。

本学園は、以上の観点から、以下の8項目を基本方針とする「第二期学園振興中期計画」を策定しました。本学園の全教職員が一致協力し、本「中期計画」の方針と課題を共有し、校種ごとの具体的な行動計画を立て、計画実現のための取り組みを進めるよう努めます。

＜学園振興のための8つの基本方針＞

I. 各校種における募集定員の確保	5
II. 健全な財政運営と経営基盤の確立	6
III. 総合学園としての魅力・教育力の創造と向上	7
IV. 瞳かがやき、生きる希望を育む教育の推進	8
V. 学園改革と高野山大学との連携教育活動の推進	9
VI. 高等学校における改革の推進と定着	10
VII. 地域との連携・社会貢献活動の推進	11
VIII. 学園関係者のネットワークと教育研究所（仮称）の創設	12
＜第2部＞ 学園財政の見通しと今後の財政運営上の課題	13

V. 学園改革と高野山大学との連携教育活動の推進

<学園改革と短期大学をめぐる状況>

全国の短期大学は、20年前の1997（平成9）年のピーク時には約600校ありましたが、その後、約4割が廃止となり、2017年度は339校（私立322校、公立17校）となりました。廃止された短期大学は、4年制大学となり（または4年制大学に吸収されたり）、完全に廃校となっています。

現在、大阪府内の短期大学は25校に減少し、そのうち18校は4年制大学の短期大学部または4年制大学併設の短期大学で、7校（本短期大学を含む）は短期大学だけの大学です。4年制大学を持たない短期大学は、多くが学生募集で苦戦しており、本短期大学も例外ではありません。

本学園は、短期大学、高等学校、認定こども園を有する総合学園です。短期大学を含めすべての校種を存続させることが、総合学園としての魅力を発揮することになるという方針で、学園改革を進めています。

<高野山大学と包括協定の締結>

短期大学のこうした厳しい現状の中で、2017（平成29）年1月25日、本学園は高野山大学と包括協定を締結しました。本学園と高野山学園は、ともに真言宗の宗祖・弘法大師空海の教えを建学の精神としており、今後、両学園の交流を深め、新しい形の高等教育の創造を目指すこととしました。

例えば、本短期大学と高野山大学の2つの高等教育機関が単位互換制度により、短期大学で対人援助職の専門性を学ぶ学生たちが高野山大学の「心理ケア」を学んだり、他方、高野山大学で密教学を学ぶ学生たちが本短期大学の介護実習を実体験したり、自分の大学にない講義を履修することにより、今まで以上に、人間の尊厳や命の大切さを深く学ぶことができるような、より高い教育効果を得るための教育活動を目指すものです。

<包括協定の具体化>

その後、両学園の包括協定の具体化を図る協議の中で、高野山大学が本短期大学のキャンパスを活用して教育学科を開設する構想が提案され、両学園間で検討を始めることになりました。

高野山大学の教育学科開設の構想は、この間、本学園が進めてきた学園改革、また短期大学、高等学校で進めてきた各校種の改革と密接不可分の関係にあります。

具体的には、高野山大学の教育学科を、本高校の「教育探究コース」の進学先として位置づけ、7年一貫教育で教職等への進路保障を目指そうというものです。さらに、本高校「幼児教育コース」から短期大学に進学し5年一貫で幼児教育を学ぶ学生たちが、短大課程の修了後に、高野山大学の教育学科に編入学し、小学校や特別支援の教員免許も取得できるようにしようというものです。

つまり、本学園が、4年制大学と協力・協働することによって、双方が、それぞれの直面する課題解決を図りながら、両学園の未来に対しても新しい地平を切り拓こうとするチャレンジであります。

<2020年のスタートに向けて>

高野山大学が本短期大学のキャンパスで教育学科を開設する時期は、2020年4月を目指しています。本高等学校の「教育探究コース」1期生24名が大学に進学する年が2020年4月であり、この「教育探究コース」の生徒たちの進路保障という意味でも、この高野山学園との連携は極めて重要です。

また、2020年度は本「学園振興中期計画」の最終年度であります。本学園と高野山学園がしっかりと協力関係を結んで連携教育活動を成功させることが、本「中期計画」の各項目を実現、完成させ、本学園の未来の展望を切り拓くことにつながります。

河内長野市教育委員会と高野山大学との連携協力に関する協定書

河内長野市教育委員会（以下「甲」という。）と高野山大学（以下「乙」という。）とは、教育等の分野において連携・協力するため、次のとおり協定を締結する。

（目的）

第1条 この協定は、甲及び乙が、教育等の分野において連携、協力することにより、相互の発展・充実に寄与することを目的とする。

（連携協力事項）

第2条 甲と乙は、前条の目的を実現するため、次に掲げる事項について連携、協力をするものとする。

- (1) 教員養成等の充実及び教員の資質向上に関すること
- (2) 教育・研究及び文化振興に関すること
- (3) 生涯学習の振興に関すること
- (4) 教育分野を通じた地域活性化に関すること
- (5) その他、両者で合意された事項

（連絡調整窓口）

第3条 前条に掲げる事項を円滑かつ効率的に進めるために、甲と乙はそれぞれ連絡調整窓口を設置し、協議を行うものとする。また、具体的な実施事項については甲乙合意の上決定するものとする。

（経費）

第4条 甲及び乙が連携協力を行う事業に要する経費は、原則として甲及び乙において各々応分に負担する。

（協定期間）

第5条 この協定の有効期間は協定締結の日から3年間とする。ただし、有効期間満了の日の3か月前までに、甲と乙のいずれかが書面をもって改廃の申し入れをしないときは、さらに1年間更新するものとし、その後も同様とする。

（その他）

第6条 この協定書に定めるもののほか、連携、協力に関して必要な事項については、甲と乙で協議し、決定するものとする。

2 この協定書に定める事項について疑義が生じたとき、又はこの協定書に定めのない事項については、甲及び乙で協議するものとする。

この協定の締結を証するため、本協定書2通を作成し、署名捺印の上、各々1通を保有する。

令和2年3月2日

(甲)

大阪府河内長野市原町一丁目1番1号

河内長野市教育委員会

教育長

(乙)

和歌山県伊都郡高野町高野山385

高野山大学

学長